

荒尾市  
教育に関するアンケート調査  
結果報告書

令和3年12月  
熊本県 荒尾市

## 目 次

I 市民対象調査	1
アンケート調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
アンケート調査結果	2
1. あなた（宛名の方）のことについて	2
2. 幼児教育について	6
3. 小・中学校の児童生徒について	9
4. 家庭教育・地域教育について	28
5. 生涯学習について	35
6. 生涯学習施設等の利用について	42
7. スポーツ活動について	46
8. 文化・芸術について	51
9. 荒尾市の教育に関する取組全般について	53
10. 自由回答	54
II 教職員対象調査	59
アンケート調査の概要	59
1. 調査の目的	59
2. 調査概要	59
3. 回収結果	59
4. 報告書の見方	59
アンケート調査結果	60
1. あなたのことについて	60
2. あなたの職場のことについて	63
3. 学習指導等の状況について	71
4. 家庭教育・地域教育について	83
5. 自由回答	89

# I 市民対象調査

## アンケート調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、本市の教育振興のための施策を定める「荒尾市教育振興基本計画」を策定するにあたり、市民の皆様から、教育と、教育に密接に関係する子育て、スポーツ、文化等の振興に関するご意見等を聞き、その結果を計画に反映させることを目的に実施しました。

### 2. 調査概要

- ◇調査対象者：荒尾市内に居住する18～89歳（800人）及び小・中学生の保護者（200人）を無作為に抽出
- ◇調査期間：令和3年7月21日（水）～8月10日（火）
- ◇調査方法：郵送配布・郵送及びWeb回収による本人記入方式

### 3. 回収結果

- ◇配布数：1,000件（18～89歳市民800件、小・中学生の保護者200件）
- ◇有効回収数：464件
- ◇有効回収率：46.4%

### 4. 報告書の見方

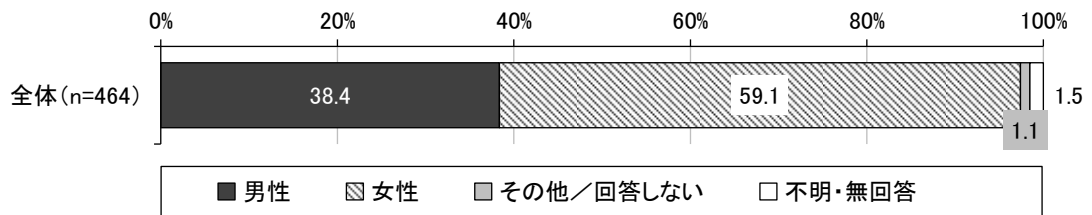
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

# アンケート調査結果

## 1. あなた（宛名の方）のことについて

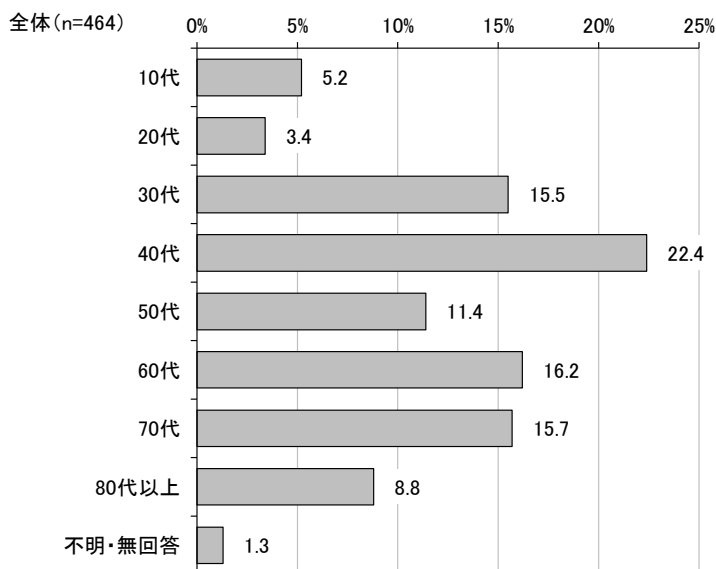
問1 あなたの性別をお答えください。（ひとつだけ○）

性別についてみると、「男性」が38.4%、「女性」が59.1%、「その他／回答しない」が1.1%となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。（令和3年7月1日現在）（ひとつだけ○）

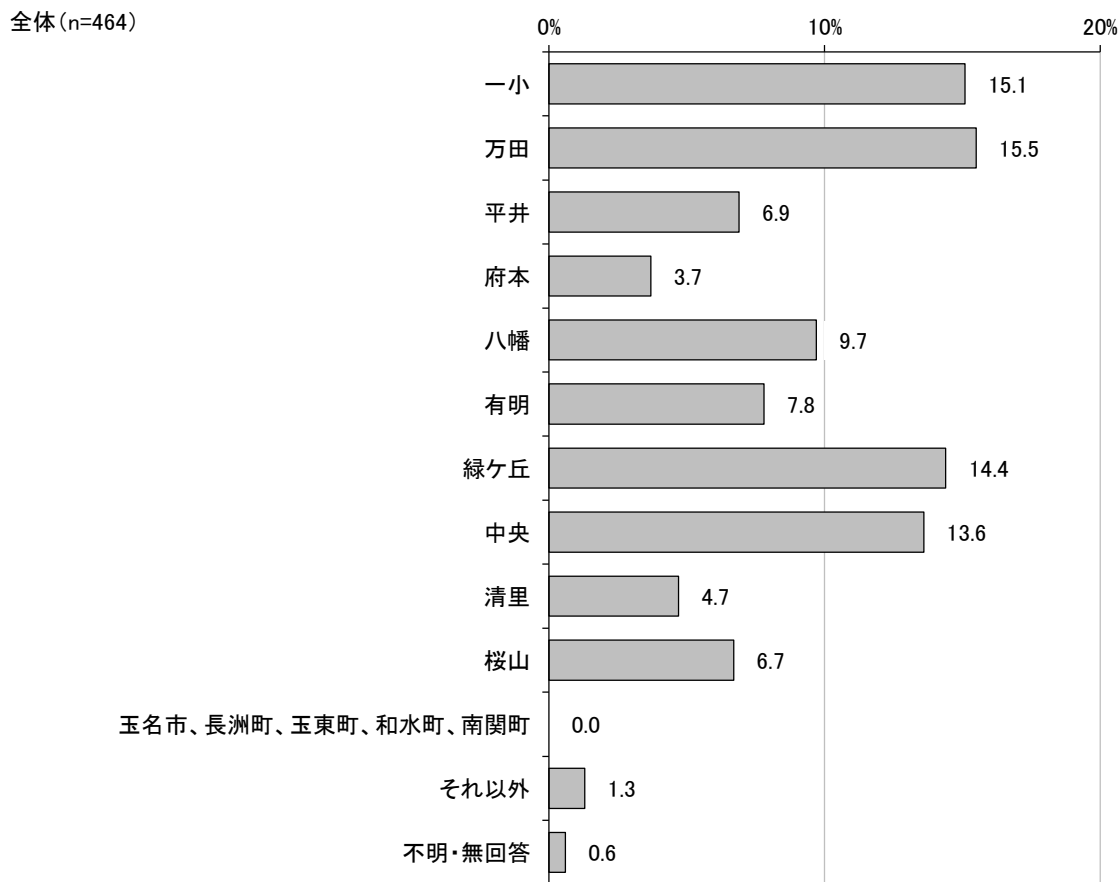
年齢についてみると、「40代」が22.4%と最も高く、次いで「60代」が16.2%、「70代」が15.7%となっています。



カテゴリ	件数	(全体)%
10代	24	5.2
20代	16	3.4
30代	72	15.5
40代	104	22.4
50代	53	11.4
60代	75	16.2
70代	73	15.7
80代以上	41	8.8
不明・無回答	6	1.3
n (%へ-入)	464	100

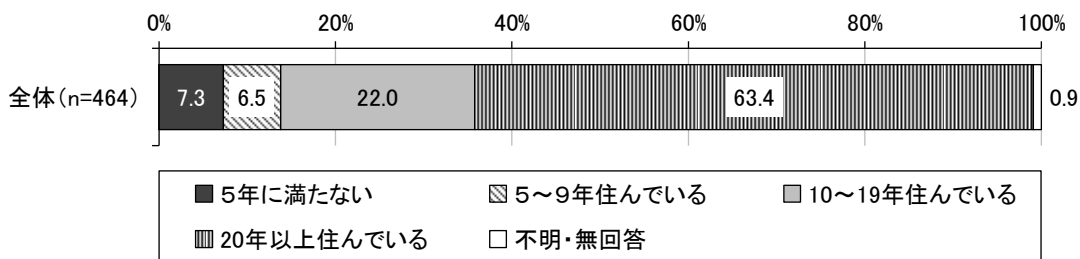
問3 お住まいの地域（小学校区）はどちらですか。（ひとつだけ○）

お住まいの地域についてみると、「万田」が15.5%と最も高く、次いで「一小」が15.1%、「緑ヶ丘」が14.4%となっています。



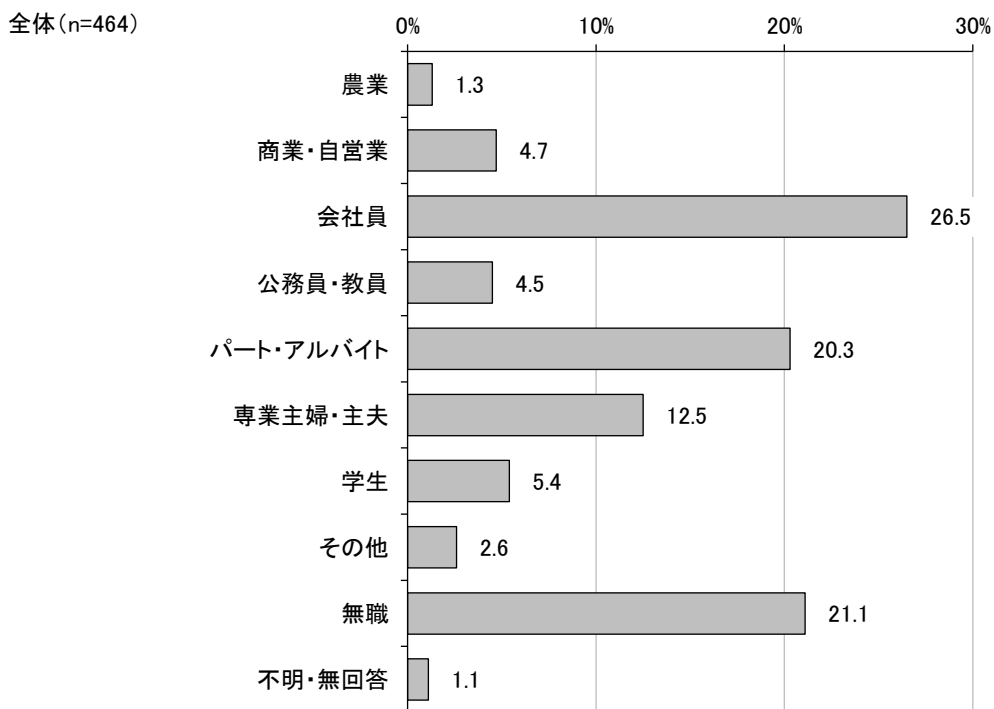
問4 あなたは荒尾市に何年住んでいますか。（ひとつだけ○）

荒尾市に何年住んでいるかについてみると、「20年以上住んでいる」が63.4%と最も高く、次いで「10～19年住んでいる」が22.0%、「5年に満たない」が7.3%となっています。



問5 あなたの職業は次のうちどれですか。(ひとつだけ○)

職業についてみると、「会社員」が26.5%と最も高く、次いで「無職」が21.1%、「パート・アルバイト」が20.3%となっています。

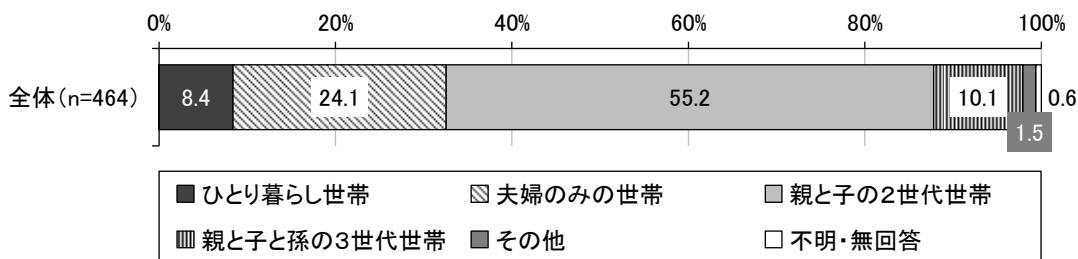


【その他】

- ・保育士
- ・宗教関係
- ・健康体操サークル講師
- ・会社役員
- ・看護師
- ・専門職

問6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

家族構成についてみると、「親と子の2世代世帯」が55.2%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が24.1%、「親と子と孫の3世代世帯」が10.1%となっています。

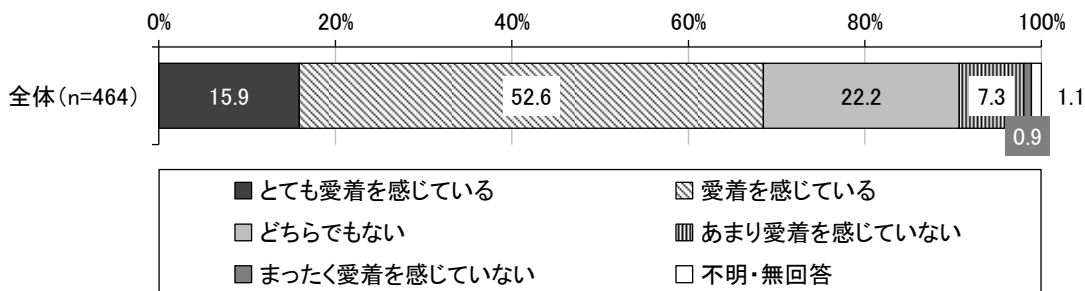


【その他】

- ・兄
- ・夫婦と子ども二人
- ・兄妹
- ・妹と同居
- ・夫入院。孫と二人
- ・祖父母と孫

問7 荒尾市に対してどの程度の愛着を感じていますか。(ひとつだけ○)

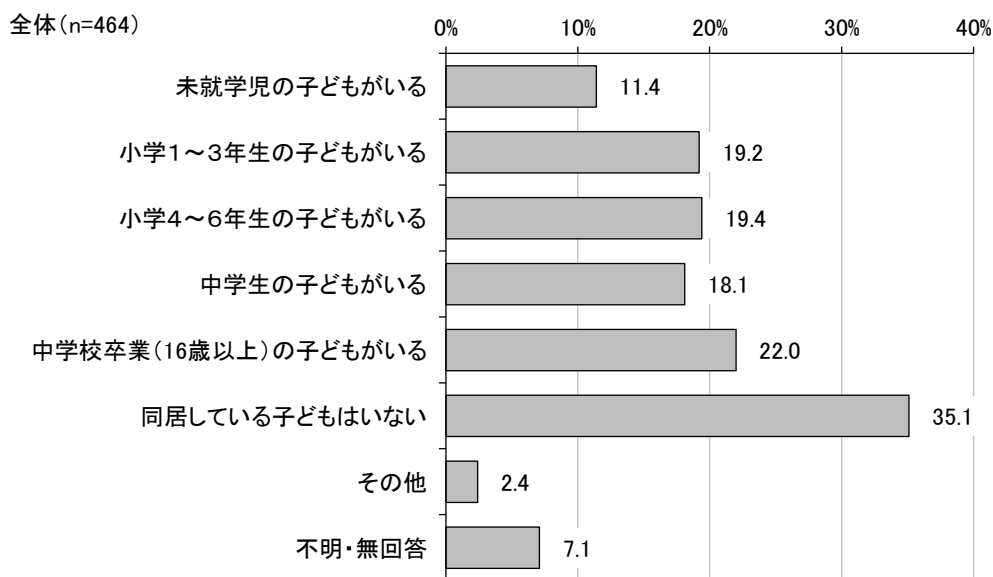
荒尾市に対してどの程度の愛着を感じているかについてみると、「愛着を感じている」が52.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」が22.2%、「とても愛着を感じている」が15.9%となっています。



問8 あなたの同居しているお子さんについて該当するものはどれですか。

(当てはまるもの全てに○)

同居している子どもについてみると、「同居している子どもはいない」が35.1%と最も高く、次いで「中学校卒業(16歳以上)の子どもがいる」が22.0%、「小学4～6年生の子どもがいる」が19.4%となっています。



【その他】

- ・年子の妹と中1の弟
- ・長男三男

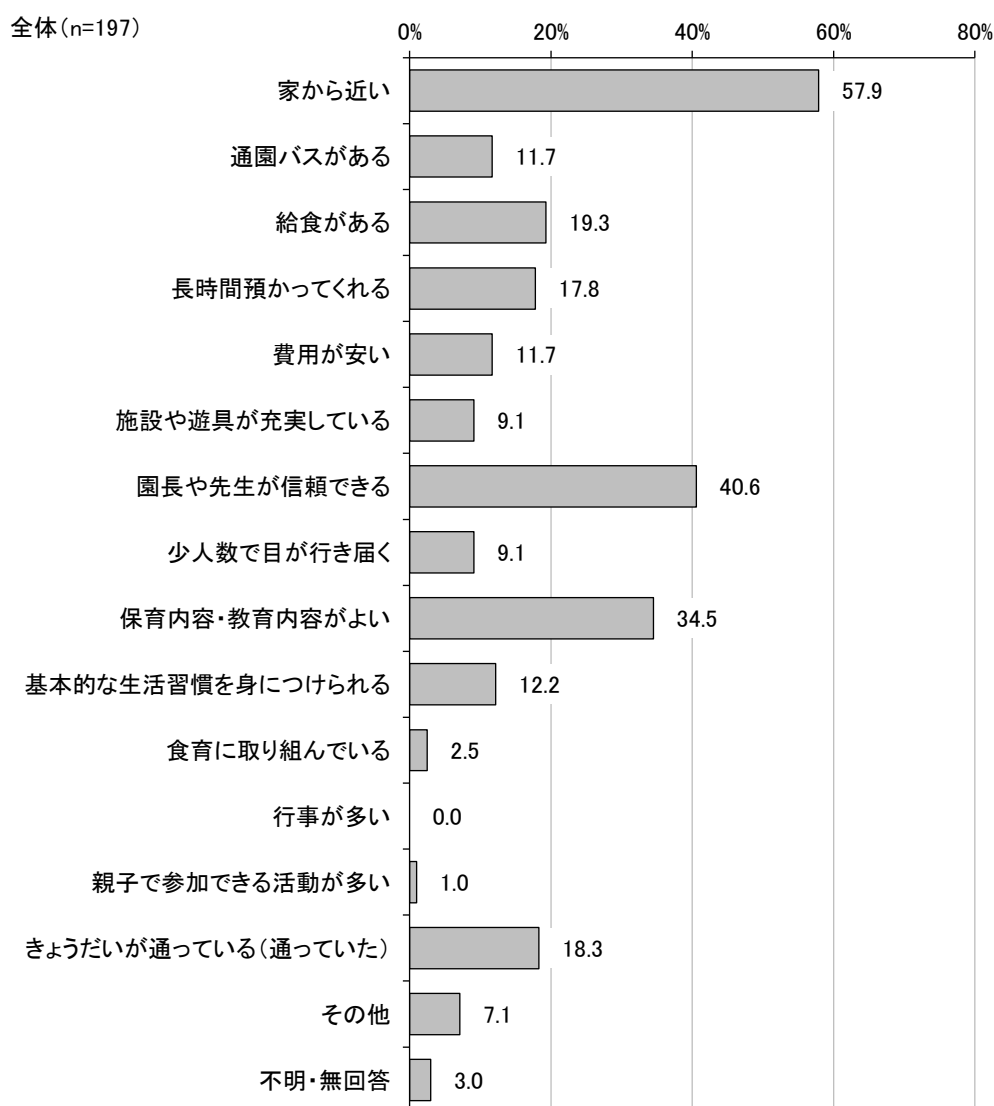
## 2. 幼児教育について

※問9～12までは、問8で選択肢「未就学児の子どもがいる、小学1～3年生の子どもがいる、小学4～6年生の子どもがいる、中学生の子どもがいる」のどれか一つにでも○をつけた方のみお答えください。

問9 幼稚園や保育園等を選ぶ際、どのようなところにお子様を入れたいと思われましたか。

(○は3つまで)

幼稚園や保育園等を選ぶ際、どのようなところに子どもを入れたいと思ったかについてみると、「家から近い」が57.9%と最も高く、次いで「園長や先生が信頼できる」が40.6%、「保育内容・教育内容がよい」が34.5%となっています。



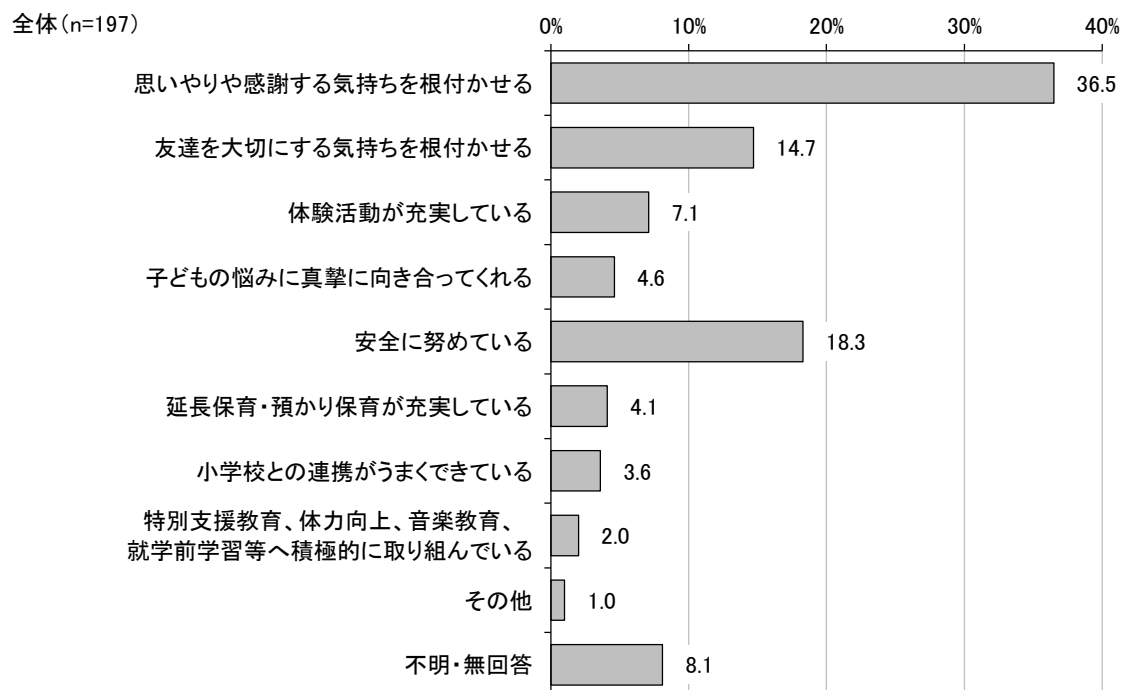
### 【その他】

- ・職場に近い(4)
- ・子どもの自主性を伸ばす見守り
- ・見学時に雰囲気がいよと感じた
- ・通勤途中にあり、送迎が便利
- ・小学校(校区内)のことを考えて
- ・希望した所に入れなかった
- ・親と似た環境の幼稚園だった
- ・土日開いている



## 問 10 利用する保育園・幼稚園等に最も期待することは何ですか。(ひとつだけ○)

利用する保育園・幼稚園等に最も期待することについてみると、「思いやりや感謝する気持ちを根付かせる」が36.5%と最も高く、次いで「安全に努めている」が18.3%、「友達を大切にすることを根付かせる」が14.7%となっています。

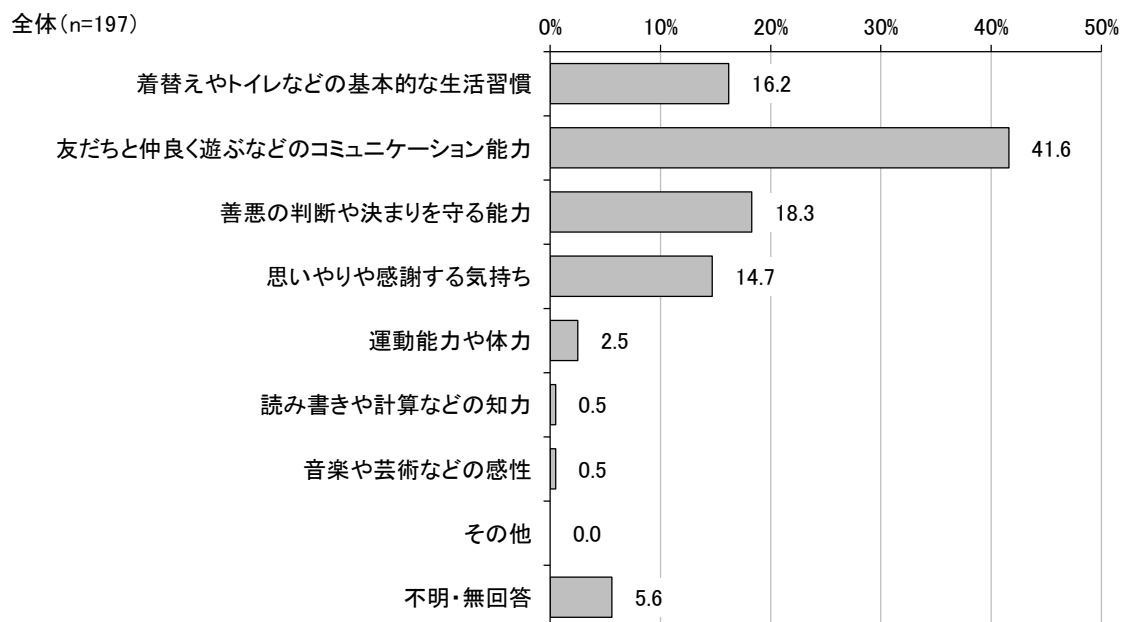


### 【その他】

- ・園に給食室があり、バランスの摂れた食生活を送れる事
- ・友だちと遊ぶ等、社会性
- ・教育が充実している

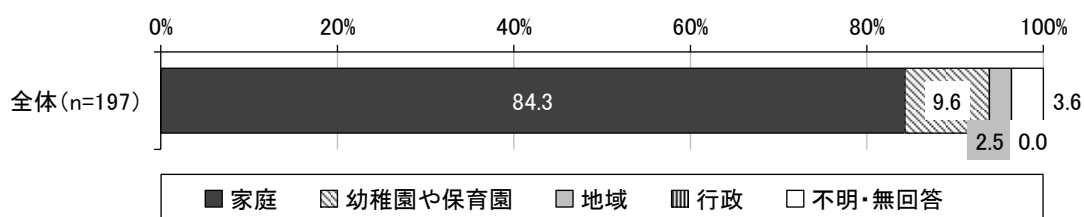
問 11 幼児期に最も伸ばしたい力はどれですか。(ひとつだけ○)

幼児期に最も伸ばしたい力についてみると、「友だちと仲良く遊ぶなどのコミュニケーション能力」が41.6%と最も高く、次いで「善悪の判断や決まりを守る能力」が18.3%、「着替えやトイレなどの基本的な生活習慣」が16.2%となっています。



問 12 幼児期の人間形成にとって最も重要な役割を果たすものはどれだと思いますか。(ひとつだけ○)

幼児期の人間形成にとって最も重要な役割を果たすものはどれだと思うかについてみると、「家庭」が84.3%と最も高く、次いで「幼稚園や保育園」が9.6%、「地域」が2.5%となっています。

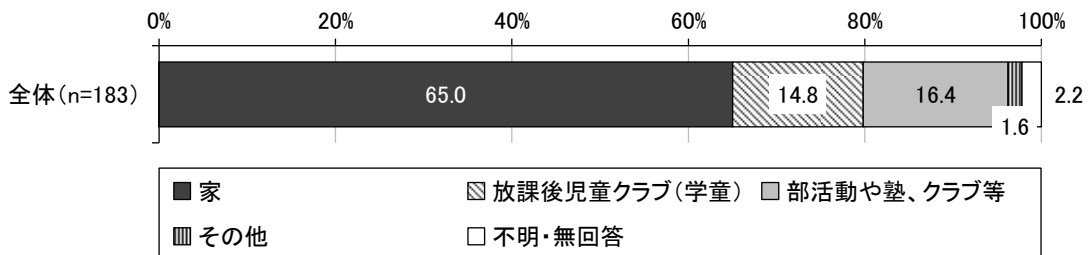


### 3. 小・中学校の児童生徒について

※問 13～27 までは、問 8 で選択肢「小学 1～3 年生の子どもがいる、小学 4～6 年生の子どもがいる、中学生の子どもがいる」のどれか一つにでも○をつけた方のみお答えください。

#### 問 13 子どもたちは放課後、主にどこで過ごしていますか。(ひとつだけ○)

子どもたちは放課後、主にどこで過ごしているかについてみると、「家」が 65.0%と最も高く、次いで「部活動や塾、クラブ等」が 16.4%、「放課後児童クラブ（学童）」が 14.8%となっています。

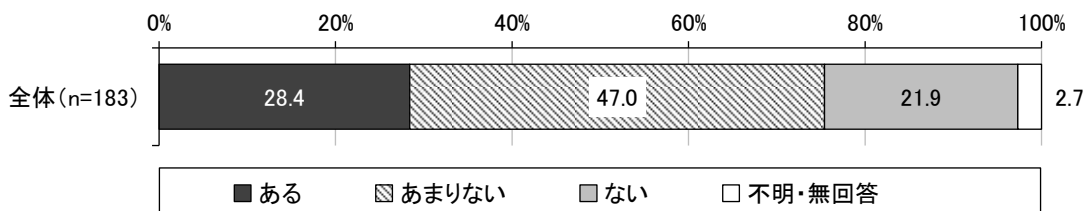


#### 【その他】

- ・祖母宅(2)
- ・実家

#### 問 14 家族で読書に親しむ機会や読み聞かせなどの機会はありますか。(ひとつだけ○)

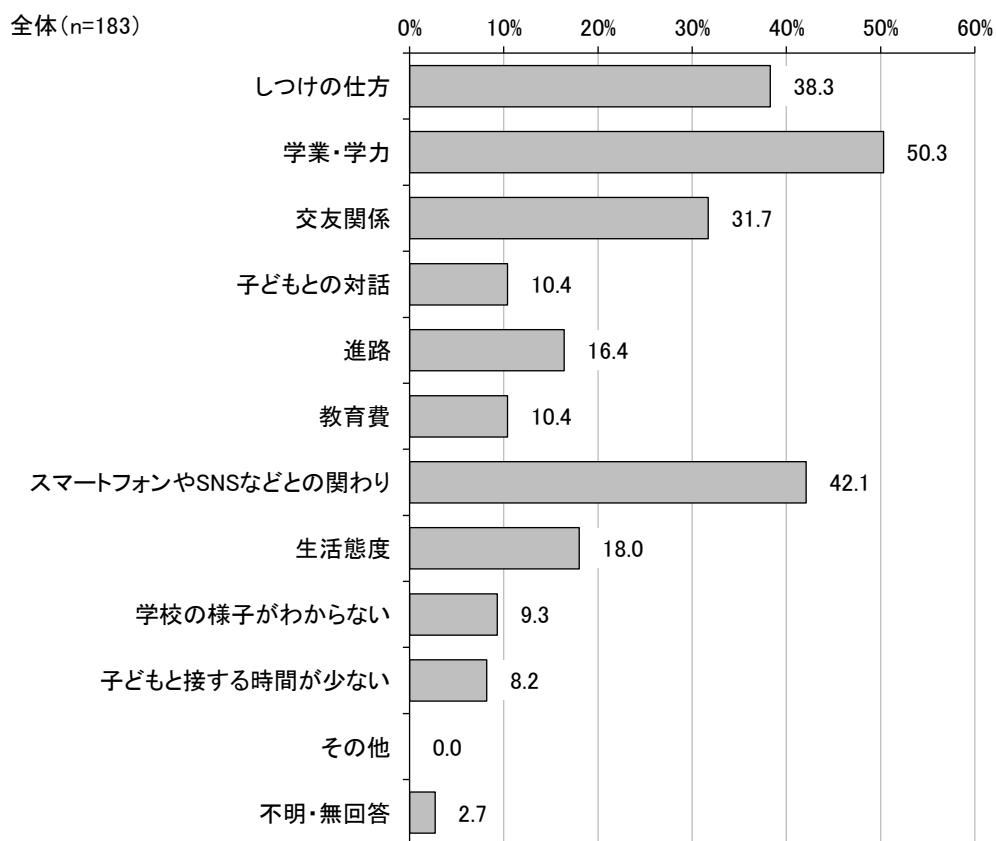
家族で読書に親しむ機会や読み聞かせなどの機会はあるかについてみると、「あまりない」が 47.0%と最も高く、次いで「ある」が 28.4%、「ない」が 21.9%となっています。



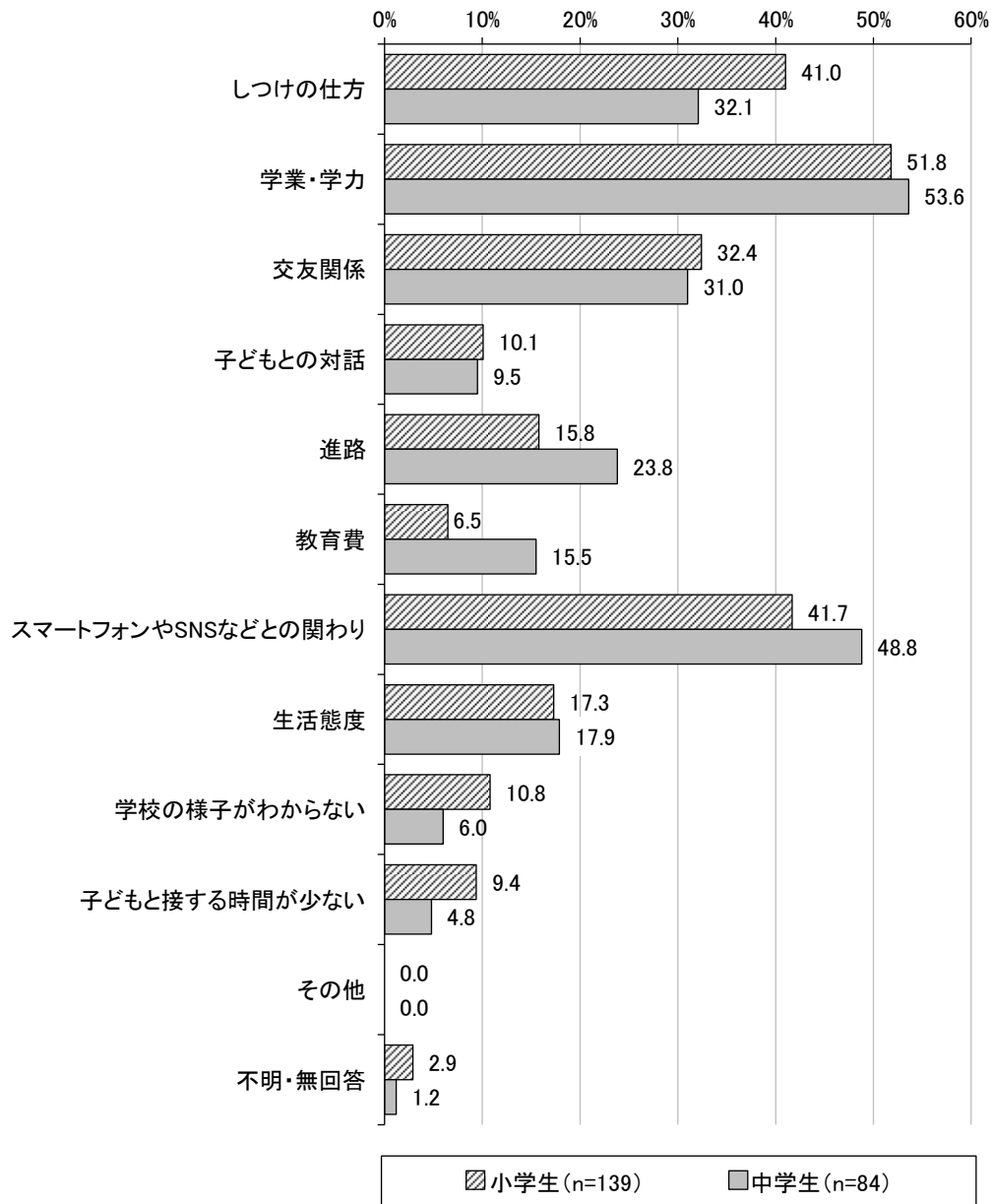
### 問 15 家庭教育における子育ての悩みとして、どんなものがありますか。(〇は3つまで)

家庭教育における子育ての悩みについてみると、「学業・学力」が 50.3%と最も高く、次いで「スマートフォンやSNSなどとの関わり」が 42.1%、「しつけの仕方」が 38.3%となっています。

子どもの属性別（小学生・中学生）にみると、「しつけの仕方」で小学生が 41.0%と中学生の 32.1%よりも 8.9ポイント高くなっています。一方、「スマートフォンやSNSなどとの関わり」で中学生が 48.8%と小学生の 41.7%より 7.1ポイント高くなっています。

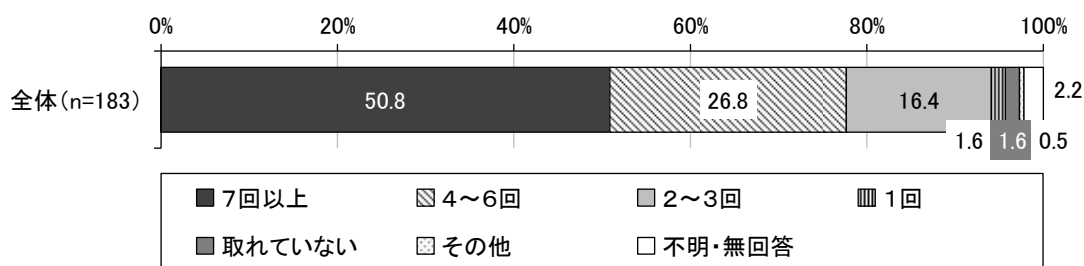


■小学生、中学生別



問 16 家族団らん等、親子での対話の機会を週に何回程度取れていますか。(ひとつだけ○)

家族団らん等、親子での対話の機会の頻度についてみると、「7回以上」が 50.8%と最も高く、次いで「4～6回」が 26.8%、「2～3回」が 16.4%となっています。



【その他】

- ・子どもとの時間はあがるが、団らんという形にあっていないのかは不明

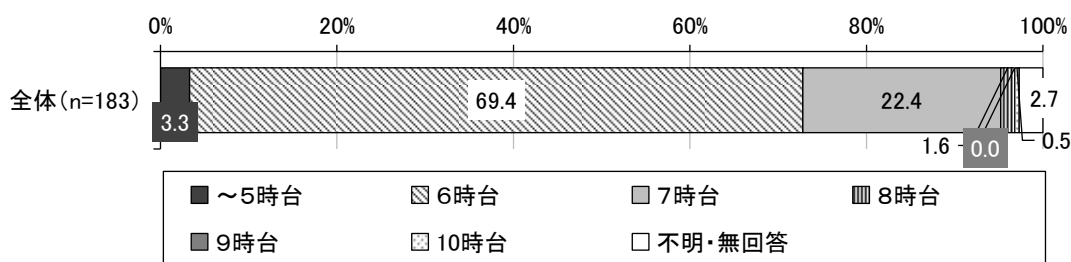
問 17 ふだん（学校がある日）のお子さんの起床時間と就寝時間についてお答えください。

(24 時間表記で数字で記入)

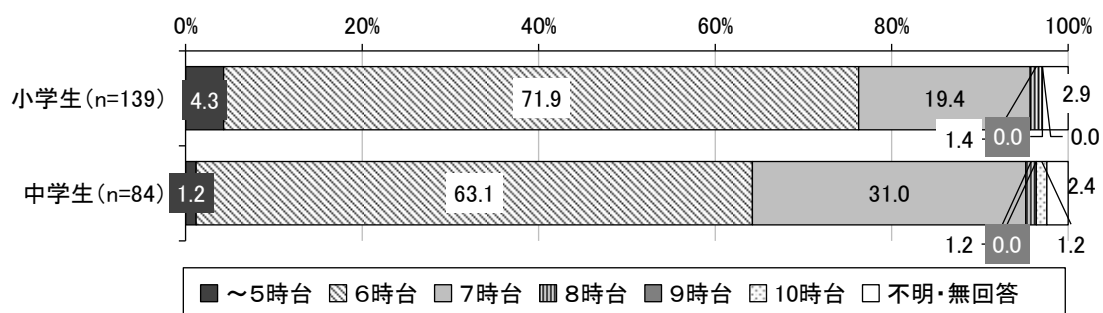
【起床時刻】

ふだんの子どもの起床時刻についてみると、「6時台」が 69.4%と最も高く、次いで「7時台」が 22.4%、「～5時台」が 3.3%となっています。

子どもの属性（小学生・中学生）別にみると、「7時台」で中学生の方が小学生よりも 11.6 ポイント高くなっています。



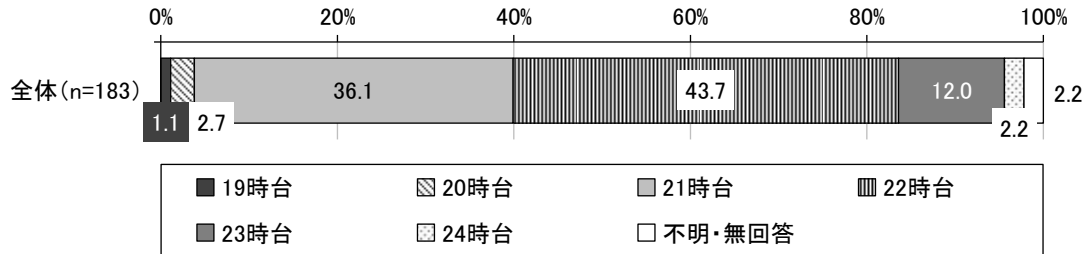
■子どもの属性別（小学生・中学生）



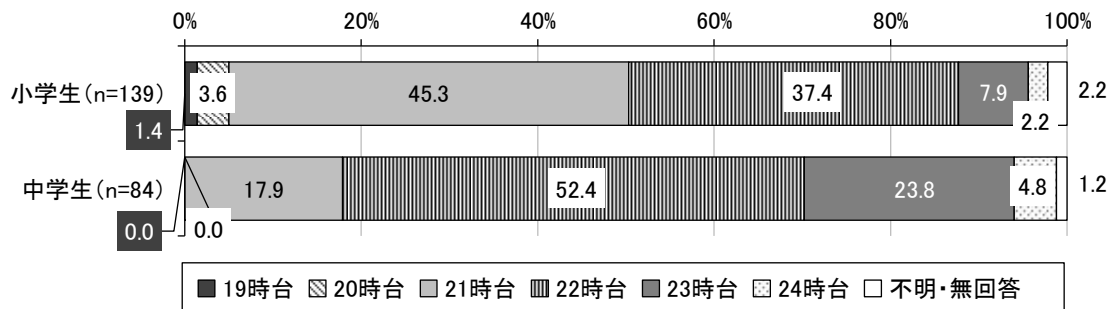
## 【就寝時刻】

ふだんの子どもの就寝時間についてみると、「22 時台」が 43.7%と最も高く、次いで「21 時台」が 36.1%、「23 時台」が 12.0%となっています。

子どもの属性（小学生・中学生）別に見ると、小学生は「21 時台」が 45.3%、中学生は「22 時台」が 52.4%で最も高くなっています。

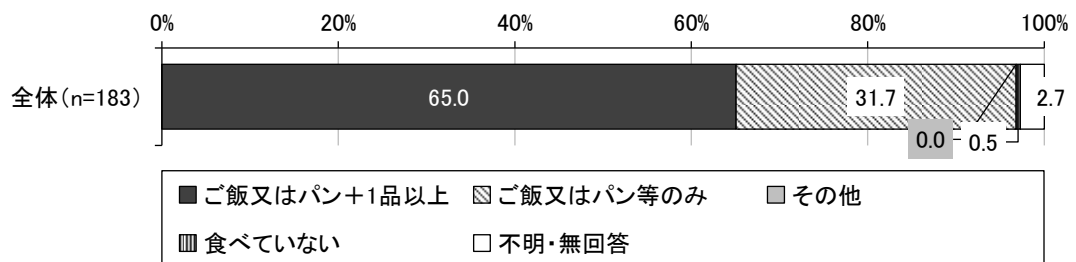


### ■子どもの属性別（小学生・中学生）



## 問 18 家庭で、どのような朝ごはんを食べていますか。（ひとつだけ○）

家庭での朝ごはんについてみると、「ご飯又はパン+1品以上」が 65.0%と最も高く、次いで「ご飯又はパン等のみ」が 31.7%、「食べていない」が 0.5%となっています。

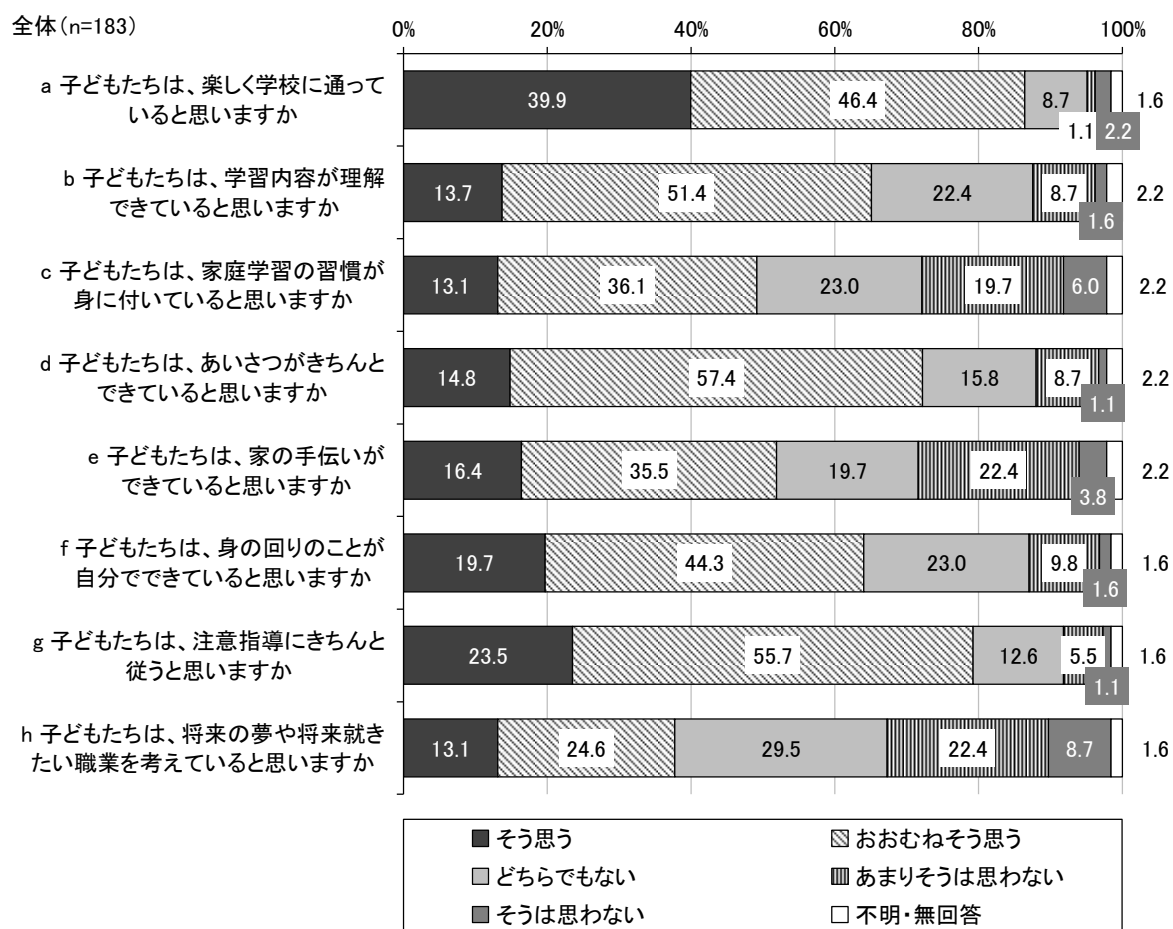


問 19 あなたのお子さんについて、以下の a~h の設問にお答えください。(各設問でひとつだけ○)

子どもの状況についてみると、[a 子どもたちは、楽しく学校に通っていると思いますか] [d 子どもたちは、あいさつがきちんとできていると思いますか] [g 子どもたちは、注意指導にきちんと従うと思いますか] で『思う（「そう思う」と「おおむねそう思う」の合計）』が7割を超えて高くなっています。

一方、[c 子どもたちは、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか] [e 子どもたちは、家の手伝いができていると思いますか] [h 子どもたちは、将来の夢や将来就きたい職業を考えていると思いますか] で『思わない（「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」の合計）』が2割を超えて高くなっています。

また、[a 子どもたちは、楽しく学校に通っていると思いますか] は「そう思う」が39.9%と他の項目に比べて高くなっています。

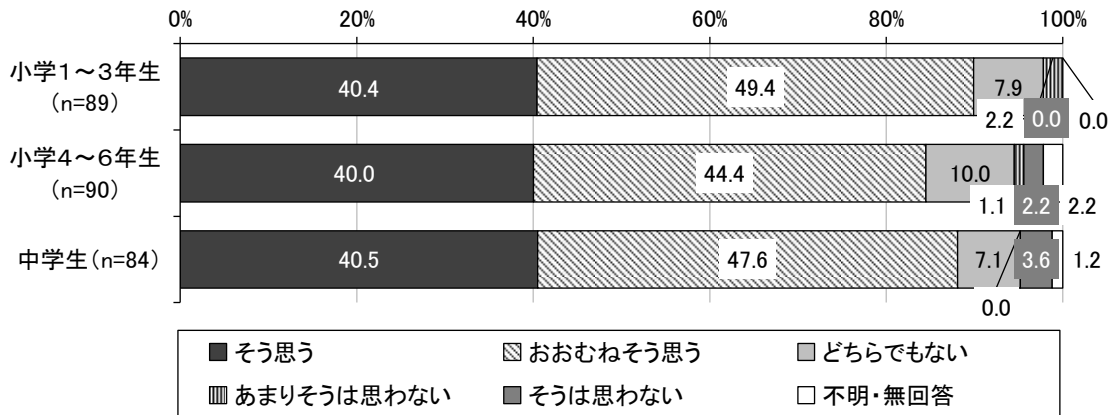




【a 子どもたちは、楽しく学校に通っていると思いますか】

子どもの学年別にみると、いずれの学年も『思う』が8割を超えて高くなっています。

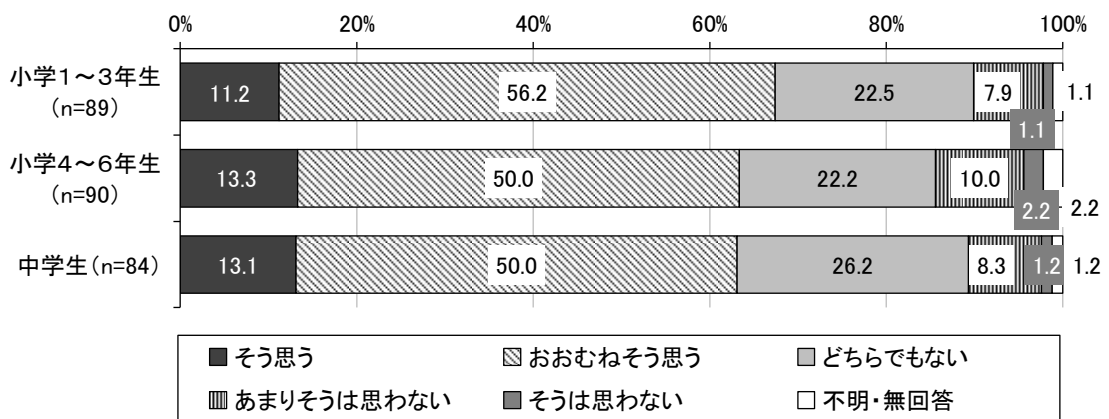
■子どもの学年別



【b 子どもたちは、学習内容が理解できていると思いますか】

子どもの学年別にみると、いずれの学年も『思う』が6割を超えて高くなっています。

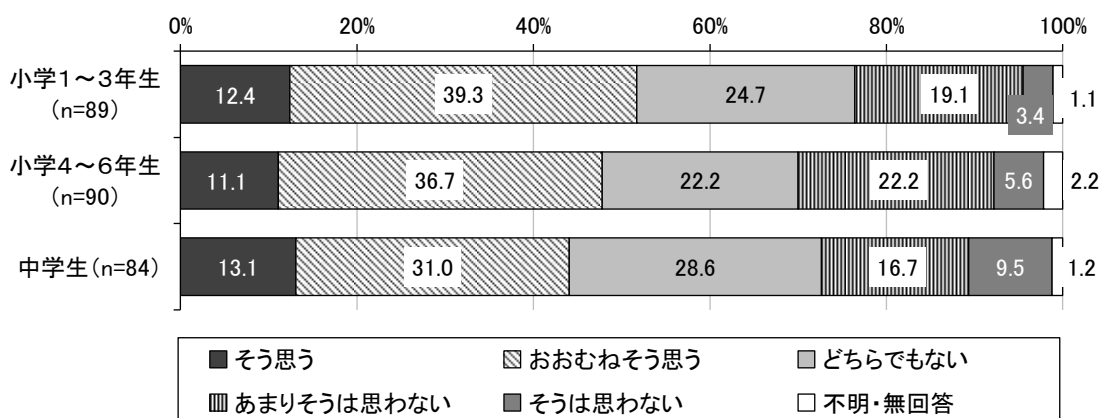
■子どもの学年別



【c 子どもたちは、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか】

子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて『思う』の割合が低くなっています。

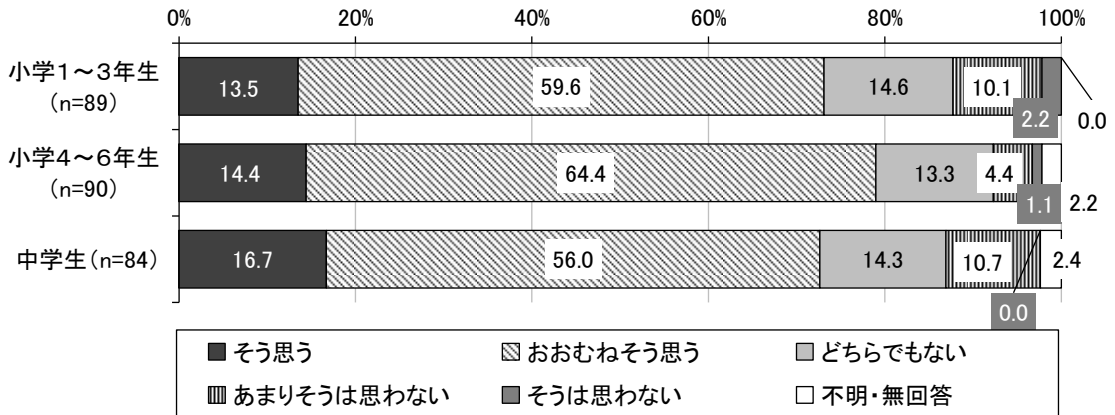
■子どもの学年別



【d 子どもたちは、あいさつがきちんとできていると思いますか】

子どもの学年別にみると、他の学年と比べて小学4～6年生の『思う』がやや高くなっています。

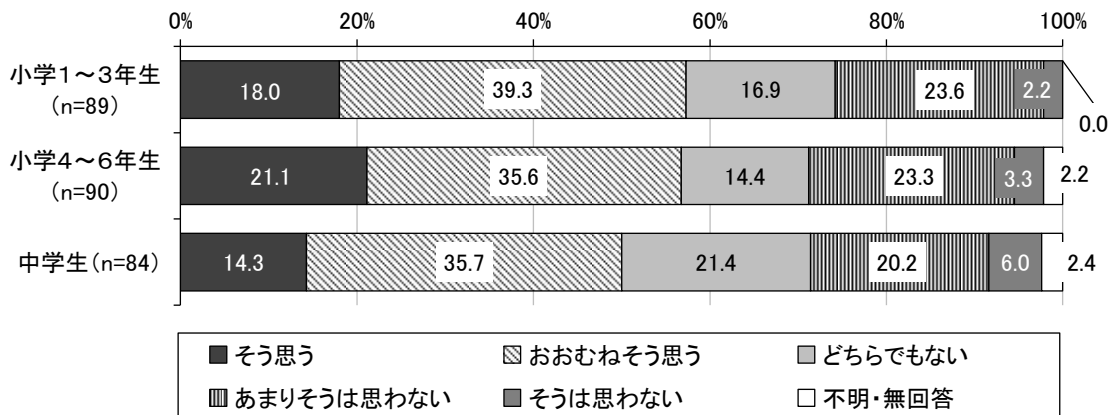
■子どもの学年別



【e 子どもたちは、家の手伝いができていると思いますか】

子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて『思う』の割合が低くなっています。

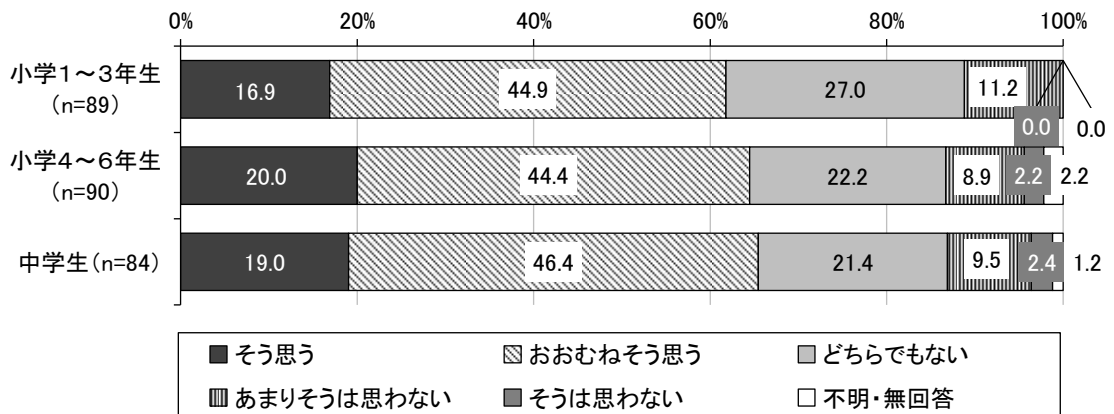
■子どもの学年別



【f 子どもたちは、身の回りのことが自分でできていると思いますか】

子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて『思う』の割合が高くなっています。

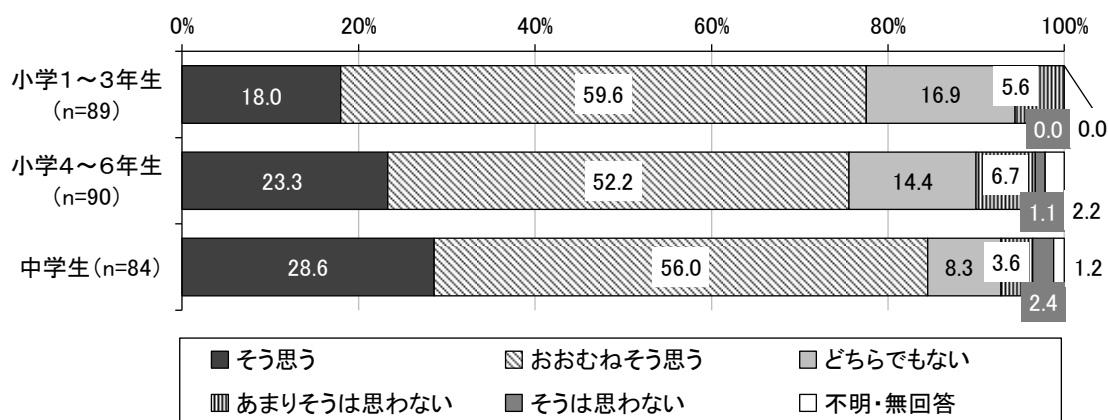
■子どもの学年別



### 【g 子どもたちは、注意指導にきちんと従うと思いますか】

子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて「そう思う」の割合が高くなっています。中学生は『思う』が84.6%と8割を超えて高くなっています。

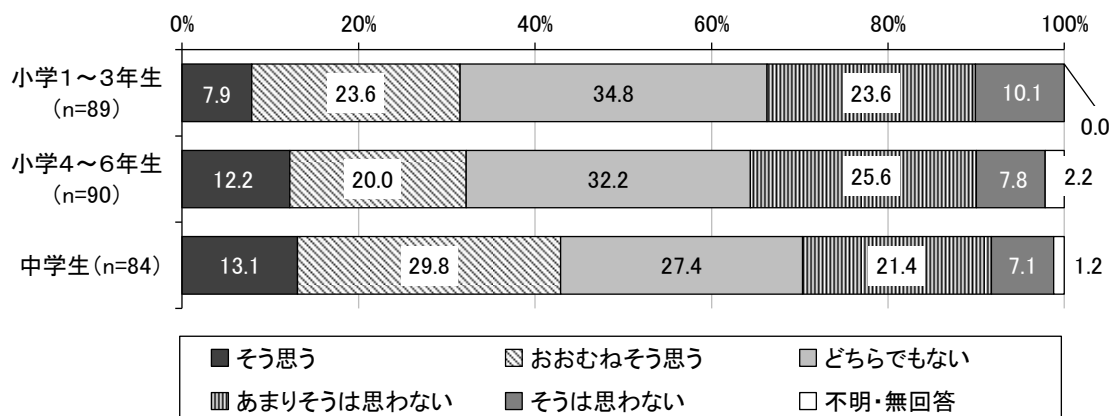
#### ■子どもの学年別



### 【h 子どもたちは、将来の夢や将来就きたい職業を考えていると思いますか】

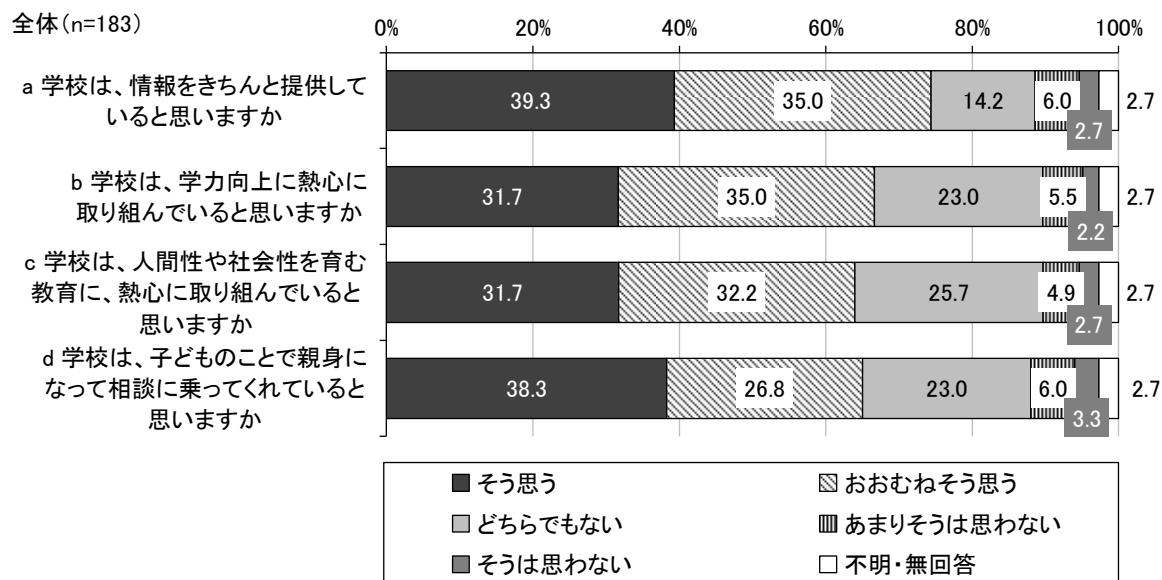
子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて『思う』の割合が高くなっており、中学生では小学生と比べて10ポイント以上高くなっています。

#### ■子どもの学年別



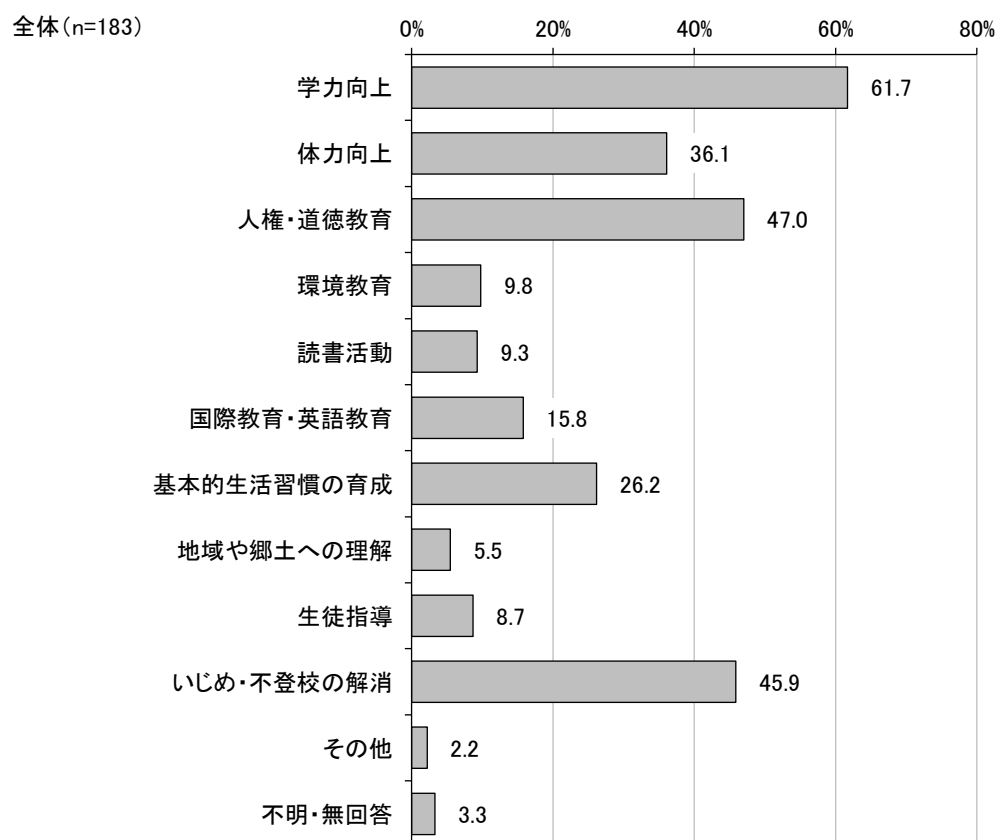
問 20 あなたのお子さんが通っている学校について、以下の a~d の設問にお答えください。  
 (各設問でひとつだけ○)

子どもが通っている学校についてみると、いずれの項目も『思う(「そう思う」と「おおむねそう思う」の合計)』が6割を超えて高くなっています。



問 21 学校で、特に力を入れるべきだと思うことはどんなことですか。(〇は3つまで)

学校で、特に力を入れるべきだと思うことについてみると、「学力向上」が 61.7%と最も高く、次いで「人権・道徳教育」が 47.0%、「いじめ・不登校の解消」が 45.9%となっています。



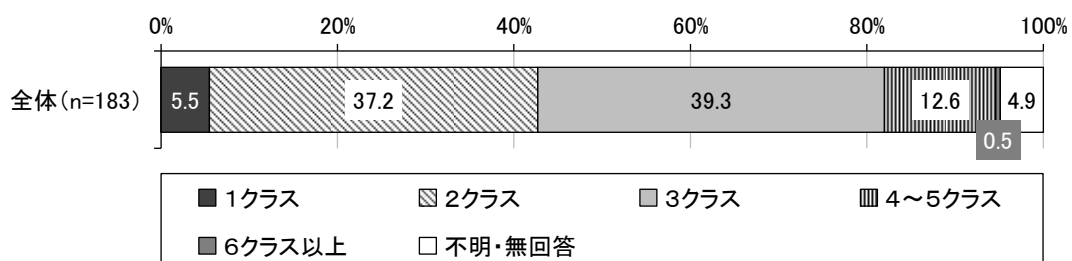
【その他】

- ・発達障がい等を持っている子どもたちへの合理的配慮対応。また、障がいに対する専門知識を持つべきだ
- ・PC 授業などがここは遅れている
- ・先生指導

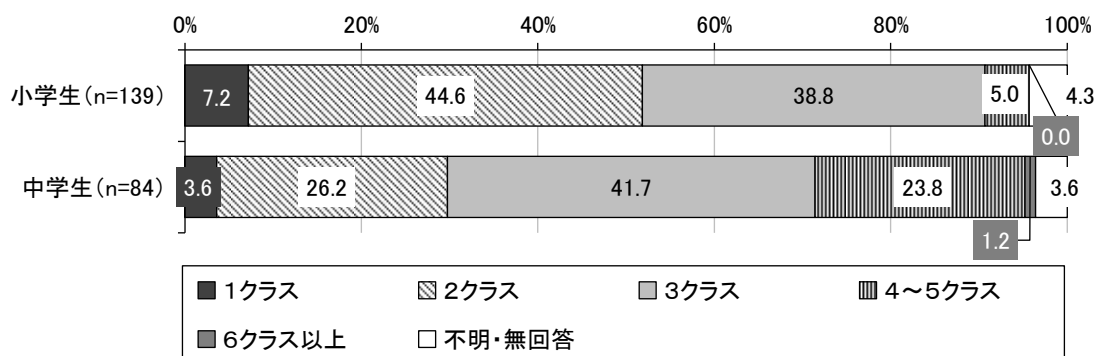
問 22 望ましい学級数は1学年何クラスだと思いますか。(ひとつだけ○)

望ましい学級数は1学年何クラスだと思うかについてみると、「3クラス」が39.3%と最も高く、次いで「2クラス」が37.2%、「4～5クラス」が12.6%となっています。

子どもの属性別（小学生・中学生）にみると、小学生は「2クラス」が44.6%、中学生は「3クラス」が41.7%で最も高くなっています。



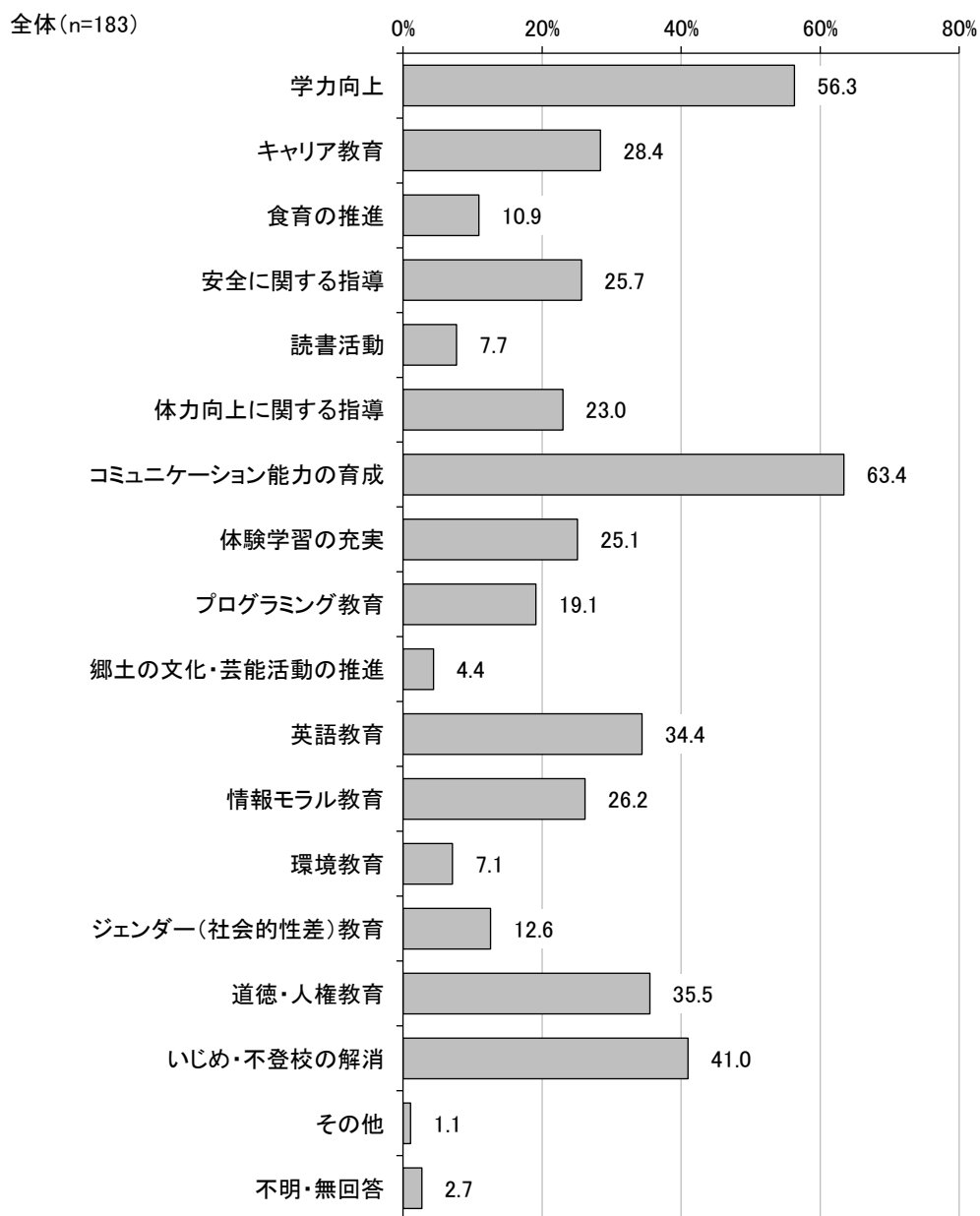
■子どもの属性別（小学生・中学生）



問 23 今後特に重点的に取り組むべきものは何だと思えますか。(〇は5つまで)

今後特に重点的に取り組むべきものについてみると、「コミュニケーション能力の育成」が 63.4%と最も高く、次いで「学力向上」が 56.3%、「いじめ・不登校の解消」が 41.0%となっています。

子どもの属性別（小学生・中学生）にみると、「安全に関する指導」で小学生が中学生よりも 9.8 ポイント高くなっています。一方、「学力向上」「キャリア教育」で中学生が小学生よりも 10.0 ポイント以上高くなっています。

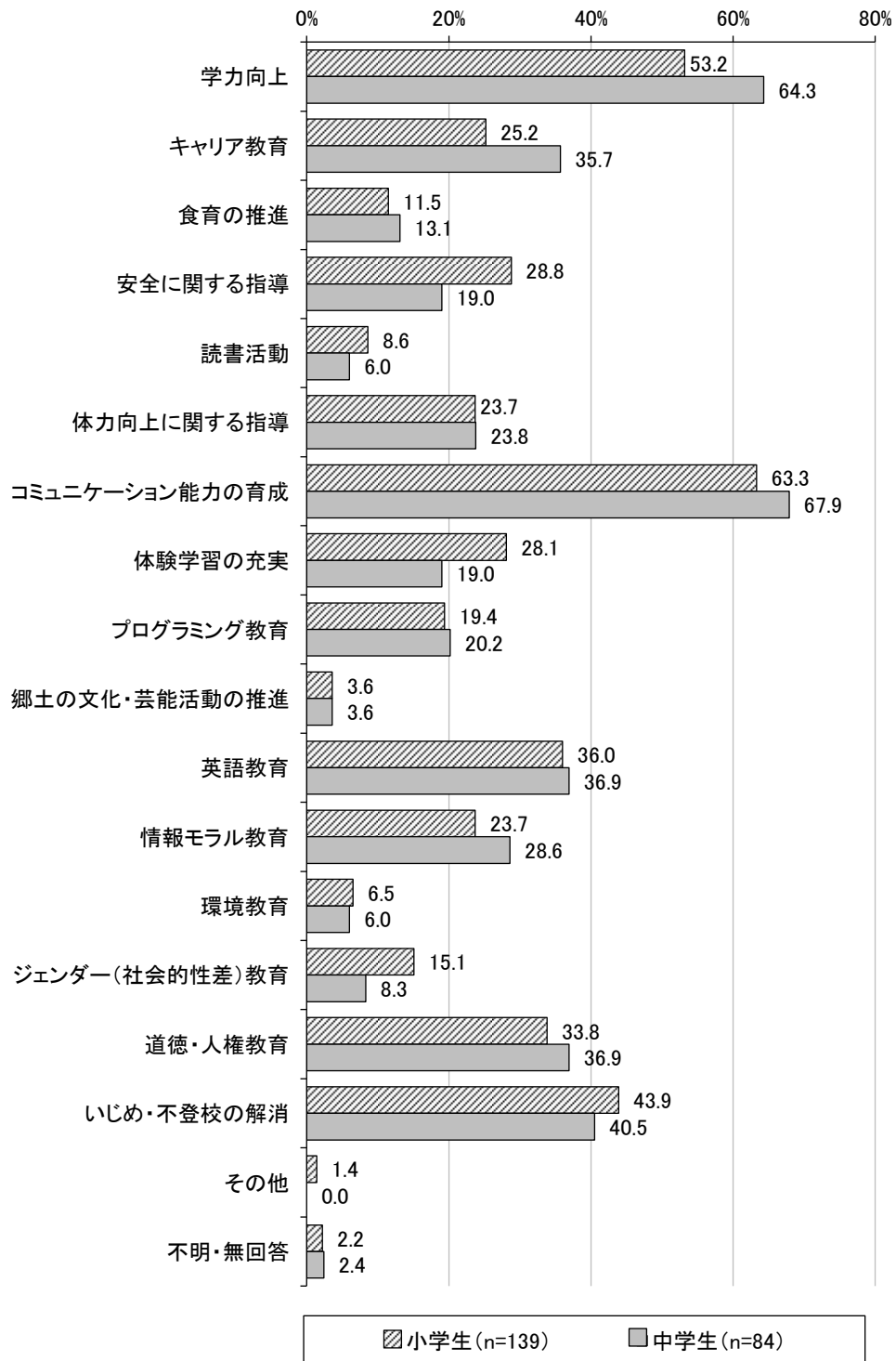


【その他】

・個別に合った能力開発

・ゆとり

■子どもの属性別（小学生・中学生）



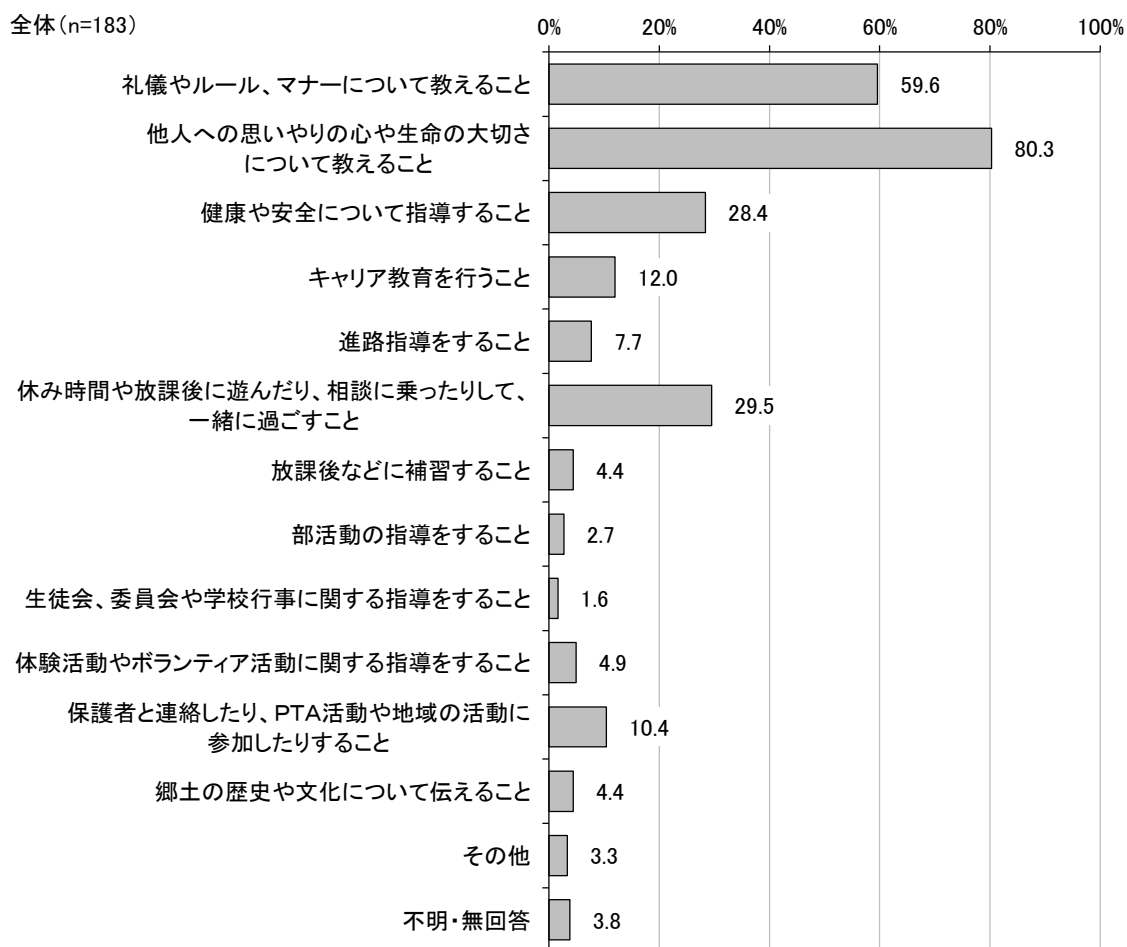


問 24 お子さんの学校の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか。

(○は3つまで)

学校の先生に、教科の授業以外で特に期待することについてみると、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が80.3%と最も高く、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が59.6%、「休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと」が29.5%となっています。

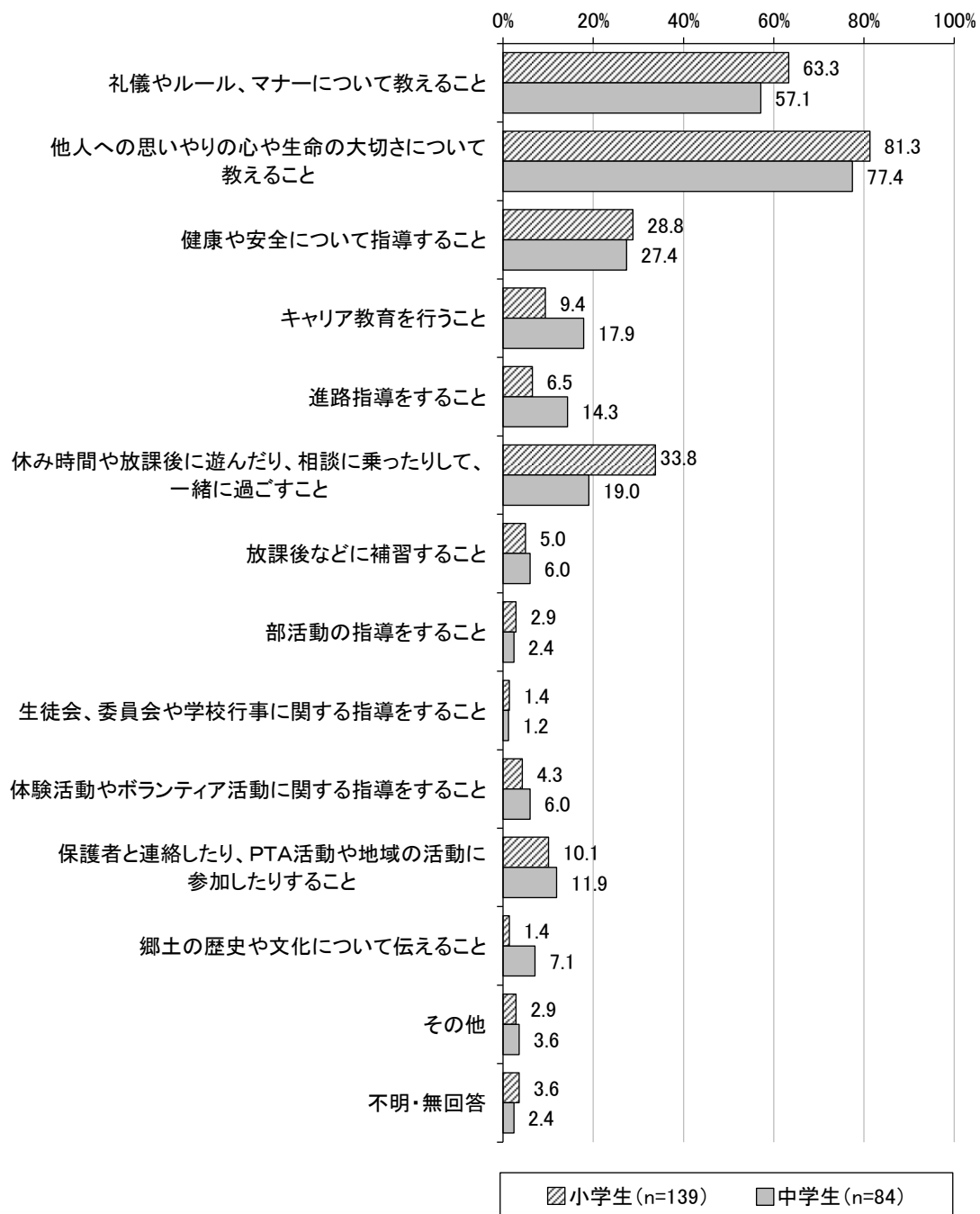
子どもの属性別（小学生・中学生）にみると、「休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと」で小学生が33.8%と中学生の19.0%よりも14.8ポイント高くなっています。



【その他】

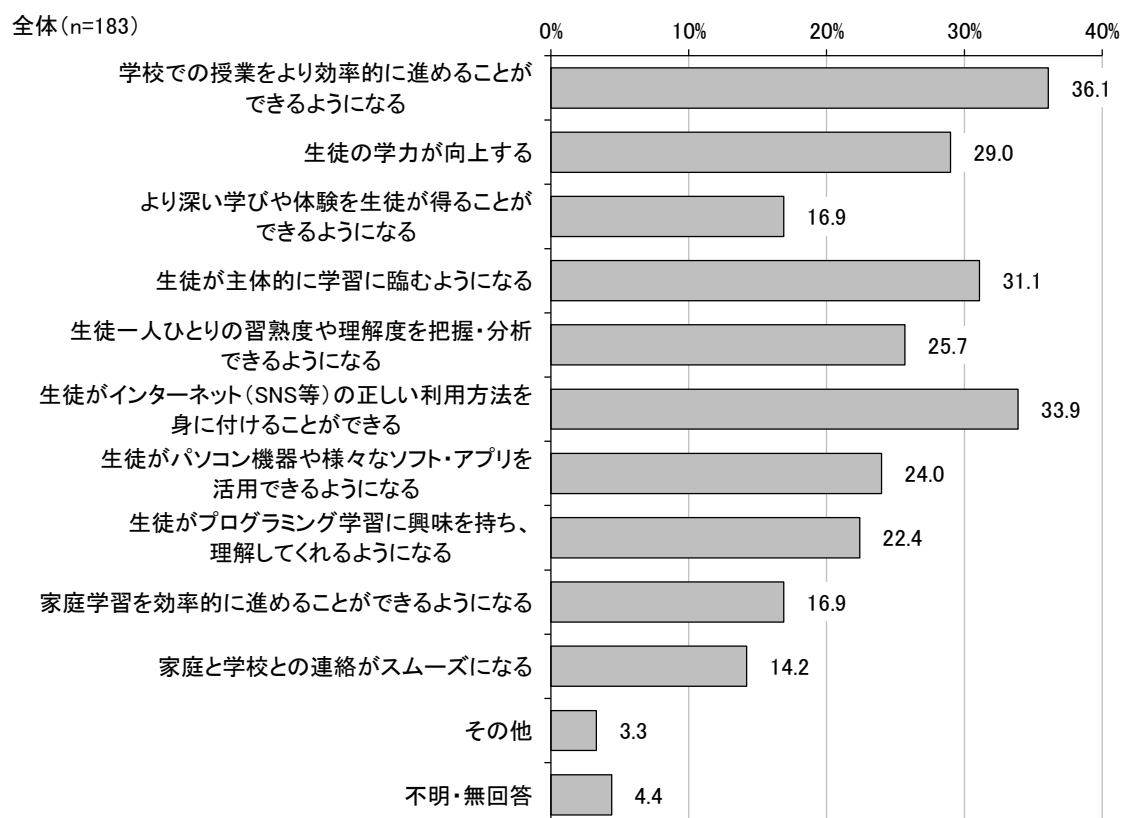
- ・教職員の資質向上が必要
- ・今は失望しているのでない
- ・マナーや礼儀等
- ・『問い』をたてる力をつけること
- ・個人と向き合うこと

■子どもの属性別（小学生・中学生）



問 25 現在、小・中学校では学校教育における ICT の活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）が進められています。学校教育における ICT の活用を通して、あなたが特に期待することは何ですか。（〇は3つまで）

学校教育における ICT の活用を通して、特に期待することについてみると、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が 36.1%と最も高く、次いで「生徒がインターネット（SNS 等）の正しい利用方法を身に付けることができる」が 33.9%、「生徒が主体的に学習に臨むようになる」が 31.1%となっています。



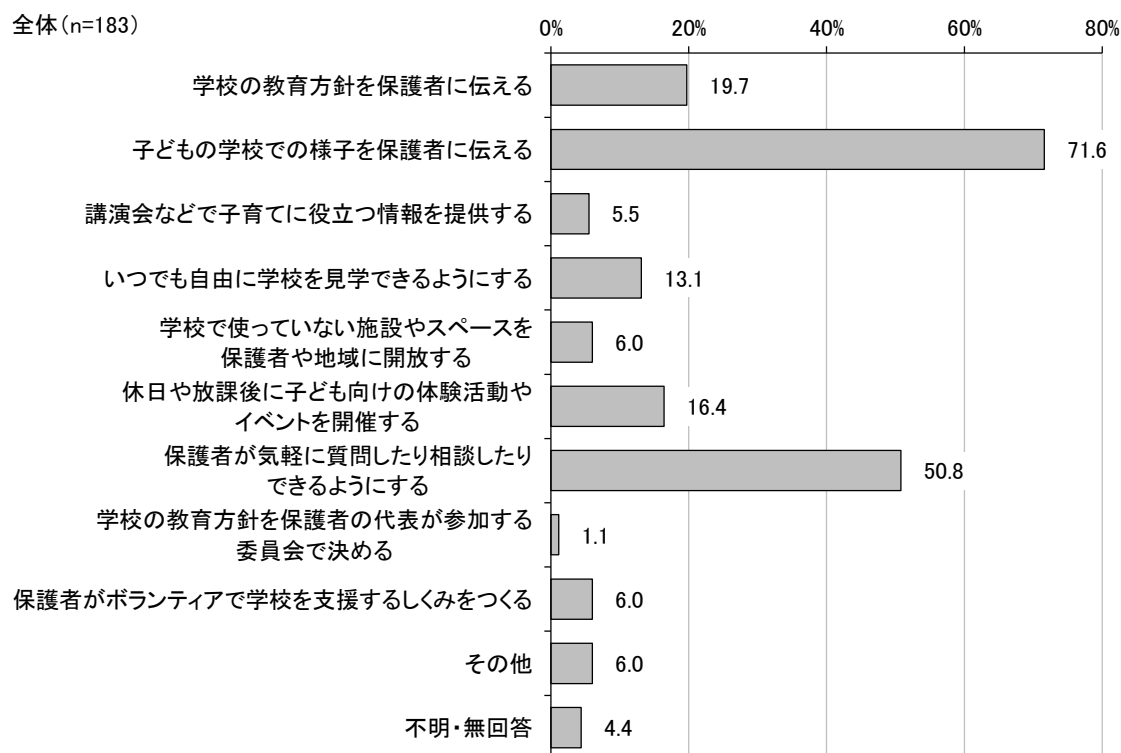
【その他】

- ・視力低下が心配(2)
- ・子どもたちが ICT を使うことと、アナログ(昔からのやり方)の両方を知り、それらの良さの問題点を理解し、その状況に応じて使い分けができること
- ・教科書の持ち帰りの必要がなくなり登下校が楽になる
- ・地域格差がなくなる
- ・特になし

問 26 あなたはお子さんが通われている学校に、どのようなことを望みますか。

(○は3つまで)

通われている学校に望むことについてみると、「子どもの学校での様子を保護者に伝える」が 71.6%と最も高く、次いで「保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が 50.8%、「学校の教育方針を保護者に伝える」が 19.7%となっています。



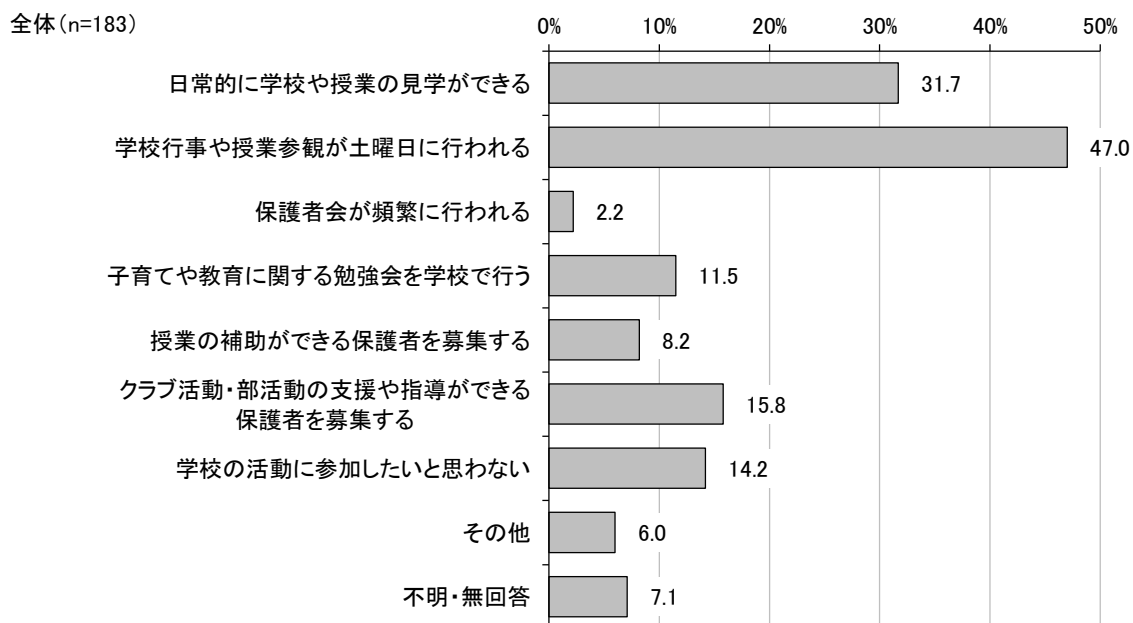
【その他】

- ・なし(2)
- ・授業中、騒がしい生徒もいると聞く。生徒あるいはその保護者にも厳しく指導をするべきだ
- ・職業体験やプロの方など実際に働く人の声を子どもたちが見たり聞いたりでき、具体的に将来を考えるきっかけづくりをたくさんしていただきたい
- ・自学学習が毎日のように出るがよくできていないのでプリントなどで出すことを多くしてほしい
- ・子ども一人ひとりとの対話や関わりを持ってほしい
- ・学校の活動は好きなので、進んで参加している
- ・5月までは信用できていた。残念だ
- ・基本的な集団生活を身につける事
- ・先生の質の向上
- ・学習方法

問 27 どのような方法であれば、あなたはより一層学校の活動に参加できますか。

(○は3つまで)

どのような方法であれば、より一層学校の活動に参加できるかについてみると、「学校行事や授業参観が土曜日に行われる」が47.0%と最も高く、次いで「日常的に学校や授業の見学ができる」が31.7%、「クラブ活動・部活動の支援や指導ができる保護者を募集する」が15.8%となっています。



【その他】

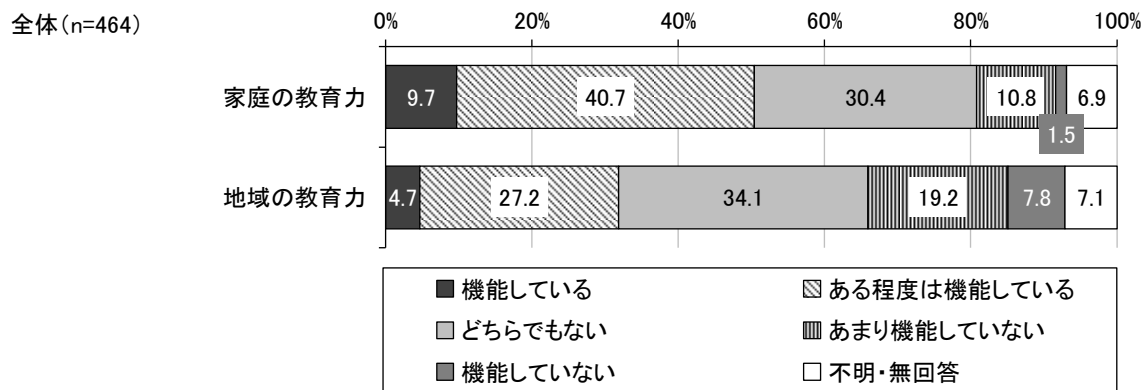
- ・学校行事や授業参観が日曜日に行われる(3)
- ・学校をどうにかするより、職場に『学校行事に参加することを推奨する』と言われれば参加しやすい。休みがとりやすい環境づくりのために、企業に呼びかけが必要。
- ・保護者の方の中で、いろんな職業の方がいらっしゃると思うので、こういった高校、大学へ行き、こういう勉強をした等身近の人の声を子どもたちに話す機会があると良いと思う
- ・学校(教育委員会)への信頼を高めていくことで、応援したいと思う人も増えると思う
- ・確実な日程や時間が1ヶ月以上前にわかると職場に協力が得られやすい
- ・バリアフリー対応されていないので参加する事ができない
- ・クラブ活動、部活動の支援や指導、授業の補助を行う保護者へ、少しでも報酬があると、人が集まると思う
- ・なし

## 4. 家庭教育・地域教育について

問 28 周辺の社会を見まわして、家庭の教育力、地域の教育力が機能していると思いますか。  
 (それぞれにひとつだけ〇)

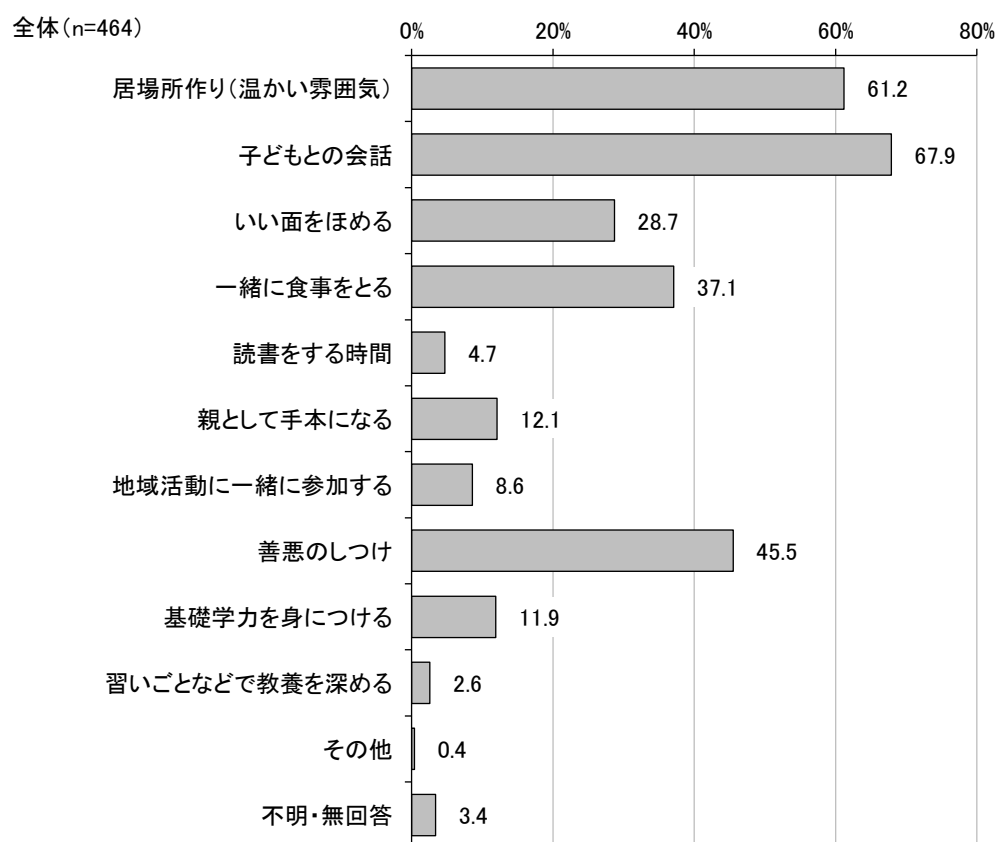
周辺の社会を見まわして、家庭の教育力、地域の教育力が機能していると思うかについてみると、[家庭の教育力]では「ある程度は機能している」が40.7%と最も高く、次いで「どちらでもない」が30.4%、「あまり機能していない」が10.8%となっています。

[地域の教育力]では「どちらでもない」が34.1%と最も高く、次いで「ある程度は機能している」が27.2%、「あまり機能していない」が19.2%となっています。



問 29 家庭教育のなかで、心がけるべきだと思うものを選んでください。(〇は3つまで)

家庭教育のなかで、心がけるべきだと思うものについてみると、「子どもとの会話」が 67.9%と最も高く、次いで「居場所作り(温かい雰囲気)」が 61.2%、「善悪のしつけ」が 45.5%となっています。



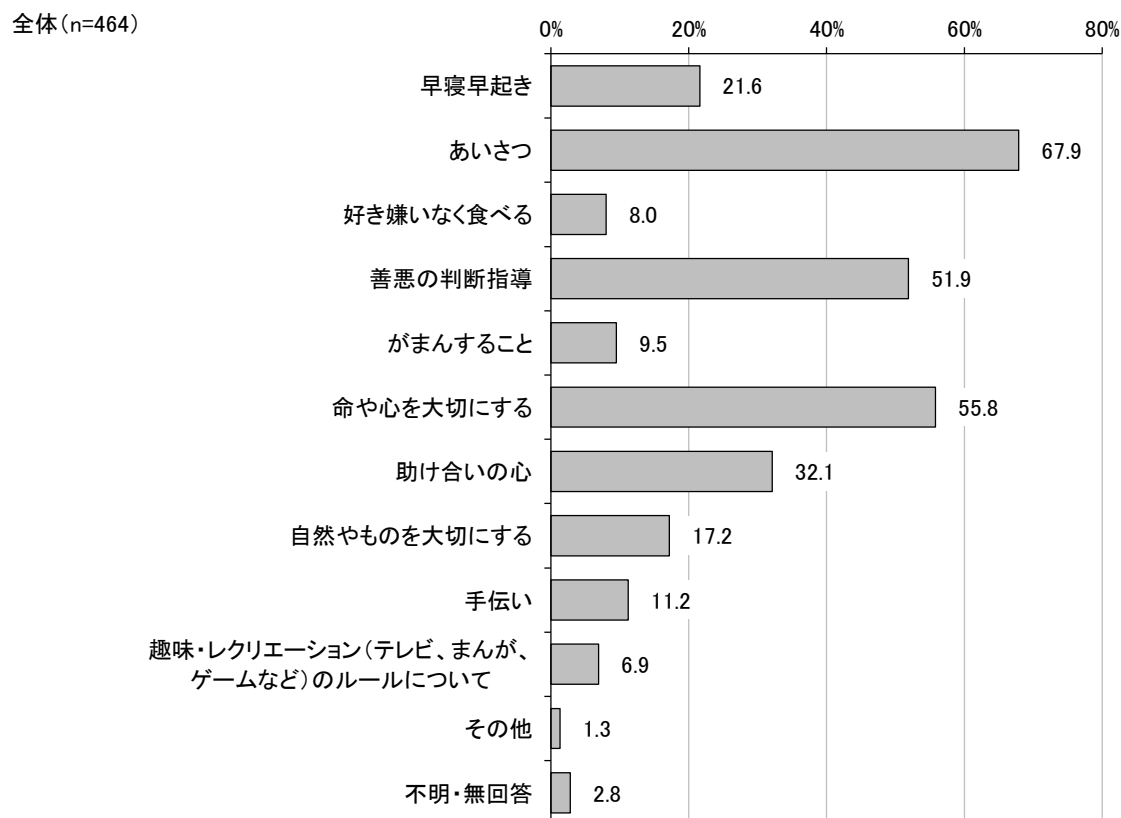
【その他】

- ・自ら進んであらゆることを考える訓練(基礎学力の定着、新聞やニュース等を批判的に読み取り意見論述する訓練が前提)
- ・自分で物事を考え、自律・判断する力

問 30 家庭教育における「しつけ」について気をつけるべきだと思うことを選んでください。

(〇は3つまで)

家庭教育における「しつけ」について気をつけるべきだと思うことについてみると、「あいさつ」が67.9%と最も高く、次いで「命や心を大切にすること」が55.8%、「善悪の判断指導」が51.9%となっています。



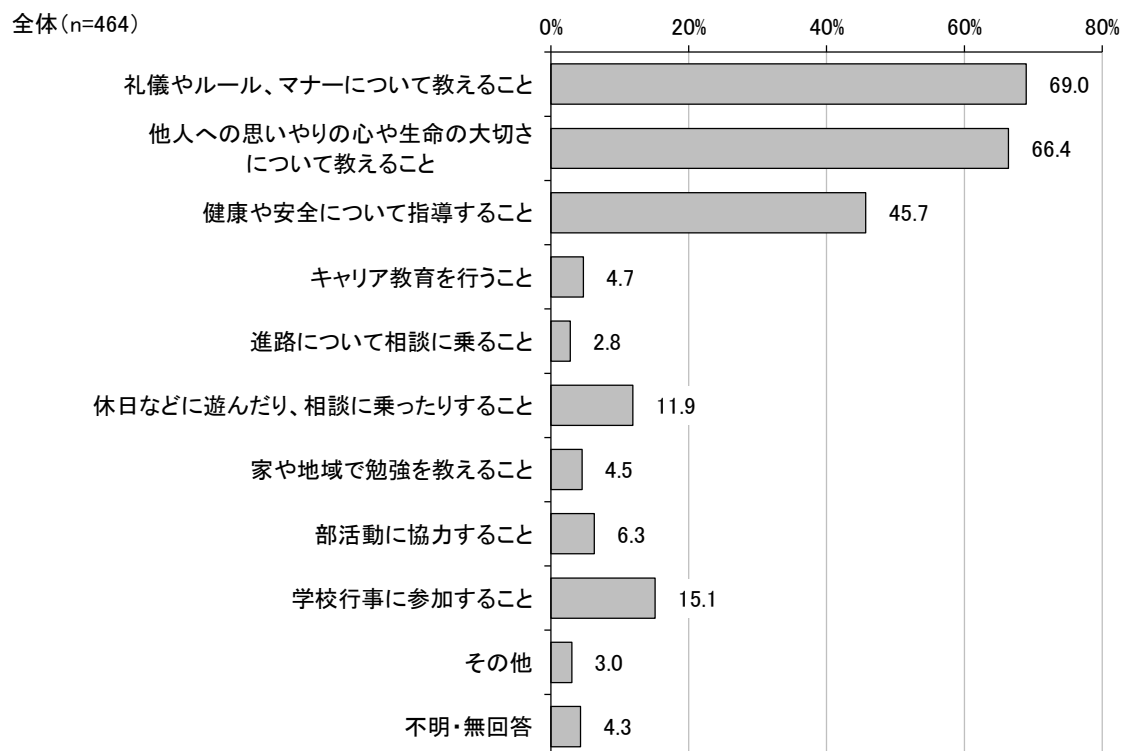
【その他】

- ・何をすべきかの優先順位を立て、どうすれば良くなるか(改善できるか)を考える
- ・子どもとの会話。よく話をし、問題があれば話し合うこと
- ・どんな優しい言葉でも、児相からすると虐待とされる
- ・自分で考え相談する、または報告し行動する
- ・相手を大切に相手のことを考える
- ・『問い』をたてる力をつけること
- ・自分を大切にすること



問 31 地域教育において、地域の方が取り組むべきだと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

地域教育において、地域の方が取り組むべきだと思うことについてみると、「礼儀やルール、マナーについて教えること」が69.0%と最も高く、次いで「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が66.4%、「健康や安全について指導すること」が45.7%となっています。

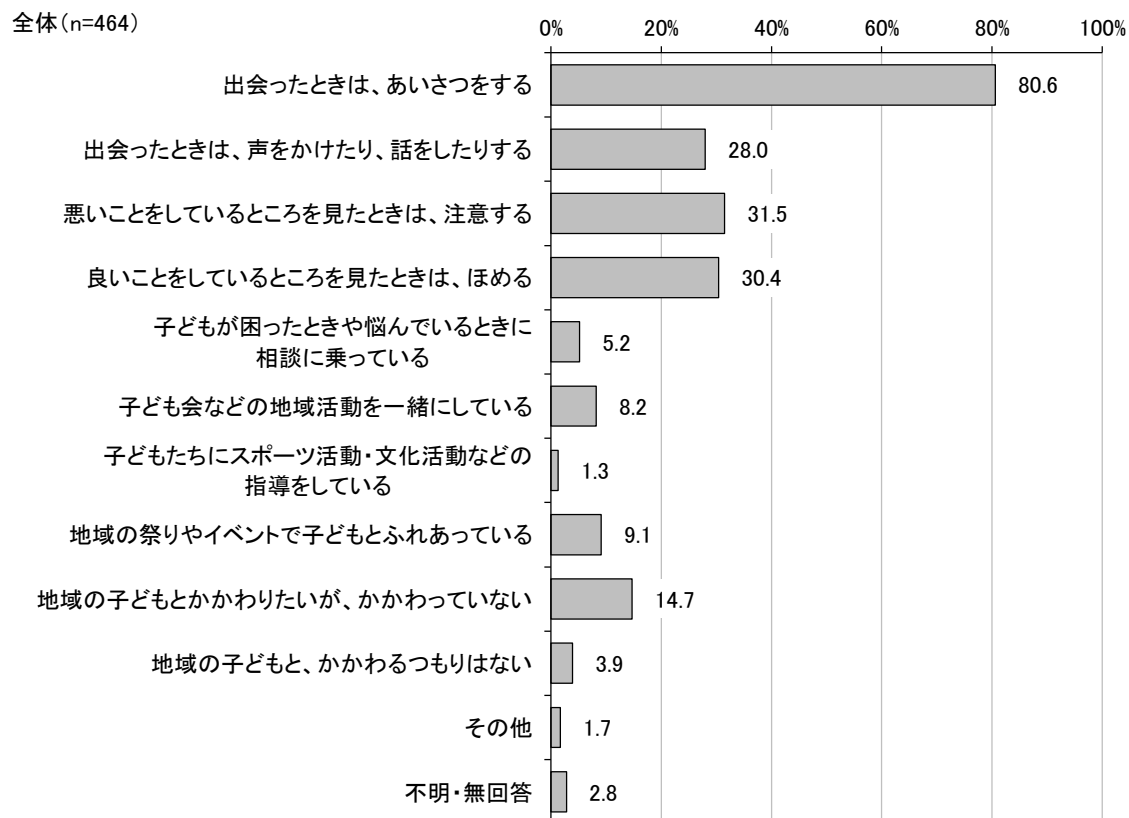


【その他】

- ・いじめ問題。自分と他人との考え方の違い、他人に迷惑をかけない、道路（私道でも）ボール遊びをしない、事故にあったらこちらの責任になるので小さい頃から教えるべきである。広報に載せるなど幼稚園や小学校中学校でも教えるべきであると思う
- ・速いスピードで変化している世情（ネット事情、多様性など）についても知る努力をしていただき、その上で先人の知恵を活かして対応していただきたいと思う。関わってくださる地域の方の考え方や価値観が古いと思うことがある
- ・子どもたちの手本となる行動をしてほしい。安全運転を心がけてほしい
- ・地域の活動に興味を持って参加したり、まず地域の子どもに関心を持つ
- ・地域活動を理解しておらず、答えられない。申し訳ありません
- ・大人が子どもたちに見られて恥ずかしく無い生き方をすること
- ・基本は全て家庭であるべき内容ばかりで選択し辛い
- ・今の時代、地域教育が機能するか不明
- ・子どもの居場所づくり（安心安全な場）
- ・だめなことはだめだと教えること
- ・下校の見守り

問 32 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。(当てはまるもの全てに○)

普段、地域の子どもとどのように接しているかについてみると、「出会ったときは、あいさつをする」が80.6%と最も高く、次いで「悪いことをしているところを見たときは、注意する」が31.5%、「良いことをしているところを見たときは、ほめる」が30.4%となっています。

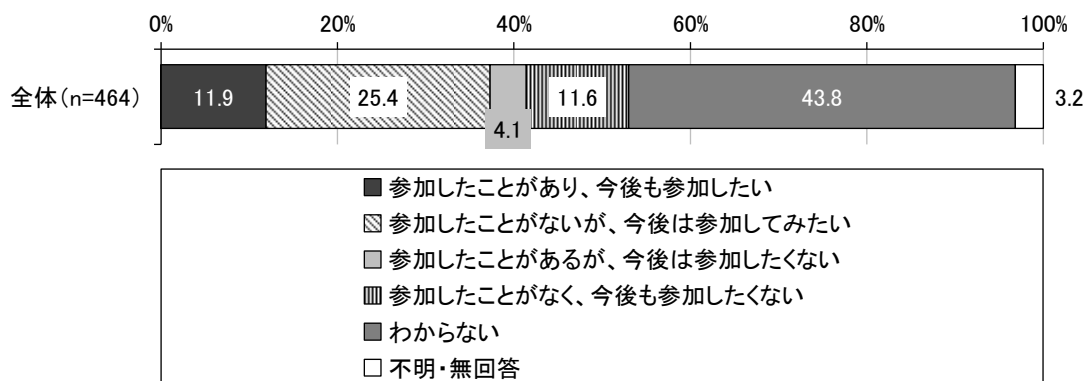


【その他】

- ・自分の子もいるので登校班に途中まで着いていき、横断歩道を渡るのを見守っている。小学校で読み聞かせボランティアをしている
- ・新型コロナ等もあり、子どもとは触れていない。あいさつ程度
- ・地域で子どもの数が少なく、あまり見かけない
- ・他人の子どもにとやかく言える時代ではない
- ・外出しないので、関わっていない
- ・子どもと関わる機会がない
- ・まわりに子どもがいない

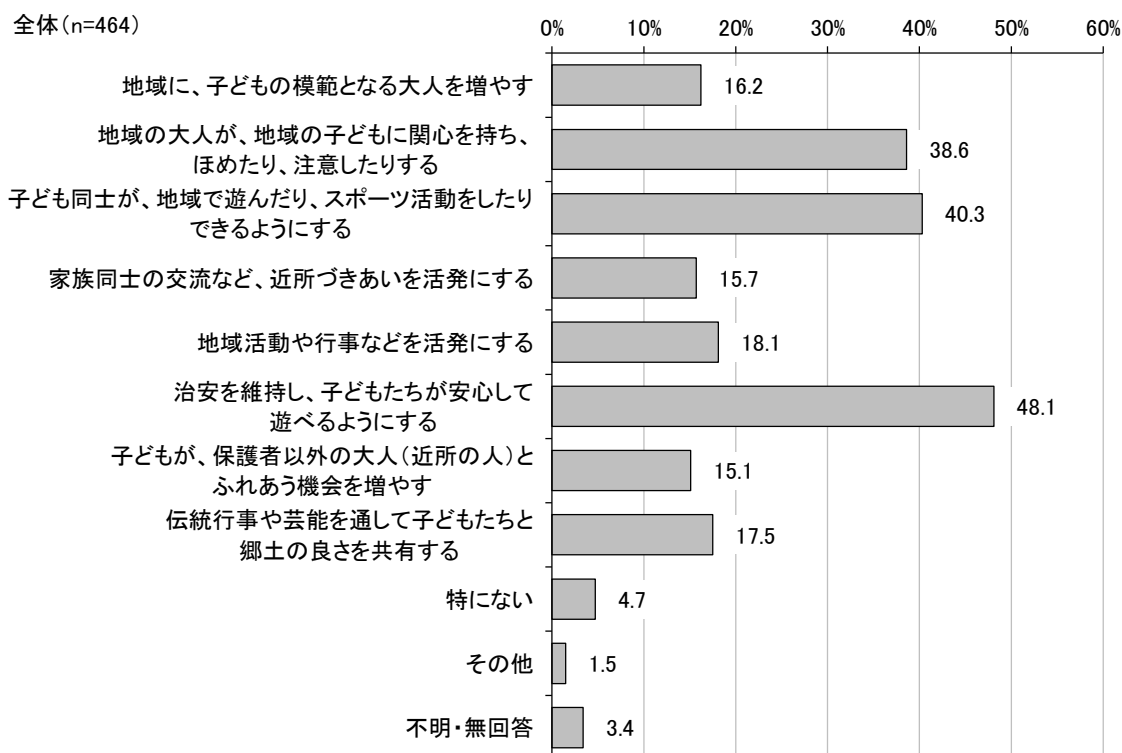
問 33 荒尾市では、開かれた学校づくりを進め、地域の教育力を活かした学校への支援を進めています。このような地域の学校支援活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけ○)

地域の学校支援活動に参加したいと思うかについてみると、「わからない」が 43.8%と最も高く、次いで「参加したことがないが、今後は参加してみたい」が 25.4%、「参加したことがあり、今後も参加したい」が 11.9%となっています。



問 34 「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「地域の教育力」を高めるために必要な取組についてみると、「治安を維持し、子どもたちが安心して遊べるようにする」が48.1%と最も高く、次いで「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動をしたりできるようにする」が40.3%、「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」が38.6%となっています。



【その他】

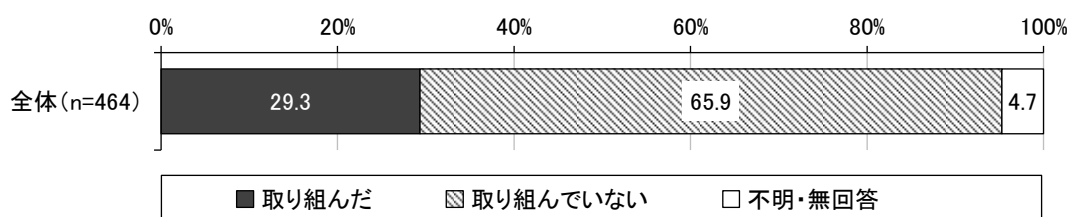
- ・子どもの前に地域の住民同士の繋がりが大切。今、コロナの関係でより疎遠になっている
- ・子どもたちが遊びやすい広い公園や安全な道路として自転車の通路を開設してほしい
- ・わからない。現代の子どもの教育として何がより良いものなのかわからない
- ・安易に見放さないこと

## 5. 生涯学習について

問 35 生涯学習とは、学校以外の場で、自己の啓発・充実、生活の向上のために、自らの意思で自発的に行う学習活動（趣味等も含む）のことです。この1年間に生涯学習に取り組みましたか。（ひとつだけ○）

この1年間に生涯学習に取り組んだかについてみると、「取り組んだ」が29.3%、「取り組んでいない」が65.9%となっています。

年代別にみると、10代～30代は「時間に余裕がない」、70代、80代以上は「年齢的・体力的に難しい」が最も高くなっています。また、60代では「あえて学ばなくても不自由していない」が2番目に高くなっています。



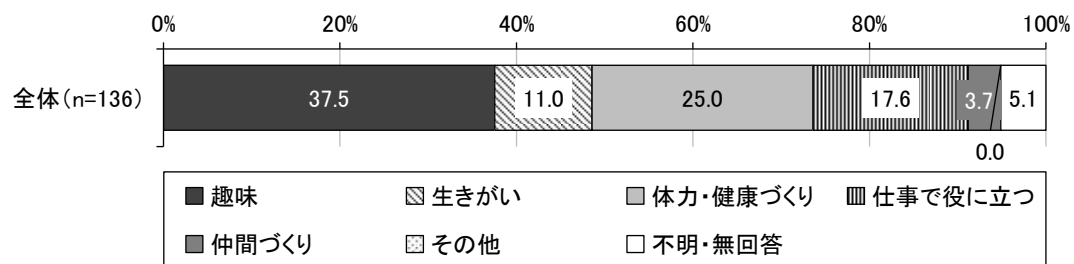
### ■年代別

上段:件数 下段:%	合計	取り組んだ	取り組んで いない	不明・無回 答
全体	464	136	306	22
	100.0	29.3	65.9	4.7
10代	24	9	15	-
	100.0	37.5	62.5	-
20代	16	4	12	-
	100.0	25.0	75.0	-
30代	72	22	49	1
	100.0	30.6	68.1	1.4
40代	104	31	71	2
	100.0	29.8	68.3	1.9
50代	53	17	34	2
	100.0	32.1	64.2	3.8
60代	75	18	52	5
	100.0	24.0	69.3	6.7
70代	73	25	42	6
	100.0	34.2	57.5	8.2
80代以上	41	9	26	6
	100.0	22.0	63.4	14.6

問 35 で「取り組んだ」を選んだ方にお聞きします。

問 36 生涯学習を行う主な理由について、選んでください。(ひとつだけ○)

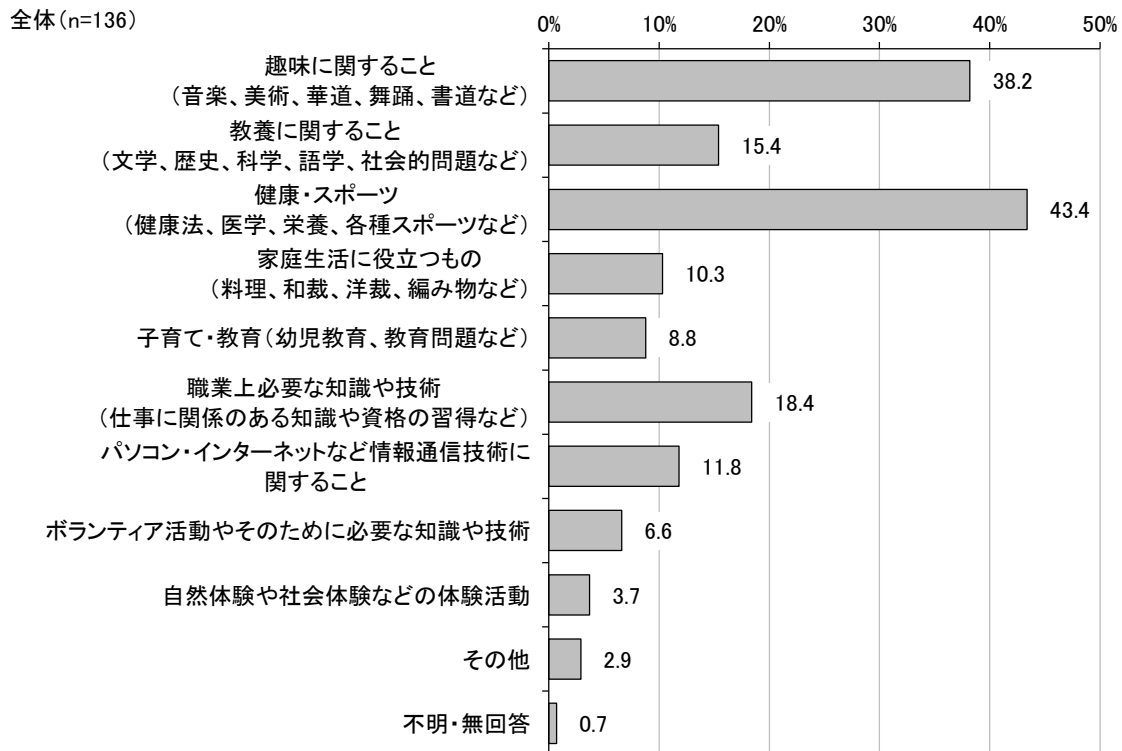
生涯学習を行う主な理由についてみると、「趣味」が 37.5%と最も高く、次いで「体力・健康づくり」が 25.0%、「仕事で役に立つ」が 17.6%となっています。



問 35 で「取り組んだ」を選んだ方にお聞きします。

問 37 どのような内容の学習をしましたか。(当てはまるもの全てに○)

どのような内容の学習をしたかについてみると、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、各種スポーツなど）」が 43.4%と最も高く、次いで「趣味に関すること（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が 38.2%、「職業上必要な知識や技術（仕事に関係のある知識や資格の習得など）」が 18.4%となっています。



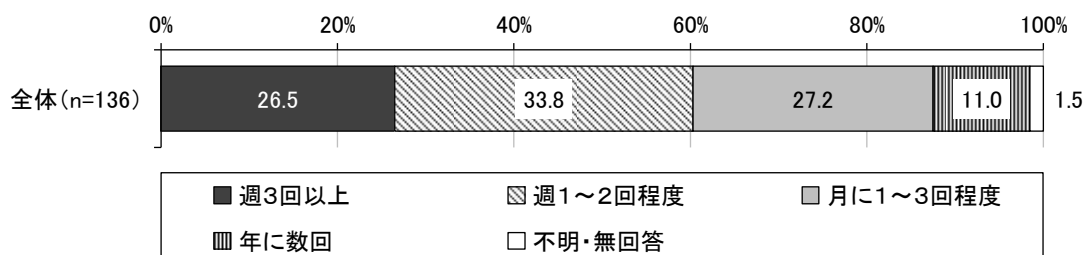
【その他】

- ・ボケ防止にクイズなど
- ・自宅菜園
- ・ミニ四駆

問 35 で「取り組んだ」を選んだ方にお聞きします。

問 38 どれくらいの頻度で生涯学習を行っていますか。(ひとつだけ○)

生涯学習を行う頻度についてみると、「週1～2回程度」が 33.8%と最も高く、次いで「月に1～3回程度」が 27.2%、「週3回以上」が 26.5%となっています。

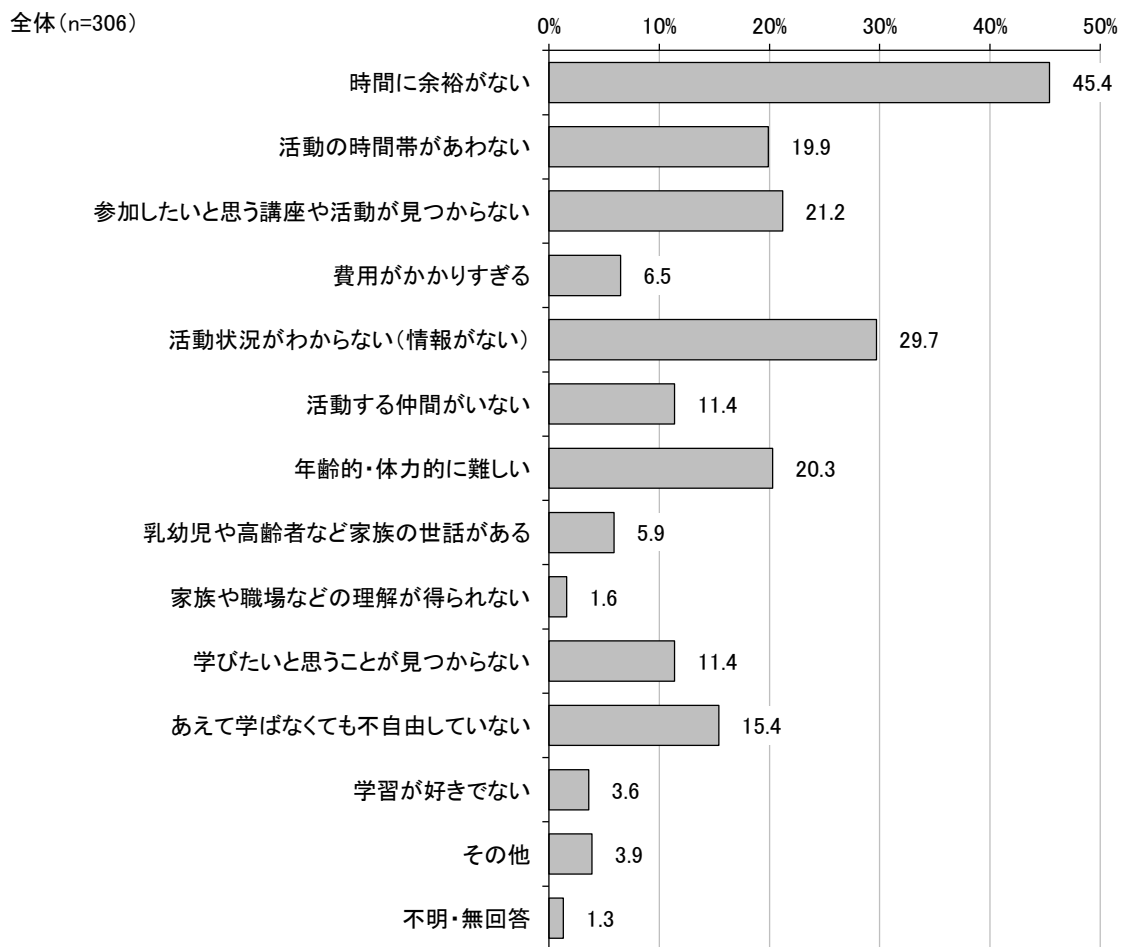


問 35 で「取り組んでいない」を選んだ方にお聞きします。

問 39 生涯学習をしていない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

生涯学習をしていない理由についてみると、「時間に余裕がない」が 45.4%と最も高く、次いで「活動状況がわからない(情報がない)」が 29.7%、「参加したいと思う講座や活動が見つからない」が 21.2% となっています。

年代別にみると、10代～30代は「時間に余裕がない」、70代、80代以上は「年齢的・体力的に難しい」が最も高くなっています。また、60代では「あえて学ばなくても不自由していない」が2番目に高くなっています。



【その他】

- ・親が送り迎え当たり前、昔みたいに学校での部活をまた増やしてほしい
- ・娘が大病し、抗がん剤治療中のため
- ・コロナの影響により取り組めない
- ・コロナであまり出たくない
- ・まだ仕事をしている
- ・わからない
- ・生涯学習って何なのか理解できない
- ・コロナの影響で密を避けている
- ・子どもがまだ小さいため
- ・長期病気治療中
- ・特になし



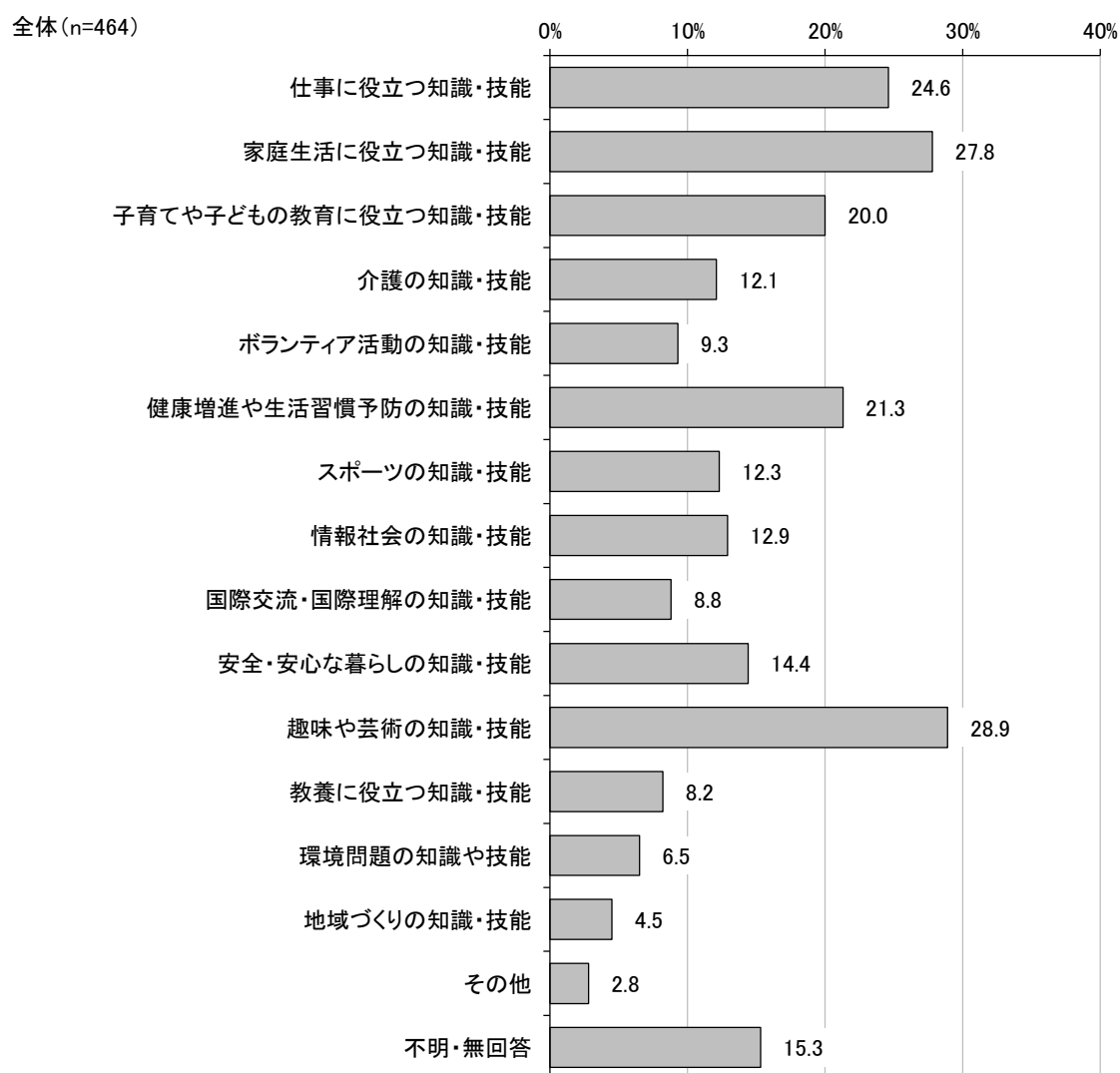
■年代別

上段:件数 下段:%	合計	時間に余裕がない	活動の時間帯があ わない	参加したいと思う 講座や活動が見つ からない	費用がかかりすぎ る	活動状況がわから ない(情報がな い)	活動する仲間がい ない
全体	306 100.0	139 45.4	61 19.9	65 21.2	20 6.5	91 29.7	35 11.4
10代	15 100.0	7 46.7	2 13.3	2 13.3	- -	3 20.0	1 6.7
20代	12 100.0	7 58.3	1 8.3	6 50.0	2 16.7	6 50.0	5 41.7
30代	49 100.0	35 71.4	16 32.7	14 28.6	8 16.3	17 34.7	3 6.1
40代	71 100.0	37 52.1	20 28.2	15 21.1	6 8.5	27 38.0	10 14.1
50代	34 100.0	19 55.9	6 17.6	4 11.8	3 8.8	9 26.5	5 14.7
60代	52 100.0	21 40.4	11 21.2	12 23.1	- -	15 28.8	6 11.5
70代	42 100.0	8 19.0	4 9.5	8 19.0	- -	10 23.8	5 11.9
80代以上	26 100.0	2 7.7	- -	3 11.5	- -	3 11.5	- -

年齢的・体力的に 難しい	乳幼児や高齢者な ど家族の世話があ る	家族や職場などの 理解が得られない	学びたいと思うこ とが見つからない	あえて学ばなくて も不自由していな い	学習が好きでない	その他	不明・無回答
62 20.3	18 5.9	5 1.6	35 11.4	47 15.4	11 3.6	12 3.9	4 1.3
-	-	-	-	-	2	-	1
-	-	-	-	-	13.3	-	6.7
-	1 8.3	-	2 16.7	3 25.0	-	1 8.3	-
1 2.0	7 14.3	-	4 8.2	7 14.3	-	3 6.1	-
5 7.0	4 5.6	3 4.2	11 15.5	4 5.6	2 2.8	4 5.6	-
2 5.9	3 8.8	-	4 11.8	5 14.7	1 2.9	-	-
11 21.2	1 1.9	1 1.9	8 15.4	16 30.8	3 5.8	4 7.7	1 1.9
21 50.0	2 4.8	-	6 14.3	9 21.4	1 2.4	-	1 2.4
21 80.8	-	1 3.8	-	3 11.5	2 7.7	-	1 3.8

問 40 生涯学習について、学んでみたい講座の分野を選んでください。(当てはまるもの全てに○)

学んでみたい講座の分野についてみると、「趣味や芸術の知識・技能」が 28.9%と最も高く、次いで「家庭生活に役立つ知識・技能」が 27.8%、「仕事に役立つ知識・技能」が 24.6%となっています。



【その他】

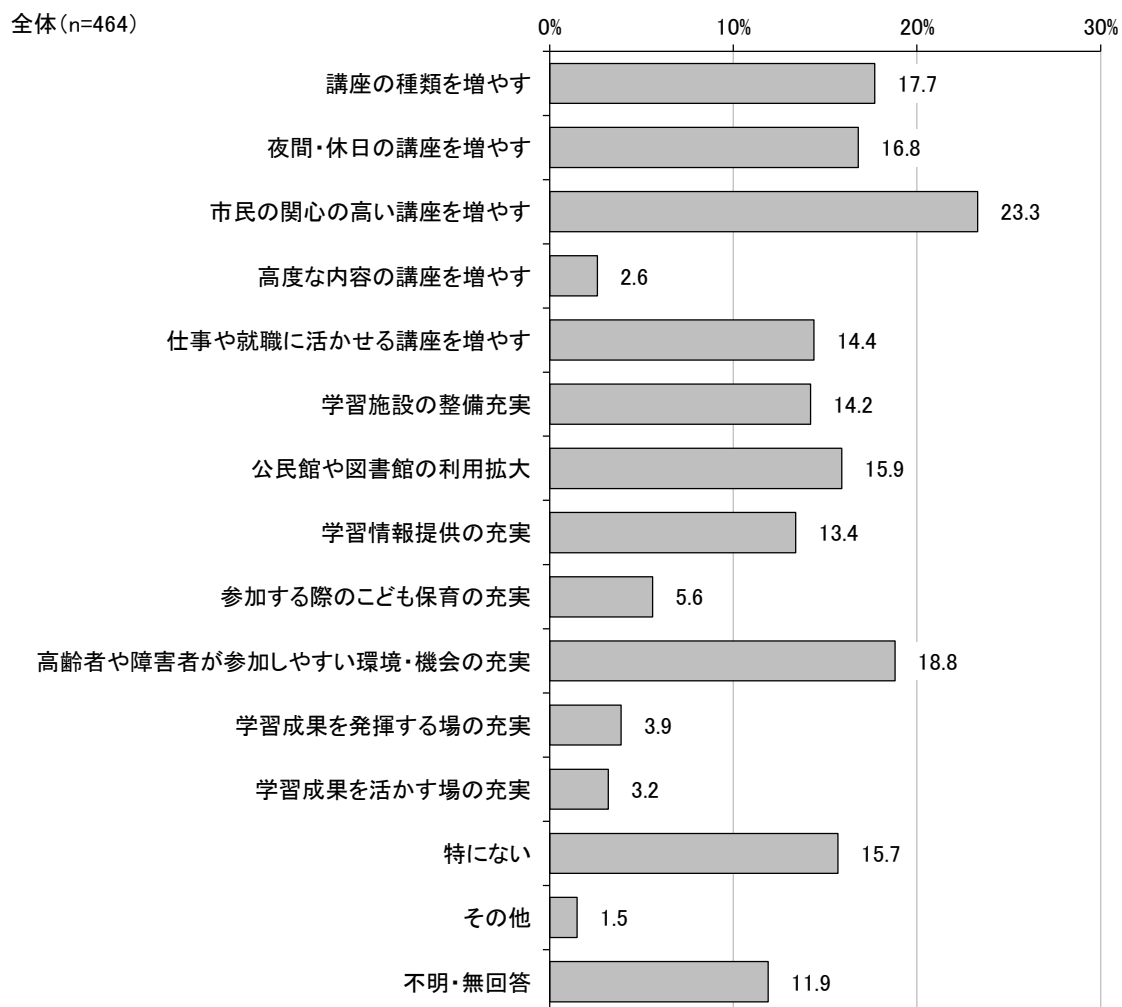
- ・なし、特になし(4)
- ・防災のこと

- ・食育に関する知識・技能

問 41 生涯学習を充実するために、荒尾市の行政に、特に力を入れてほしいことは何ですか。

(〇は3つまで)

生涯学習を充実するために、荒尾市の行政に、特に力を入れてほしいことについてみると、「市民の関心の高い講座を増やす」が23.3%と最も高く、次いで「高齢者や障害者が参加しやすい環境・機会の充実」が18.8%、「講座の種類を増やす」が17.7%となっています。



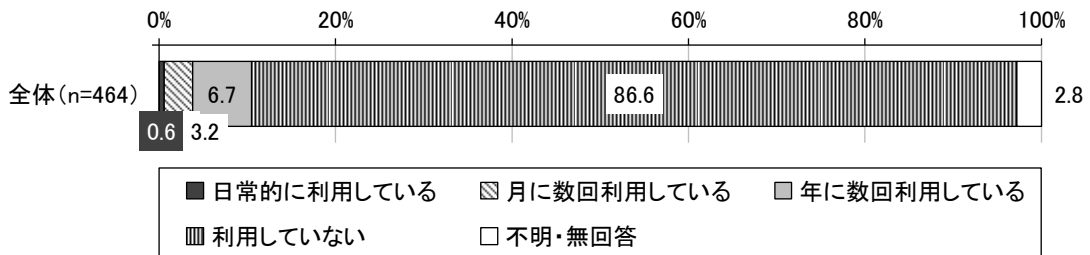
【その他】

- ・理解を深めてほしい。市がリードすることではない。生涯学習と言っている時点でシニア以上の話。若年層へ目を向けてほしい
- ・わざわざ行かなくてもできるもの。家庭で簡単にできること
- ・講座が近場
- ・わからない
- ・なし

## 6. 生涯学習施設等の利用について

### 問 42 あなたは中央公民館を利用していますか。(ひとつだけ○)

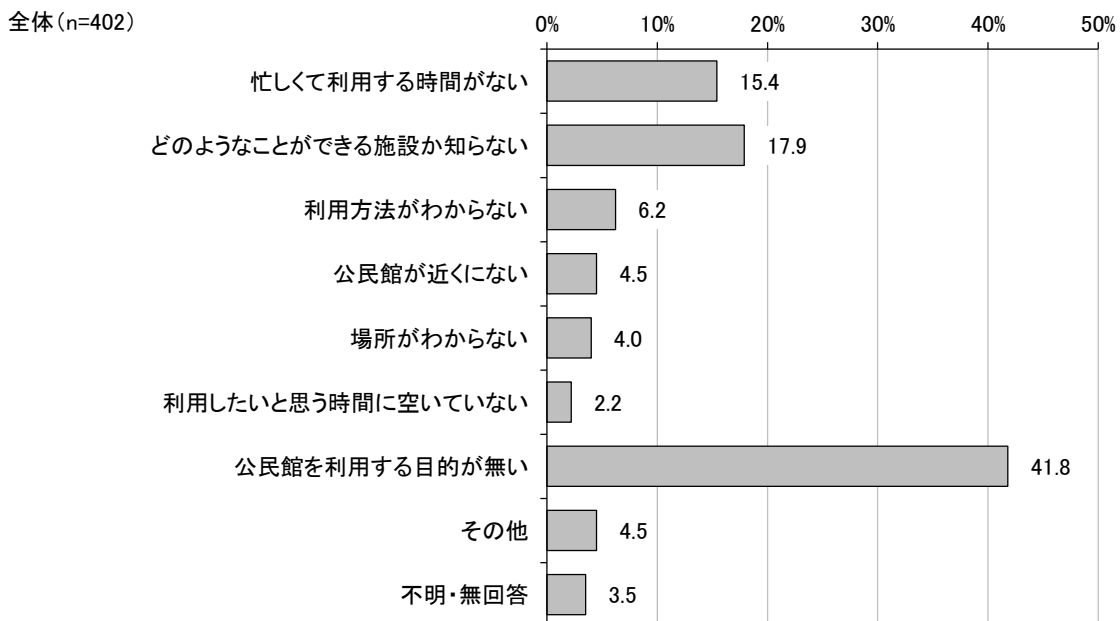
中央公民館を利用しているかについてみると、「利用していない」が 86.6%と最も高く、次いで「年に数回利用している」が 6.7%、「月に数回利用している」が 3.2%となっています。



問 42 で「利用していない」を選んだ方にお聞きします。

### 問 43 公民館を利用していない理由は何ですか。(ひとつだけ○)

公民館を利用していない理由についてみると、「公民館を利用する目的が無い」が 41.8%と最も高く、次いで「どのようなことができる施設か知らない」が 17.9%、「忙しくて利用する時間がない」が 15.4%となっています。

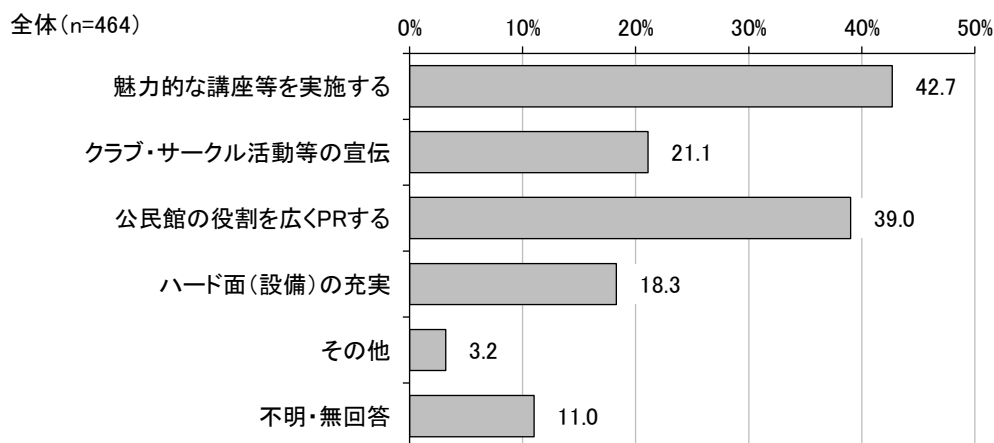


#### 【その他】

- ・いきいきサロン体操教室がコロナ禍で中止中
- ・今はコロナで動きたくない
- ・コロナ感染予防のため
- ・家から微妙に遠いから
- ・体力がなくできない
- ・読み書きしたくない
- ・個人に習っている
- ・介護が必要だから
- ・体力的に難しい
- ・病人の世話
- ・交通がない
- ・住所不明

問 44 どのような取組を行えば公民館がより多くの方に利用されると思いますか。(〇は2つまで)

どのような取組を行えば公民館がより多くの方に利用されると思うかについてみると、「魅力的な講座等を実施する」が42.7%と最も高く、次いで「公民館の役割を広くPRする」が39.0%、「クラブ・サークル活動等の宣伝」が21.1%となっています。

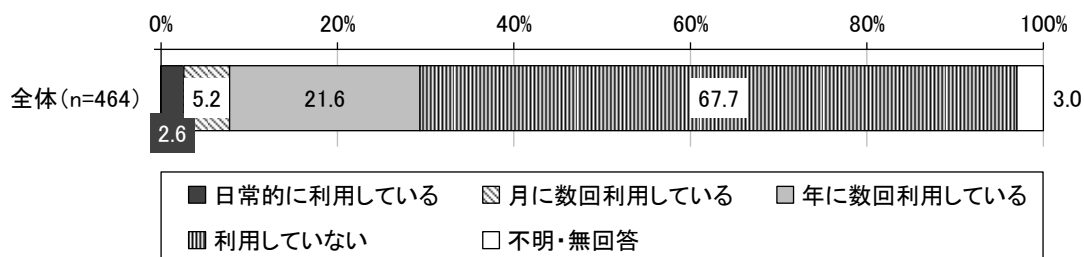


【その他】

- ・交通の便を良くする(2)
- ・特になし(2)
- ・正直現代人でそれぞれの生活があり、あまり必要と思えない
- ・講座をするなら、もっと内容を充実して、上手にPRする
- ・3と近いが、多用途へ使えるようにし、それをPR
- ・コロナ禍対策を安全にさせていただくを願う
- ・ただ話をするだけで茶飲み会程度でよい
- ・住所が不明なため、先に進まない
- ・利用申請方法の簡便化
- ・コロナの収束
- ・暇がない

問 45 あなたは荒尾市立図書館を利用していますか。(ひとつだけ〇)

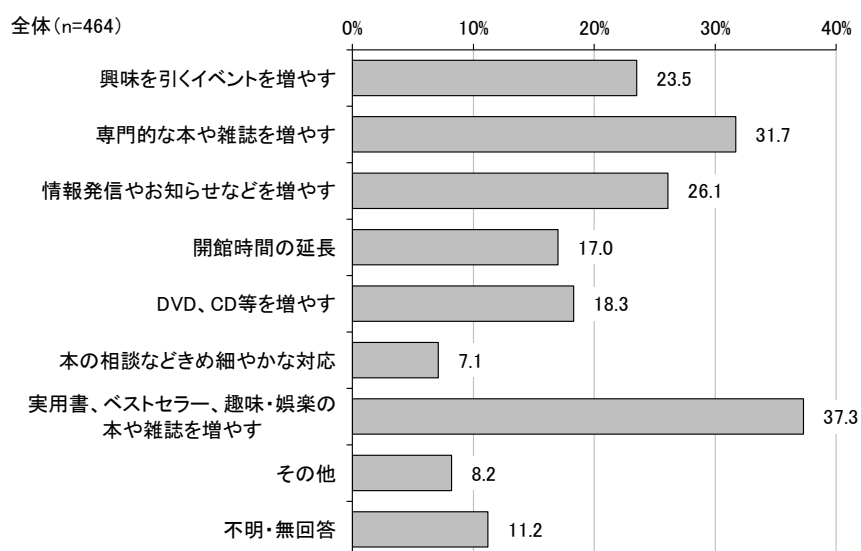
荒尾市立図書館を利用しているかについてみると、「利用していない」が67.7%と最も高く、次いで「年に数回利用している」が21.6%、「月に数回利用している」が5.2%となっています。



## 問 46 図書館に期待することは、何ですか。(〇は3つまで)

図書館に期待することについてみると、「実用書、ベストセラー、趣味・娯楽の本や雑誌を増やす」が37.3%と最も高く、次いで「専門的な本や雑誌を増やす」が31.7%、「情報発信やお知らせなどを増やす」が26.1%となっています。

年代別にみると、10代では「開館時間の延長」、20代、40代、50代では「専門的な本や雑誌を増やす」、80代以上では「実用書、ベストセラー、趣味・娯楽の本や雑誌を増やす」と「専門的な本や雑誌を増やす」が最も高くなっています。



### 【その他】

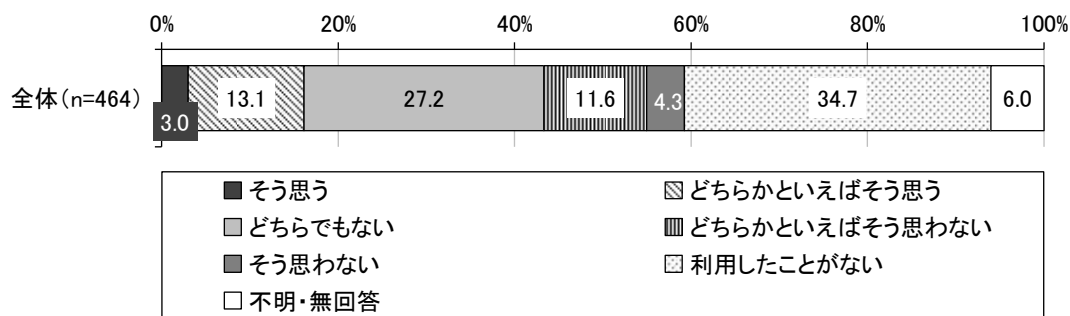
- ・なし、特になし(6)
- ・新刊を増やす(2)
- ・場所が遠い(2)
- ・児童、高齢者、公共交通利用者、入院している人等、それぞれに合わせた本やDVD、CD等メディアのリストアップや紹介があるとよい
- ・子どもを連れて行きやすい広さ(娘がAT障がい児がいて、目が離せない)
- ・他にはドラえもんなどあるのに荒尾にはない。少なくて困る
- ・最新の情報もだが、居心地のいい、綺麗な場所にしてほしい
- ・以前は利用していたが、目が悪くなり読書から離れている
- ・ネットで在庫や貸出状況など確認できるのか紹介してほしい
- ・勉強スペースや個人スペース、カフェなど施設の充実
- ・普段の生活から離れ、リラックスして本を読める環境
- ・個人で購入しにくい高価な本を入れてほしい
- ・どんな本がほしいか話し合うか募集をする
- ・コーヒーを飲みながら読書できるスペース
- ・新刊が少ない(特に時事に関する図書)
- ・明るい、居心地の良い図書館がほしい
- ・DVD等が見れるようにしてほしい
- ・字の小さい本は読む気になれない
- ・キレイで行きやすい環境
- ・絵本を増やしてほしい
- ・時間的書店へ行くため
- ・学習スペースの充実
- ・場所がわかりづらい
- ・ツタヤライブラリー
- ・施設の充実
- ・施設の整備

■年代別

上段:件数 下段:%	合計	興味を引くイベントを増やす	専門的な本や雑誌を増やす	情報発信やお知らせなどを増やす	開館時間の延長	DVD、CD等を増やす	本の相談などきめ細やかな対応	実用書、ベストセラー、趣味・娯楽の本や雑誌を増やす	その他	不明・無回答
全体	464	109	147	121	79	85	33	173	38	52
	100.0	23.5	31.7	26.1	17.0	18.3	7.1	37.3	8.2	11.2
10代	24	4	5	7	8	5	1	6	-	2
	100.0	16.7	20.8	29.2	33.3	20.8	4.2	25.0	-	8.3
20代	16	7	9	3	2	3	2	6	1	-
	100.0	43.8	56.3	18.8	12.5	18.8	12.5	37.5	6.3	-
30代	72	26	25	16	15	19	4	30	6	3
	100.0	36.1	34.7	22.2	20.8	26.4	5.6	41.7	8.3	4.2
40代	104	27	46	24	24	18	8	40	11	4
	100.0	26.0	44.2	23.1	23.1	17.3	7.7	38.5	10.6	3.8
50代	53	10	18	15	14	13	3	17	3	2
	100.0	18.9	34.0	28.3	26.4	24.5	5.7	32.1	5.7	3.8
60代	75	13	15	26	7	11	9	32	9	12
	100.0	17.3	20.0	34.7	9.3	14.7	12.0	42.7	12.0	16.0
70代	73	13	15	19	5	8	3	28	6	16
	100.0	17.8	20.5	26.0	6.8	11.0	4.1	38.4	8.2	21.9
80代以上	41	7	12	8	3	5	3	12	2	13
	100.0	17.1	29.3	19.5	7.3	12.2	7.3	29.3	4.9	31.7

問 47 図書館のサービスは充実していると思いますか。(ひとつだけ○)

図書館のサービスは充実していると思うかについてみると、「利用したことがない」が 34.7%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 27.2%、「どちらかといえばそう思う」が 13.1%となっています。

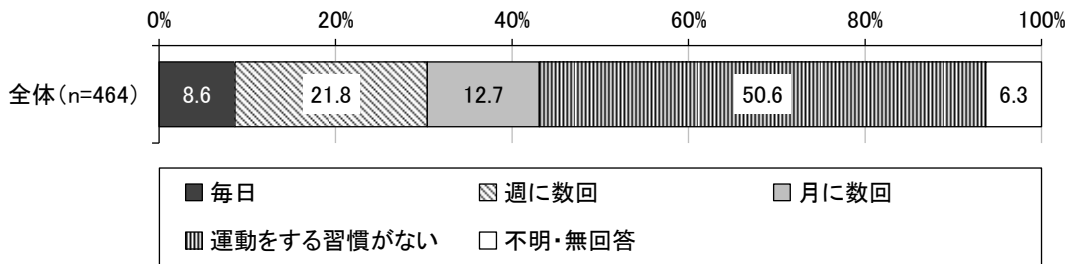


## 7. スポーツ活動について

### 問 48 スポーツなど、体を動かす習慣はありますか。(ひとつだけ○)

スポーツなど、体を動かす習慣についてみると、「運動をする習慣がない」が 50.6%と最も高く、次いで「週に数回」が 21.8%、「月に数回」が 12.7%となっています。

年代別にみると、いずれの年代も「運動をする習慣がない」が最も高く、『週に数回以上』（「毎日」と「週に数回」の計）は 10代で 54.2%、70代で 41.1%、30代で 30.6%、40代～60代、80代以上で 20%台、20代で 18.8%となっています。



#### ■年代別

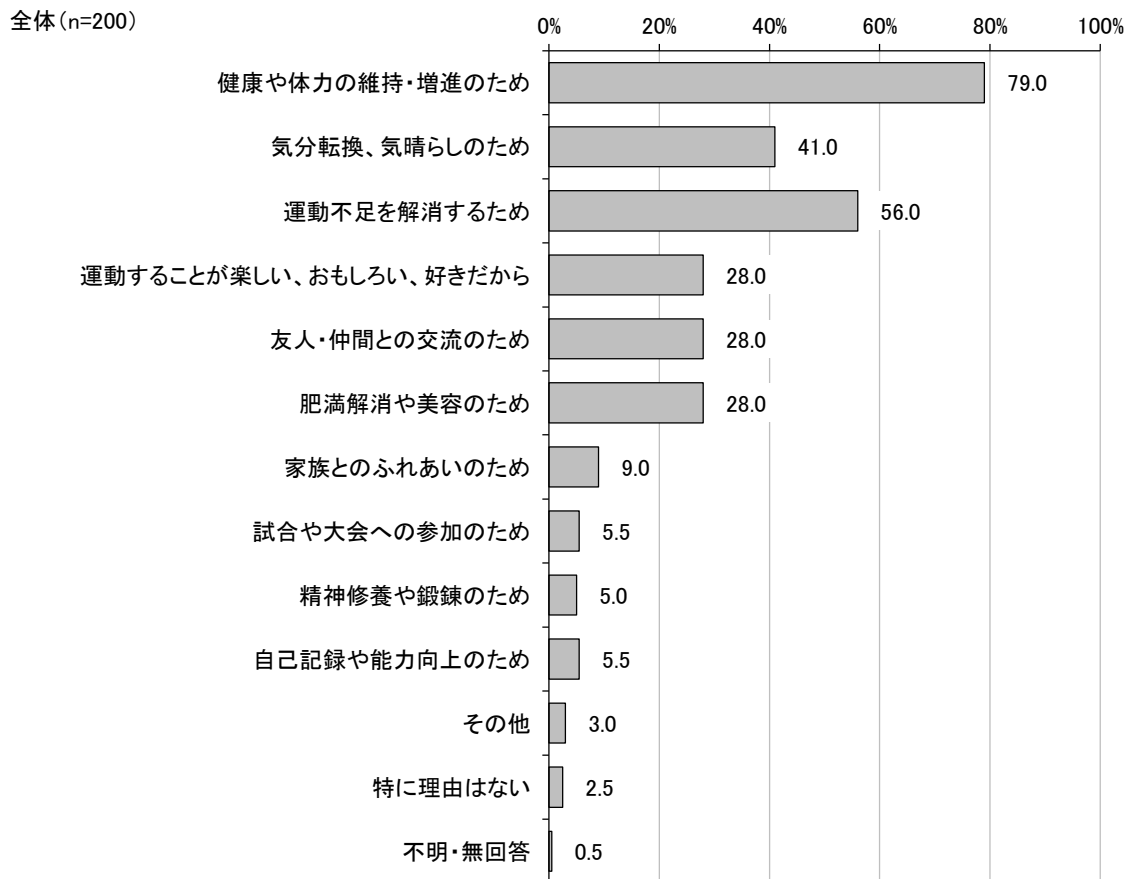
上段:件数 下段:%	合計	毎日	週に数回	月に数回	運動をする 習慣がない	不明・無回 答
全体	464	40	101	59	235	29
	100.0	8.6	21.8	12.7	50.6	6.3
10代	24	6	7	4	7	-
	100.0	25.0	29.2	16.7	29.2	-
20代	16	1	2	6	6	1
	100.0	6.3	12.5	37.5	37.5	6.3
30代	72	2	20	8	42	-
	100.0	2.8	27.8	11.1	58.3	-
40代	104	7	22	12	60	3
	100.0	6.7	21.2	11.5	57.7	2.9
50代	53	4	7	8	32	2
	100.0	7.5	13.2	15.1	60.4	3.8
60代	75	5	15	6	40	9
	100.0	6.7	20.0	8.0	53.3	12.0
70代	73	10	20	8	25	10
	100.0	13.7	27.4	11.0	34.2	13.7
80代以上	41	5	6	6	20	4
	100.0	12.2	14.6	14.6	48.8	9.8



問 48 で選択肢「毎日、週に数回、月に数回」を選んだ方にお聞きします。

問 49 スポーツを行う主な理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

スポーツを行う主な理由についてみると、「健康や体力の維持・増進のため」が 79.0%と最も高く、次いで「運動不足を解消するため」が 56.0%、「気分転換、気晴らしのため」が 41.0%となっています。



【その他】

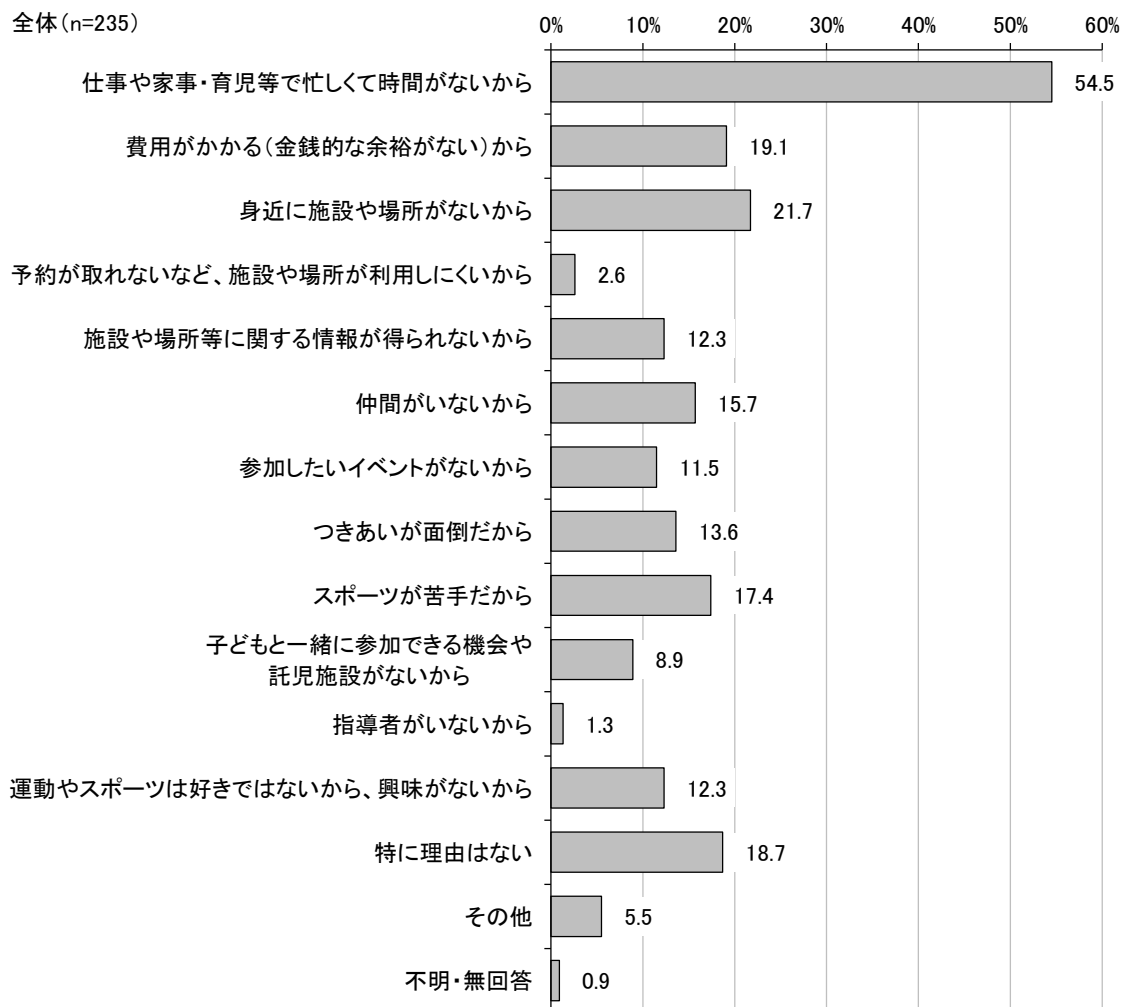
・仕事のため(3)

・仕事(の中)で動かす(2)

問 48 で「運動をする習慣がない」を選んだ方にお聞きします。

問 50 スポーツを行わなかった理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

スポーツを行わなかった理由についてみると、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が 54.5%と最も高く、次いで「身近に施設や場所がないから」が 21.7%、「費用がかかる（金銭的な余裕がない）から」が 19.1%となっています。

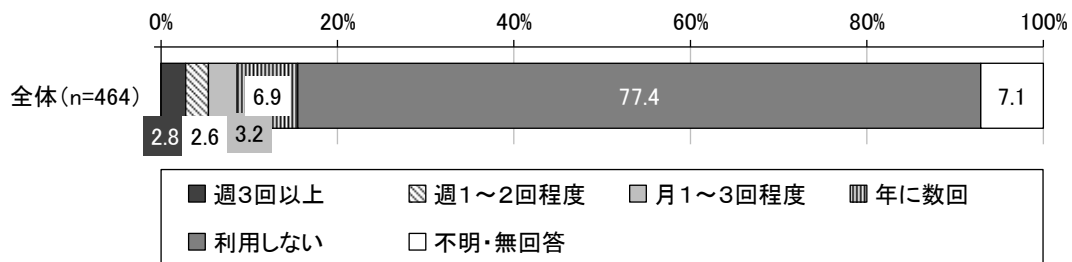


【その他】

- ・ 現在体力に自信がない。3年前までスポーツジムで水泳をしていたけど病気をしてしまい…
- ・ 体が少し不自由なため、出掛けづらいから
- ・ なるべく外出しないようにしているから
- ・ コロナで動きたくない
- ・ コロナ感染予防のため
- ・ 体力がなく介助が必要
- ・ 障がいがあるから
- ・ 病気をしたから
- ・ 体力的に難しい
- ・ したくないだけ

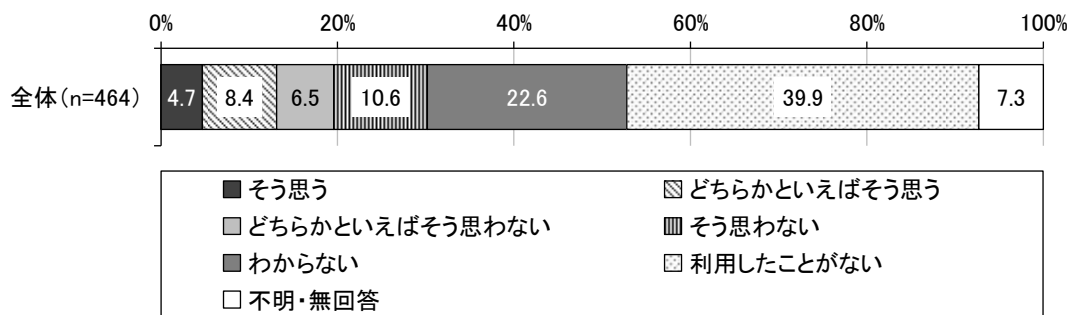
問 51 市内のスポーツ施設をどれくらい利用していますか。(ひとつだけ○)

市内のスポーツ施設をどれくらい利用しているかについてみると、「利用しない」が 77.4%と最も高く、次いで「年に数回」が 6.9%、「月 1～3 回程度」が 3.2%となっています。



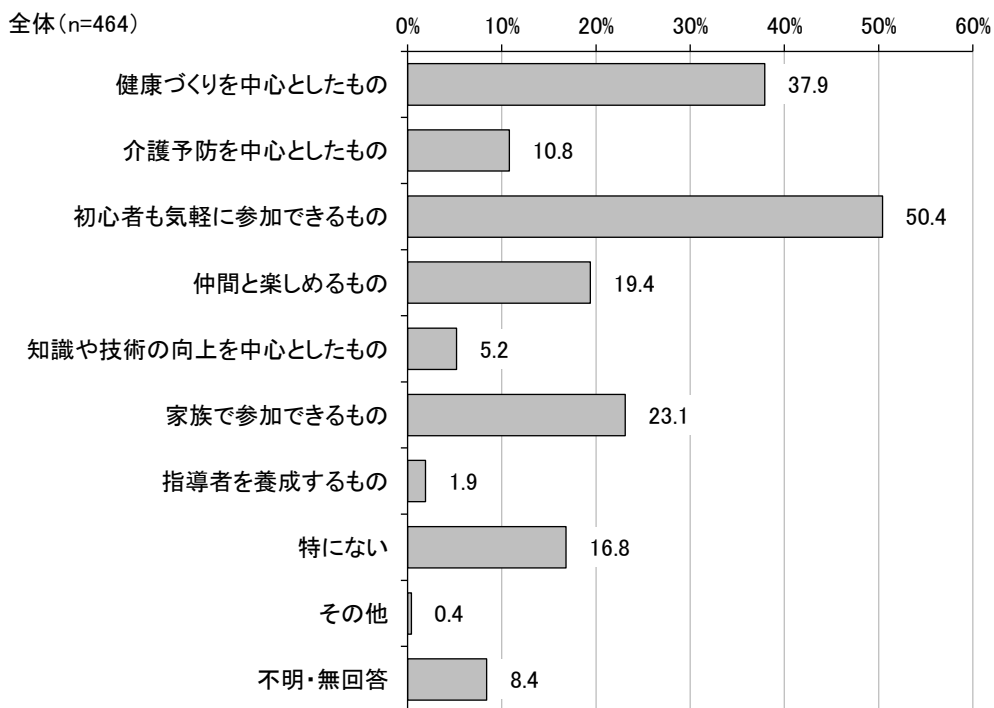
問 52 市内のスポーツ施設は利用しやすいと思いますか。(ひとつだけ○)

市内のスポーツ施設は利用しやすいと思うかについてみると、「利用したことがない」が 39.9%と最も高く、次いで「わからない」が 22.6%、「そう思わない」が 10.6%となっています。



問 53 今後、どのようなスポーツの教室や講座があればいいと思いますか。(〇は3つまで)

今後、どのようなスポーツの教室や講座があればいいと思うかについてみると、「初心者も気軽に参加できるもの」が50.4%と最も高く、次いで「健康づくりを中心としたもの」が37.9%、「家族で参加できるもの」が23.1%となっています。



【その他】

・フィットネスジムが欲しい

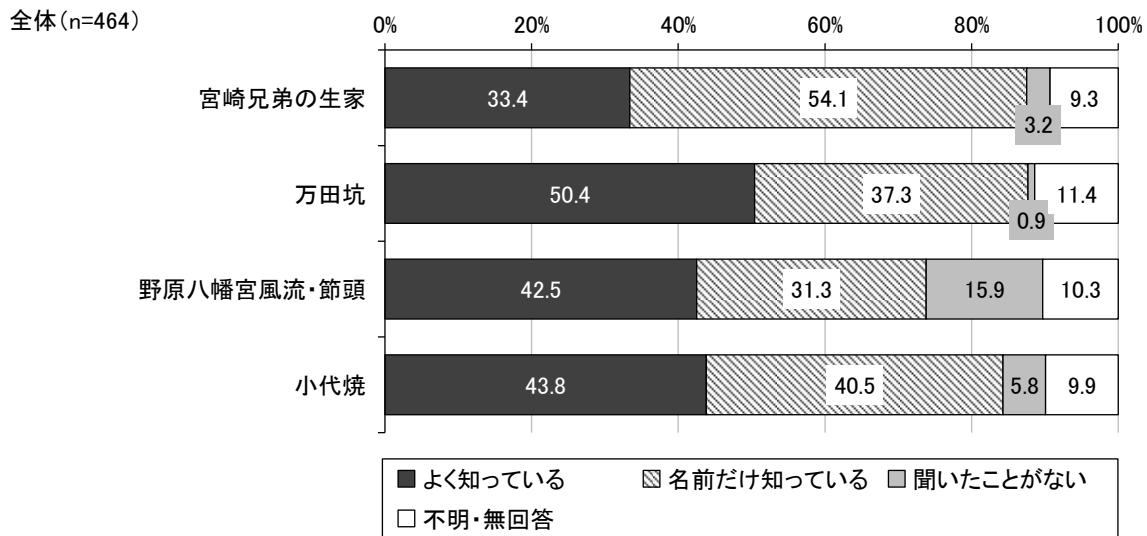
・参加費が無料

## 8. 文化・芸術について

問 54 下記の荒尾市を代表する文化財・工芸品について知っているか、また、実際に施設・行事に行った（見学・体験含む）ことがあるかどうかをお答えください。（各設問でひとつだけ○）

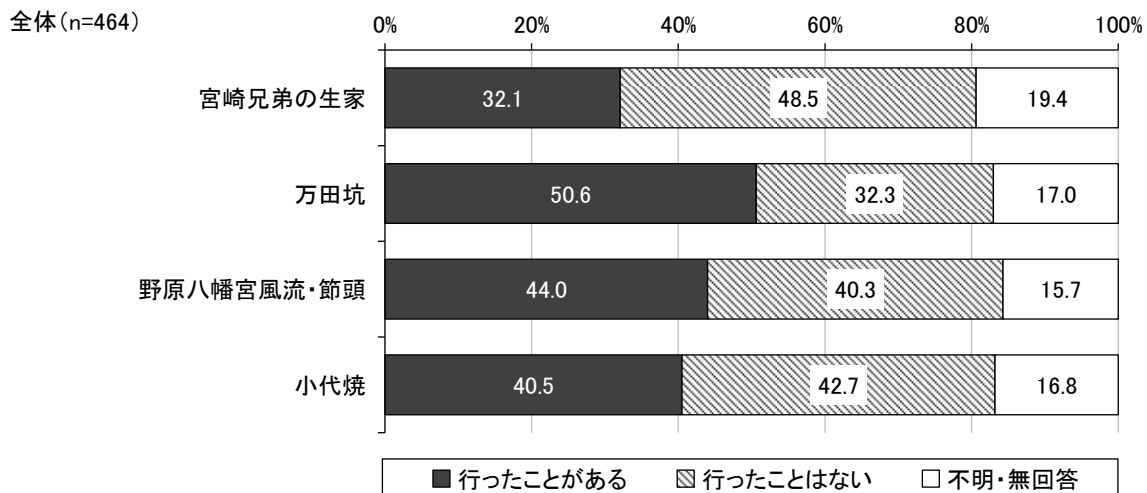
### 【知っているか】

荒尾市を代表する文化財・工芸品について知っているかについてみると、「宮崎兄弟の生家」は「名前だけ知っている」が54.1%と最も高くなっています。「万田坑」「野原八幡宮風流・節頭」「小代焼」は「よく知っている」が最も高くなっています。「野原八幡宮風流・節頭」は「聞いたことがない」が15.9%と他の項目に比べて高くなっています。



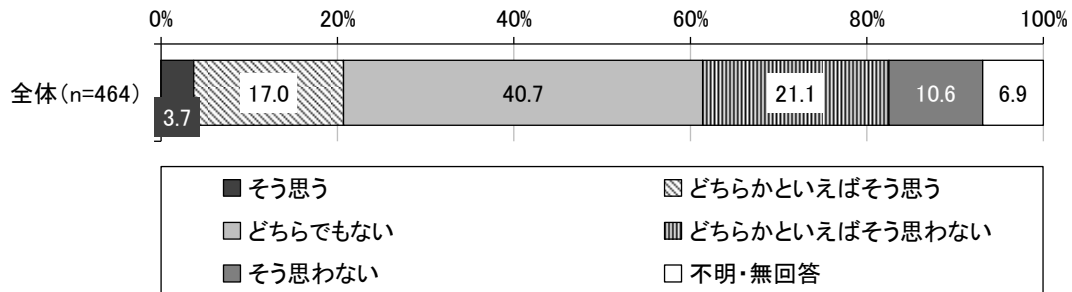
### 【行った（見学・体験含む）ことがあるか】

実際に施設・行事に行ったことがあるかどうかについてみると、「宮崎兄弟の生家」「小代焼」は「行ったことはない」、[万田坑][野原八幡宮風流・節頭]は「行ったことがある」が高くなっています。



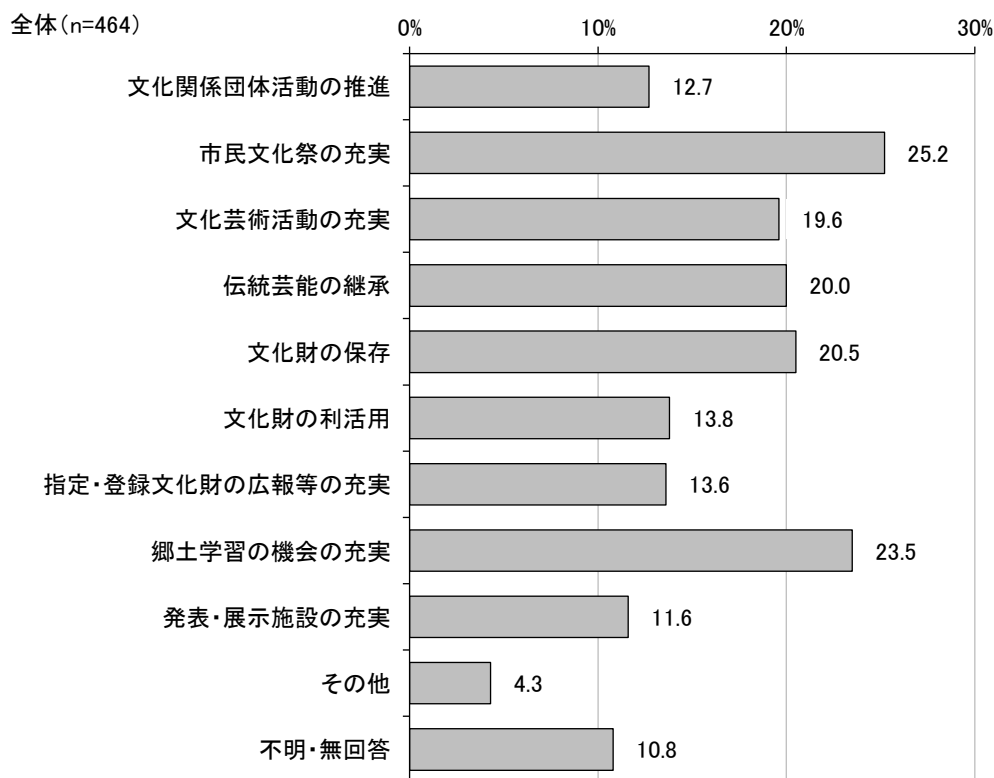
問 55 市民が文化・芸術に触れる機会は充実していると思いますか。(ひとつだけ○)

市民が文化・芸術に触れる機会は充実していると思うかについてみると、「どちらでもない」が40.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.1%、「どちらかといえばそう思う」が17.0%となっています。



問 56 市の文化・芸術の取組について、特に力を入れてほしいことは何ですか。(○は3つまで)

市の文化・芸術の取組について、特に力を入れてほしいことについてみると、「市民文化祭の充実」が25.2%と最も高く、次いで「郷土学習の機会の充実」が23.5%、「文化財の保存」が20.5%となっています。



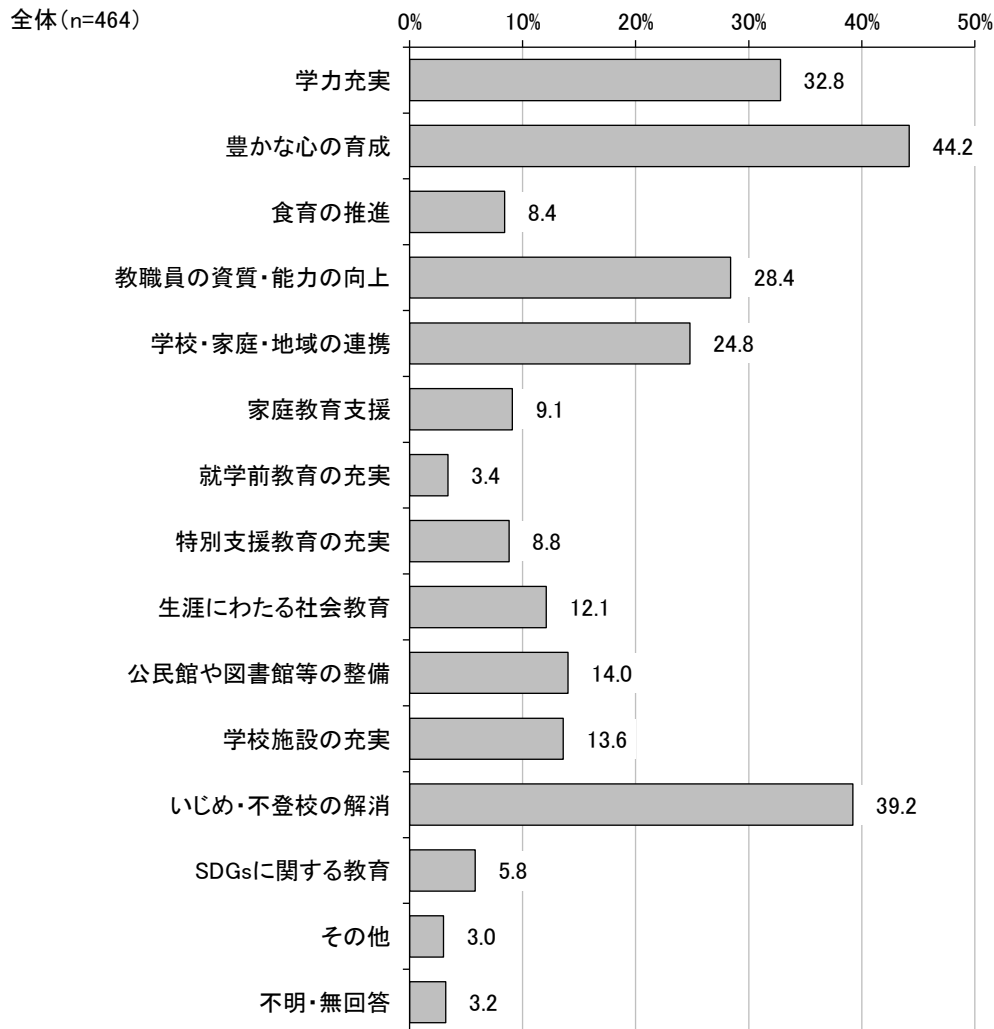
【その他】

- ・なし、特になし(9)
- ・あまりわからない、わからない(2)
- ・与えられるだけで皆やりたいことがないので
- ・荒尾で生まれていないので、わからない
- ・地元の歴史に関する資料を集めてほしい
- ・利活用とともに上手にPRする
- ・参加していないので意見なし
- ・無回答にする

## 9. 荒尾市の教育に関する取組全般について

問 57 荒尾市の教育に関する取組全般について、特に力を入れるべきだと思うものを選んでください。(〇は3つまで)

荒尾市の教育に関する取組全般について、特に力を入れるべきだと思うものについてみると、「豊かな心の育成」が44.2%と最も高く、次いで「いじめ・不登校の解消」が39.2%、「学力充実」が32.8%となっています。



### 【その他】

- ・学童など、学校を出た児童生徒の活動、学習遊び等の時間と場所の確保、充実
- ・ちゃんと説明力をつけること
- ・運動施設の充実
- ・想像力の育成
- ・LGBT について
- ・国際教育

## 10. 自由回答

市民対象調査の自由回答は、48件の回答があり、内容は62件ありました。項目別にみると、以下の通りです。

### (1) 学校教育について

項目	件数
教職員の研修や教育力の向上について	4
ICTについて	3
障がいへの配慮について	2
教員の配置・増員について	2
交通安全教育について	1
連絡網の廃止について	1

※各項目の件数は記載内容によって重複して数えている場合があります。

### 主な内容

#### ◇教職員の研修や教育力の向上について

教職員一人ひとりの責任感が足りないと感じる。
先生方も社会勉強が必要で、もっと頭をやわらかく子どもたちに対して世の中には様々な選択肢があり、多様性を受け入れられる教育社会になればと願っている。
タブレットの授業で隣のクラスと使用、使い方の差がある。
タブレットを活用した授業を行うには、まず先生たちの研修が必要。

#### ◇ICTについて

タブレットの正しい使い方について。
学校から貸し出しているタブレットは使えますが、地域差なく使えるような荒尾市にしたい。
タブレット等での学習が進んでいるが、子どもがきちんと話を聞くことができているか、理解できているかを先生や保護者も本人を見て確認することが必要。

#### ◇障がいへの配慮について

特別支援学級ではないが、なかなか理解してもらえず、学校生活に支障が出ることがある。普通学級でも安定して過ごせるとよい。
支援学級と普通学級に通ってる子どもに将来の夢を多く持ち、安心した学校生活を送らせてあげたい。手厚いご配慮をいただくと嬉しく思う。

#### ◇教員の配置・増員について

支援学級への先生の増員。
--------------

#### ◇交通安全教育について

中学生の自転車の走行マナーを考えてほしい。
-----------------------



#### ◇連絡網の廃止について

学校の連絡網制度をやめてほしい。

#### (2) 公共施設・設備等について

項目	件数
スポーツ・運動施設の充実について	4
図書館について	3
施設の利用について	2
通学路の整備について	2
子どもの遊び場の充実について	1
学校の設備について	1

#### 主な内容

##### ◇スポーツ・運動施設の充実について

大型の体育施設があれば、子どもたちの夢もより現実的になるように思う。

運動公園（陸上競技場）を利用するが、コース、フィールド以外の管理が十分になされていない。年配者、幼児も利用するが凸凹があり転倒の危険性があり心配。

施設の充実がなければいけない。

高齢になればなるほど家に閉じこもりのないように皆がスポーツ、読書外にうちこめるものがあるとよい。

##### ◇図書館について

荒尾市の新しい図書館を期待する。

図書館の絵本の取り組みは良いと思う。

図書館に中高生の好きそうな本がない（最新作、ラノベなど）。

##### ◇施設の利用について

公民館が無料で利用できることに感謝している。

施設の使用料をもっと高くして、充実した施設にして荒尾市民が優先して使えるようにしてほしい。

##### ◇通学路の整備について

通学路の整備が遅れていると感じる。

歩道のない208号線を通らなければならない、とても心配している。

##### ◇子どもの遊び場の充実について

広くて大きな公園があればいいのにと思っている。

##### ◇学校の設備について

学校の施設がとても充実してきているのを感じる。

### (3) 市の教育に関する取組について

項目	件数
いじめに対する対応について	5
広報や情報発信について	1
教育施策の方向について	1
働き方改革について	1

#### 主な内容

##### ◇いじめに対する対応について

カウンセラーや心療内科の先生と相談し、子どもたちの心の安定をはかり、いじめをなくしてください。
学校でのいじめ、不登校をなくしてほしい。
いじめで自殺未遂までしている子どもがいるのに、親や子どもの話をよく聞いて、なかったことに本当にしてほしくない。
傷ついた者の居所を作ることが必要。
いじめに対する実態把握、対策は喫緊の課題である。いじめの根底にある「異質なものを排除しようとする」がなくなるといじめはなくなると思う。

##### ◇広報や情報発信について

若年層にもしっかり情報がまわってくる環境にしてほしい。
-----------------------------

##### ◇教育施策の方向について

新しいことを増やさずに、今やっていることを中心に取り組んでほしい。
-----------------------------------

##### ◇働き方改革について

共働き家庭は子どもと接する時間がない。休日出勤、残業などで子どもの話を聞く暇はありません。子育て主婦が休みやすく働きやすい職場にしてもらいたい。
--

### (4) 地域について

項目	件数
自然環境について	2
行事活動について	1

#### 主な内容

##### ◇自然環境について

自然と共存して生きているんだという意識を持てるような取り組みが大切だと思う。
海も山も川もあり、自然が豊かなところは気に入っている。

##### ◇行事活動について

コロナが落ち着いたら、「子どもと料理（おやつとか）教室」は人気が出ると思う。
--

### (5) アンケートについて

項目	件数
結果について	2
設問について	2
実施方法について	1
その他	1

#### 主な内容

##### ◇結果について

アンケート集計のみで終わらず、市民に結果を提示し市民全体に活かせるようにしてほしい。  
今回のアンケートに対して総合的に簡単でいいので市の広報にでも知らせてほしい。

##### ◇設問について

質問が多すぎる。  
問9から問27は、問8で中学生以下の子どもがいると回答した人を対象にしているが、それ以外の人たちにも答えてもらっても良かったのではないかと。

##### ◇実施方法について

転入して2ヶ月未満の単身高齢者に対するアンケートとしては不適當と思う。

##### ◇その他

問22（望ましい学級数は1学年何クラスだと思いますか？）については、少人数制クラスの採用を希望。

### (6) その他

項目	件数
行政の対応について	3
保育所等預かり先の充実について	2
コロナについて	1
コミュニティースクールについて	1
生涯学習について	1
その他	12

#### 主な内容

##### ◇行政の対応について

荒尾市の教育振興が実際どのような活動をしているのか情報がない。  
教育について行政が指導するという視点を感じつつ、芯を食った意見がなくパターン化した。  
運動公園（陸上競技場）の運営管理について、活動の状況など、目に見える形での情報が少ない。

##### ◇保育所等預かり先の充実について

エポック荒尾で子どもを預かってもらい、習字講座を習っていたが、子どもが小1になり、預かってもらえなくなり、やめざるをえなかった。

土曜保育が預けられない日もあり、驚いた。保育園によって違うのかもしれませんが働きにくいと思った。延長保育も短かったので福岡の都心なのか荒尾なのか、環境の違いなのかなと思った。

#### ◇コロナについて

コロナが落ち着いたら、音楽と触れ合ったり、大きな声で発表したりできる場があってほしい。

#### ◇コミュニティスクールについて

現役の保護者はコミュニティスクールのことを「知らない」「わからない」と思っている人が多い。導入予定であれば保護者に説明をする必要がある。

#### ◇生涯学習について

明らかに対象がシニア以上の生涯学習は若年層への歩み寄りが見られず、未来を見据えていないと感じる。

#### ◇その他

まずは大人が強い信念を持ってください。

委員さんが中心になって行うのではなく、やりたい人が主体になってできるようにする。

文化協会に向けて支援をいただけるとありがたい。

## Ⅱ 教職員対象調査

### アンケート調査の概要

#### 1. 調査の目的

本調査は、本市の教育振興のための施策を定める「荒尾市教育振興基本計画」を策定するにあたり、教職員の皆様から、教育と、教育に密接に関係する子育て、スポーツ、文化等の振興に関するご意見等を聞き、その結果を計画に反映させることを目的に実施しました。

#### 2. 調査概要

- ◇調査対象者：荒尾市内の小・中学校に勤務する教職員
- ◇調査期間：令和3年7月27日（火）～8月10日（火）
- ◇調査方法：学校を通じての配布・回収による本人記入方式

#### 3. 回収結果

- ◇配布数：293件
- ◇有効回収数：265件
- ◇有効回収率：90.4%

#### 4. 報告書の見方

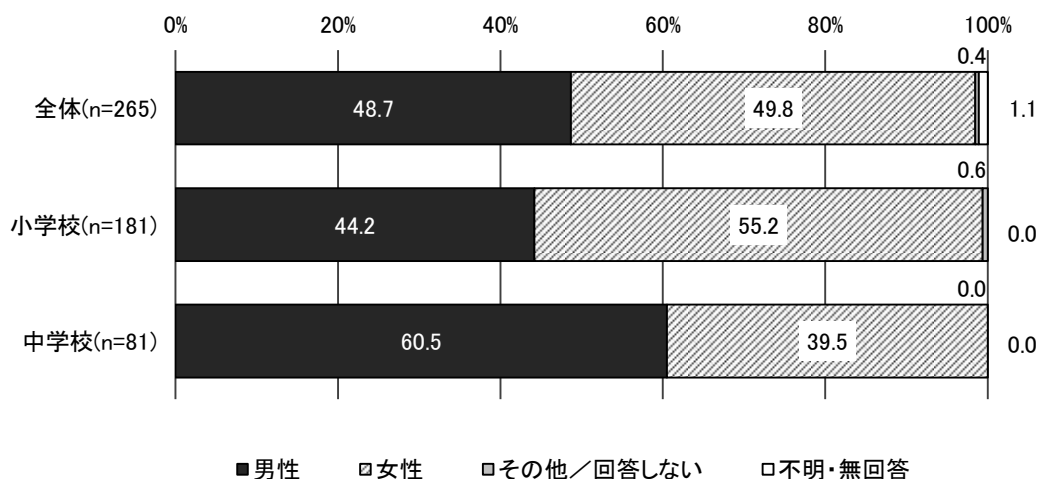
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

# アンケート調査結果

## 1. あなたのことについて

問1 あなたの性別をお答え下さい。(ひとつだけ○)

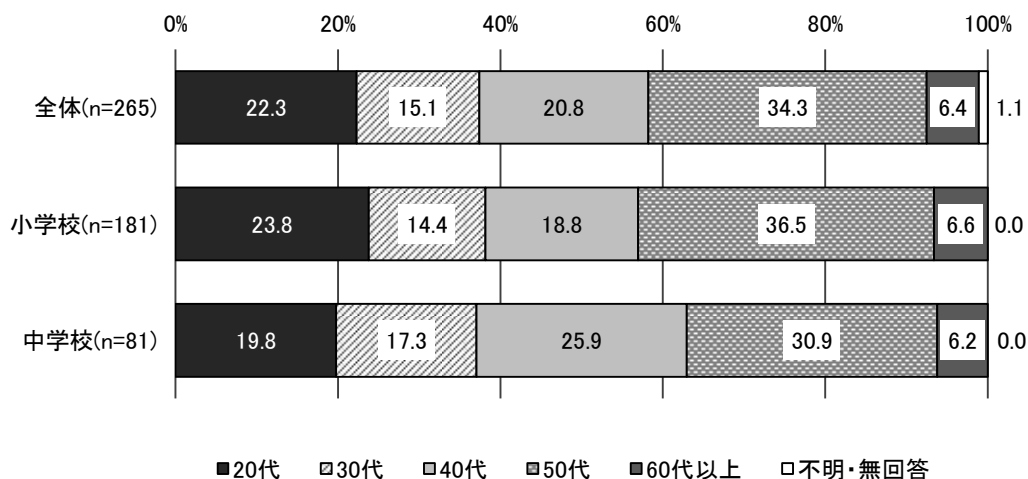
性別についてみると、全体では、「女性」が49.8%、「男性」が48.7%となっています。  
小学校では「女性」が高く、中学校では、「男性」が高くなっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(令和3年7月1日現在)(ひとつだけ○)

年齢についてみると、全体では、「50代」が34.3%と最も高く、次いで「20代」が22.3%、「40代」が20.8%となっています。

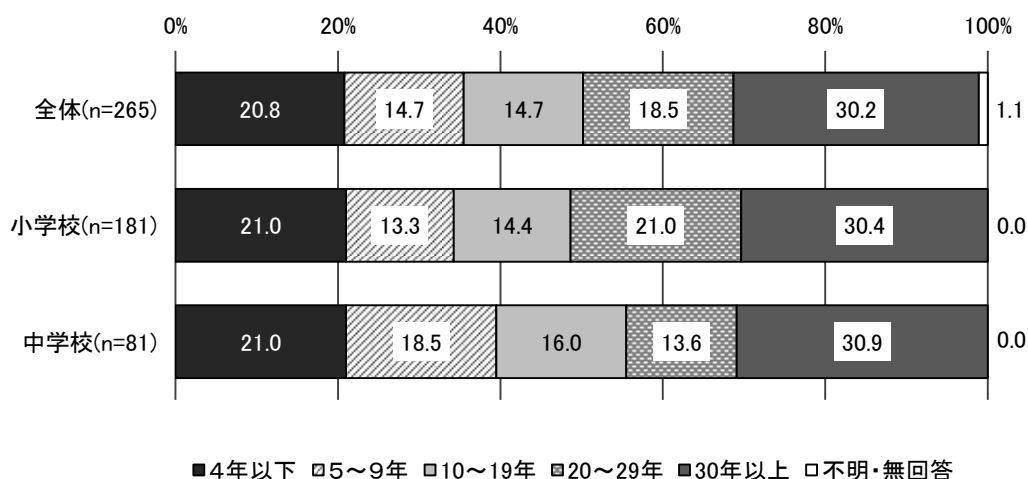
小学校は、全体と同様の傾向です。中学校は、「50代」が30.9%と最も高く、次いで「40代」が25.9%、「20代」が19.8%となっています。



### 問3 あなたの教員経験年数は何年ですか。(ひとつだけ○)

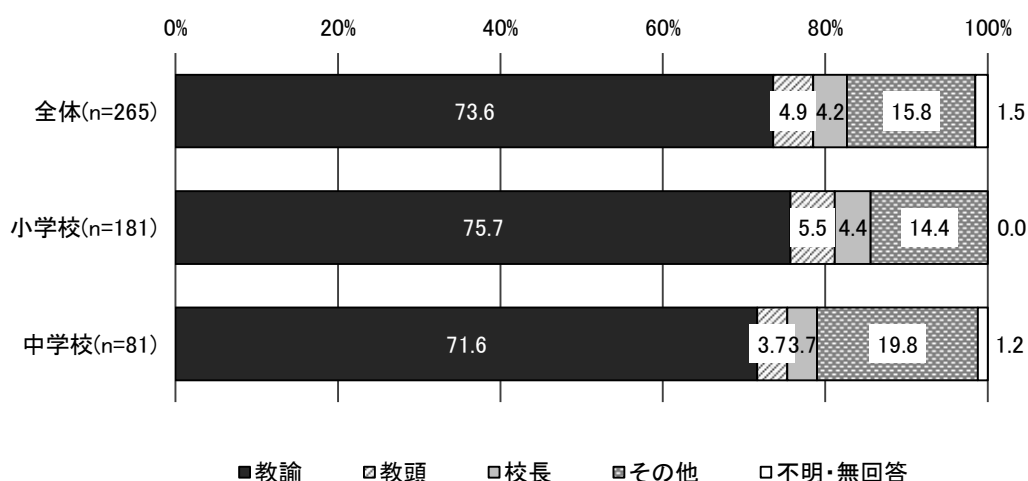
教員経験年数についてみると、全体では、「30年以上」が30.2%と最も高く、次いで「4年以下」が20.8%、「20～29年」が18.5%となっています。

小学校は、全体と同様の傾向です。中学校は、上位2項目は全体と同様であり、「5～9年」が3番目に高くなっています。



### 問4 あなたの職名は何ですか。(ひとつだけ○)

職名についてみると、全体では、「教諭」が73.6%と最も高く、次いで「教頭」が4.9%、「校長」が4.2%となっています。小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。



#### 【その他】

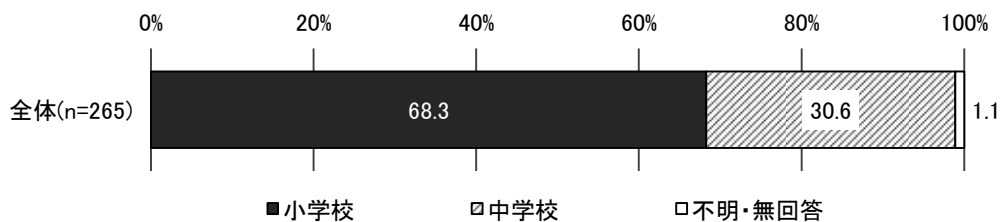
・講師(18)

・養護助教諭(7)

・学校栄養職員

問5 あなたの勤務先はどちらですか。(ひとつだけ○)

勤務先についてみると、「小学校」が68.3%、「中学校」が30.6%となっています。



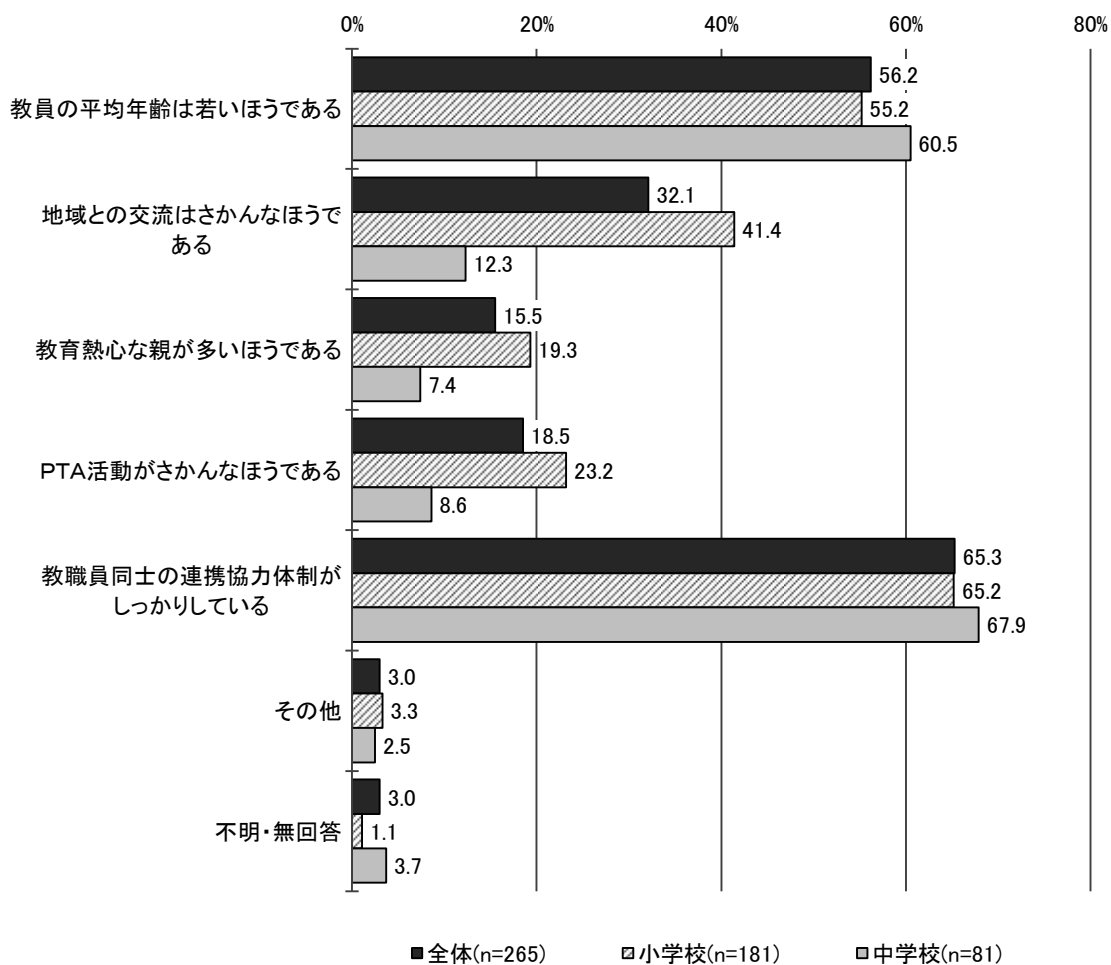


## 2. あなたの職場のことについて

問6 あなたの勤務校の特徴として次のようなことはあてはまりますか。(あてはまるものすべてに○)

勤務校の特徴についてみると、全体では、「教職員同士の連携協力体制がしっかりしている」が65.3%、次いで「教員の平均年齢は若いほうである」が56.2%、「地域との交流はさかんなほうである」が32.1%となっています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。全体と比較すると、「地域との交流はさかんなほうである」は小学校で全体よりも9.3ポイント高く、中学校で全体よりも19.8ポイント低くなっています。



### 【その他】

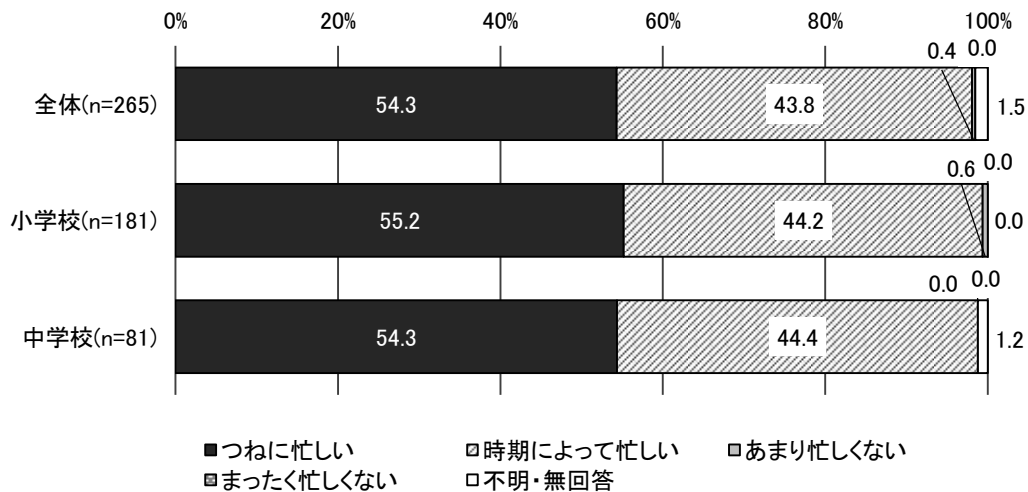
- ・特別に何かとかではなく、全てにおいて平均的な良い環境だと思う
- ・教員の平均年齢は高い方であり、女性が多い
- ・年代のバランスがとれていると思う
- ・特になし
- ・教員の平均年齢は高いほうだと感じる
- ・子どもたちが素直

問7 ご自身の職務について、どれくらい忙しいと感じていますか。(ひとつだけ○)

※コロナ禍以前のことを振り返ってお答えください。

職務について、どれくらい忙しいと感じているかについてみると、全体では、「つねに忙しい」が54.3%、「時期によって忙しい」が43.8%で、9割を超えています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。



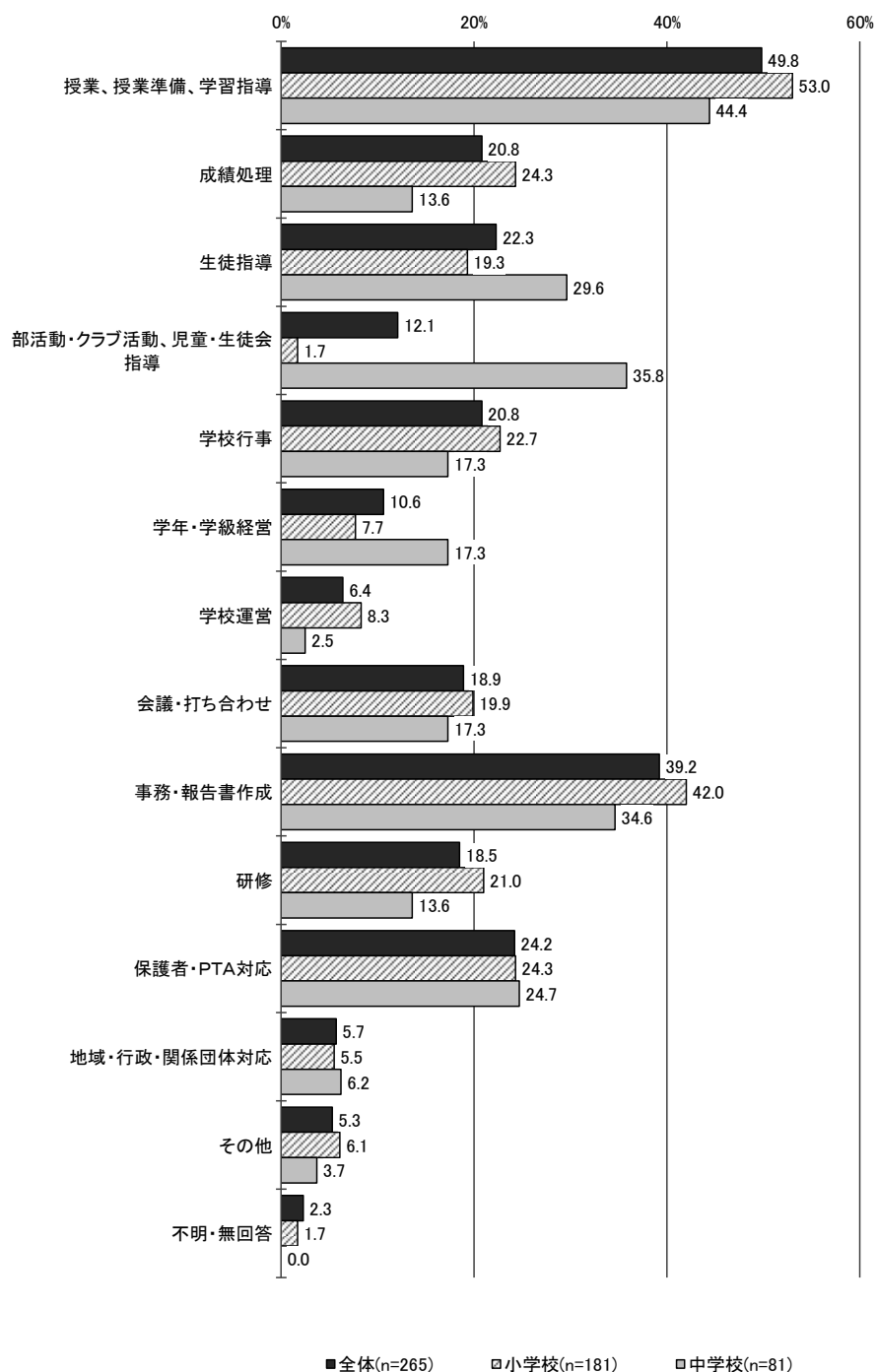
問8 仕事をするうえで、あなたが特に忙しさを感じるのはどのような業務ですか。

(主なもの3つまで○) ※コロナ禍以前のことを振り返ってお答えください。

特に忙しさを感じる業務についてみると、全体では、「授業、授業準備、学習指導」が49.8%と最も高く、次いで「事務・報告書作成」が39.2%、「保護者・PTA対応」が24.2%となっています。

小学校は、全体と同様の傾向に加えて、「成績処理」も24.3%と高くなっています。

中学校は、「授業、授業準備、学習指導」が44.4%と最も高く、次いで「部活動・クラブ活動、児童・生徒会指導」が35.8%、「事務・報告書作成」が34.6%となっています。



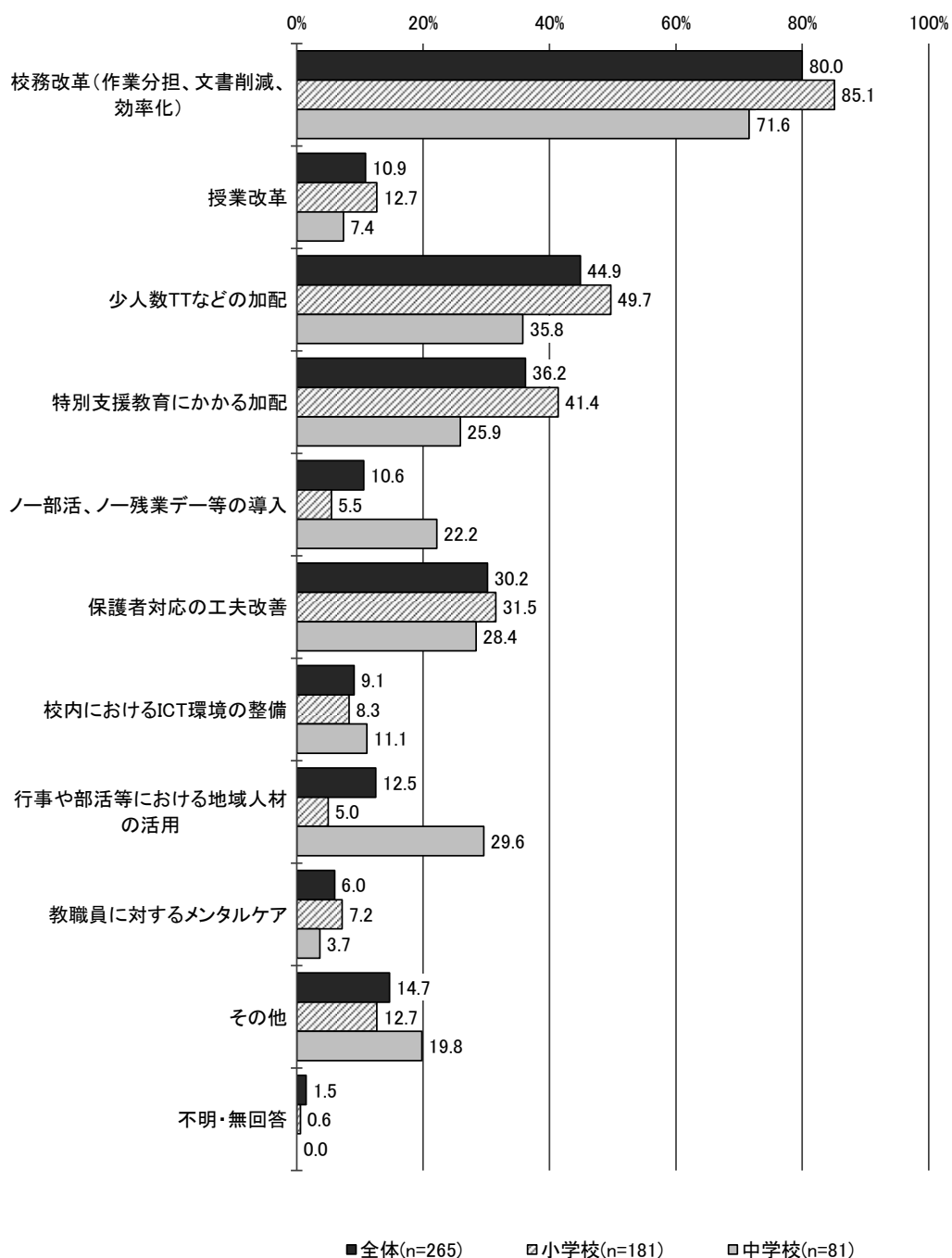
### 【その他】

- ・校務分掌に関わること(3)
- ・週案作成業務
- ・健康診断後の事務処理等
- ・疾病対応(ケガ、病気)
- ・職員の人材育成
- ・生徒対応
- ・健康診断
- ・出張
- ・特別支援教育での支援
- ・進路指導の事務
- ・若手の人材育成
- ・職員指導
- ・事務処理

問9 教職員の多忙感を解消するためにどんなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

教職員の多忙感を解消するために必要なことについてみると、全体では、「校務改革（作業分担、文書削減、効率化）」が80.0%と最も高く、次いで「少人数TTなどの加配」が44.9%、「特別支援教育にかかる加配」が36.2%となっています。

小学校は、全体と同様の傾向です。中学校は、「校務改革（作業分担、文書削減、効率化）」が71.6%と最も高く、次いで「少人数TTなどの加配」が35.8%、「行事や部活等における地域人材の活用」が29.6%となっています。



### 【その他】

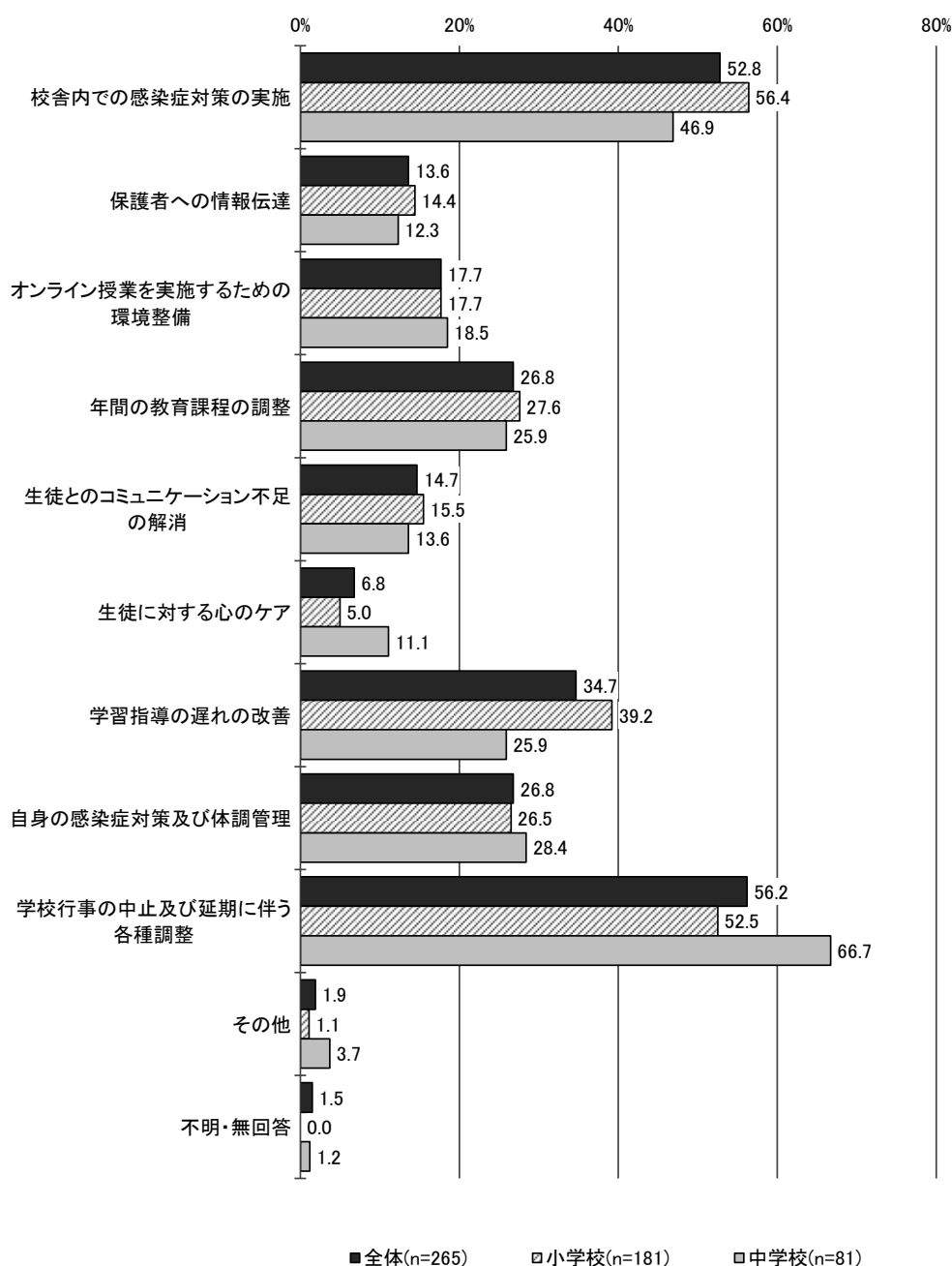
- ・教職員の配置を増やす
- ・仕事量、業務量の削減や効率化
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）やペーパーレスの推進
- ・専科（制）の導入、一人あたりの授業数を減らす、かたよりをなくす
- ・土曜授業など休日の業務を減らす
- ・教職員の質の向上
- ・部活動の社会体育化
- ・学級編制における標準人数の見直し（学級人数減）
- ・スクラップアンドビルドの考え方を取り入れる

## 問 10 コロナ禍における業務で、特に大変だったことは何ですか。(主なもの3つまで○)

コロナ禍における業務で特に大変だったことについてみると、全体では、「学校行事の中止及び延期に伴う各種調整」が56.2%と最も高く、次いで「校舎内での感染症対策の実施」が52.8%、「学習指導の遅れの改善」が34.7%となっています。

小学校は、「校舎内での感染症対策の実施」が56.4%と最も高く、次いで「学校行事の中止及び延期に伴う各種調整」が52.5%、「学習指導の遅れの改善」が39.2%となっています。

中学校は、「学校行事の中止及び延期に伴う各種調整」が66.7%と最も高く、次いで「校舎内での感染症対策の実施」が46.9%、「自身の感染症対策及び体調管理」が28.4%となっています。



### 【その他】

- ・昨年コロナ感染防止のために行われなかった行事や会議等を、新たに作り上げなければならないことや、コロナ禍での行事等の計画等の作り直しなど
- ・子どもたちに3密を避けることを指導しても難しく、いつ感染が広まるか心配。今後、デルタ株の広まりにより子どもたちに感染が広まることを心配している
- ・部活動の試合の際の提出書類、体温管理などの業務の急増
- ・臨時休校中の家庭学習の準備
- ・漠然とした不安



### 3. 学習指導等の状況について

問 11 あなたは学習指導のなかで、以下の a~r のようなことを心がけていますか。

(各設問でひとつだけ○)

学習指導のなかで心がけていることについてみると、「とても心がけている」と答えた人の割合は、全体では、「基礎的な知識・技能をきちんと覚えさせる」「児童生徒のつまずきを発見して個に応じた指導を心がける」「内容の確実な習得のための反復的な練習を取り入れる」「コンピュータや大型テレビを使った指導を行う」「学習や技能の到達目標を明確にする」「定期的に宿題を出す」「児童生徒の人権に配慮した発言、行動を心がけている」「児童生徒相互の温かい人間関係づくりにつとめている」で約半数を超えています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。

#### 【全体】

全体(n=265)	とても心がけている	やや心がけている	あまり心がけていない	まったく心がけていない	該当しない	不明・無回答
a 基礎的な知識・技能をきちんと覚えさせる	83.0	9.8	0.0	0.0	2.6	4.5
b 児童生徒のつまずきを発見して個に応じた指導を心がける	54.0	36.6	1.9	0.0	3.0	4.5
c 補充的な学習や技能を授業に取り入れる	30.2	54.0	6.0	0.4	4.2	5.3
d 内容の確実な習得のための反復的な練習を取り入れる	50.9	38.9	1.1	0.4	4.2	4.5
e 発展的な学習や技能を授業に取り入れる	11.7	52.1	26.8	0.0	4.5	4.9
f コンピュータや大型テレビを使った指導を行う	50.6	35.8	3.8	0.8	4.2	4.9
g コンピュータを使った調べ学習を行う	16.2	47.2	23.0	1.1	7.9	4.5
h グループでの学習活動や指導を取り入れる	35.1	42.3	10.9	0.0	6.8	4.9
i 見学やインタビューなどの調べ学習を行う	6.4	41.5	27.9	4.9	14.3	4.9
j 観察や実験などの活動を取り入れる	24.9	38.9	13.6	2.3	14.3	6.0
k 体験型の教育を重視して実施する	25.3	50.9	10.6	1.9	6.0	5.3
l 主体的・対話的で深い学びを意識した学習を行う	37.4	50.9	4.2	0.4	2.6	4.5
m 地域の教材や学習環境を活用する	14.3	48.7	24.2	2.3	6.0	4.5
n 学習や技能の到達目標を明確にする	46.8	37.0	7.5	0.0	3.4	5.3
o 学習のまとめを児童生徒のことばで表現させる	30.2	49.4	10.6	0.8	4.5	4.5
p 定期的に宿題を出す	59.6	18.9	7.5	2.3	6.8	4.9
q 児童生徒の人権に配慮した発言、行動を心がけている	72.1	21.1	0.8	0.4	1.5	4.2
r 児童生徒相互の温かい人間関係づくりにつとめている	72.1	21.5	0.8	0.4	1.1	4.2

【小学校】

小学校(n=181)	とても心がけている	やや心がけている	あまり心がけていない	まったく心がけていない	該当しない	不明・無回答
a 基礎的な知識・技能をきちんと覚えさせる	83.4	8.8	0.0	0.0	2.8	5.0
b 児童生徒のつまずきを発見して個に応じた指導を心がける	60.8	29.3	1.7	0.0	3.3	5.0
c 補充的な学習や技能を授業に取り入れる	34.3	49.7	5.5	0.0	5.0	5.5
d 内容の確実な習得のための反復的な練習を取り入れる	52.5	37.0	0.6	0.0	5.0	5.0
e 発展的な学習や技能を授業に取り入れる	8.8	51.9	28.7	0.0	5.5	5.0
f コンピュータや大型テレビを使った指導を行う	53.6	34.8	1.7	0.0	4.4	5.5
g コンピュータを使った調べ学習を行う	18.2	50.3	18.8	0.0	7.7	5.0
h グループでの学習活動や指導を取り入れる	34.8	39.8	12.2	0.0	7.7	5.5
i 見学やインタビューなどの調べ学習を行う	8.8	49.7	23.2	1.1	11.6	5.5
j 観察や実験などの活動を取り入れる	26.0	47.5	9.9	0.0	10.5	6.1
k 体験型の教育を重視して実施する	28.7	54.1	6.6	0.6	3.9	6.1
l 主体的・対話的で深い学びを意識した学習を行う	39.8	47.0	5.0	0.6	2.8	5.0
m 地域の教材や学習環境を活用する	17.1	54.7	16.6	0.0	6.6	5.0
n 学習や技能の到達目標を明確にする	50.3	32.0	8.3	0.0	3.9	5.5
o 学習のまとめを児童生徒のことばで表現させる	31.5	50.3	7.7	0.6	5.0	5.0
p 定期的に宿題を出す	70.7	12.7	3.3	0.6	7.7	5.0
q 児童生徒の人権に配慮した発言、行動を心がけている	73.5	19.9	0.0	0.0	2.2	4.4
r 児童生徒相互の温かい人間関係づくりにつとめている	75.7	18.2	0.0	0.0	1.7	4.4

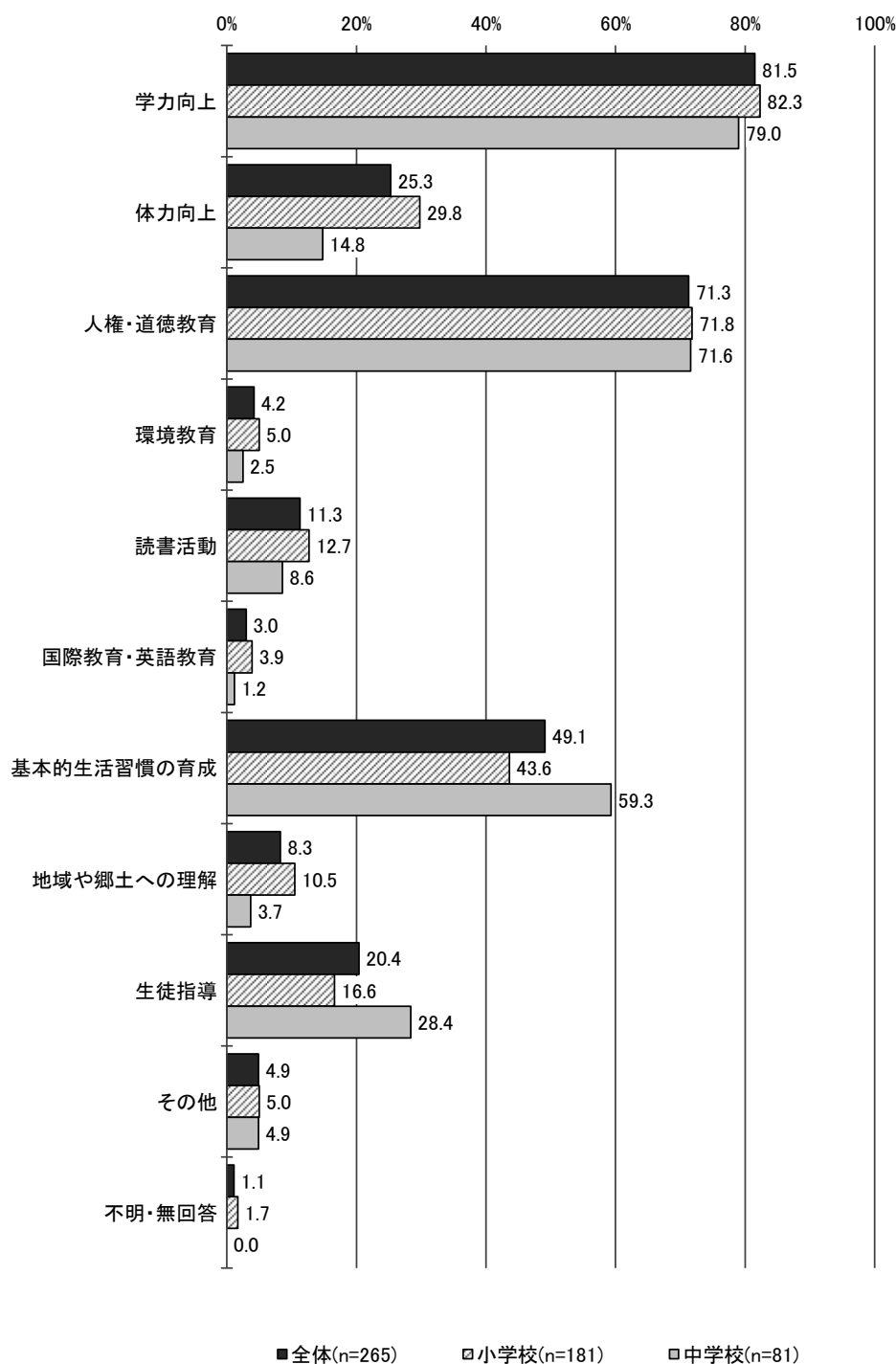
【中学校】

中学校(n=81)	とても心がけている	やや心がけている	あまり心がけていない	まったく心がけていない	該当しない	不明・無回答
a 基礎的な知識・技能をきちんと覚えさせる	84.0	9.9	0.0	0.0	2.5	3.7
b 児童生徒のつまずきを発見して個に応じた指導を心がける	39.5	51.9	2.5	0.0	2.5	3.7
c 補充的な学習や技能を授業に取り入れる	21.0	63.0	7.4	1.2	2.5	4.9
d 内容の確実な習得のための反復的な練習を取り入れる	46.9	43.2	2.5	1.2	2.5	3.7
e 発展的な学習や技能を授業に取り入れる	16.0	53.1	23.5	0.0	2.5	4.9
f コンピュータや大型テレビを使った指導を行う	44.4	37.0	8.6	2.5	3.7	3.7
g コンピュータを使った調べ学習を行う	12.3	40.7	30.9	3.7	8.6	3.7
h グループでの学習活動や指導を取り入れる	37.0	46.9	7.4	0.0	4.9	3.7
i 見学やインタビューなどの調べ学習を行う	1.2	22.2	39.5	13.6	19.8	3.7
j 観察や実験などの活動を取り入れる	23.5	19.8	21.0	7.4	22.2	6.2
k 体験型の教育を重視して実施する	17.3	43.2	19.8	4.9	11.1	3.7
l 主体的・対話的で深い学びを意識した学習を行う	33.3	58.0	2.5	0.0	2.5	3.7
m 地域の教材や学習環境を活用する	7.4	34.6	42.0	7.4	4.9	3.7
n 学習や技能の到達目標を明確にする	40.7	45.7	6.2	0.0	2.5	4.9
o 学習のまとめを児童生徒のことばで表現させる	27.2	48.1	16.0	1.2	3.7	3.7
p 定期的に宿題を出す	33.3	33.3	17.3	6.2	4.9	4.9
q 児童生徒の人権に配慮した発言、行動を心がけている	67.9	24.7	2.5	1.2	0.0	3.7
r 児童生徒相互の温かい人間関係づくりにつとめている	64.2	28.4	2.5	1.2	0.0	3.7

問 12 学校で、特に力を入れるべきだと思うことはどんなことですか。(〇は3つまで)

学校で、特に力を入れるべきだと思うことについてみると、全体では、「学力向上」が 81.5%と最も高く、次いで「人権・道徳教育」が 71.3%、「基本的な生活習慣の育成」が 49.1%となっています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。全体と比較すると、「基本的な生活習慣の育成」は小学校で全体よりも 5.5 ポイント低く、中学校で全体よりも 10.2 ポイント高くなっています。



## 【その他】

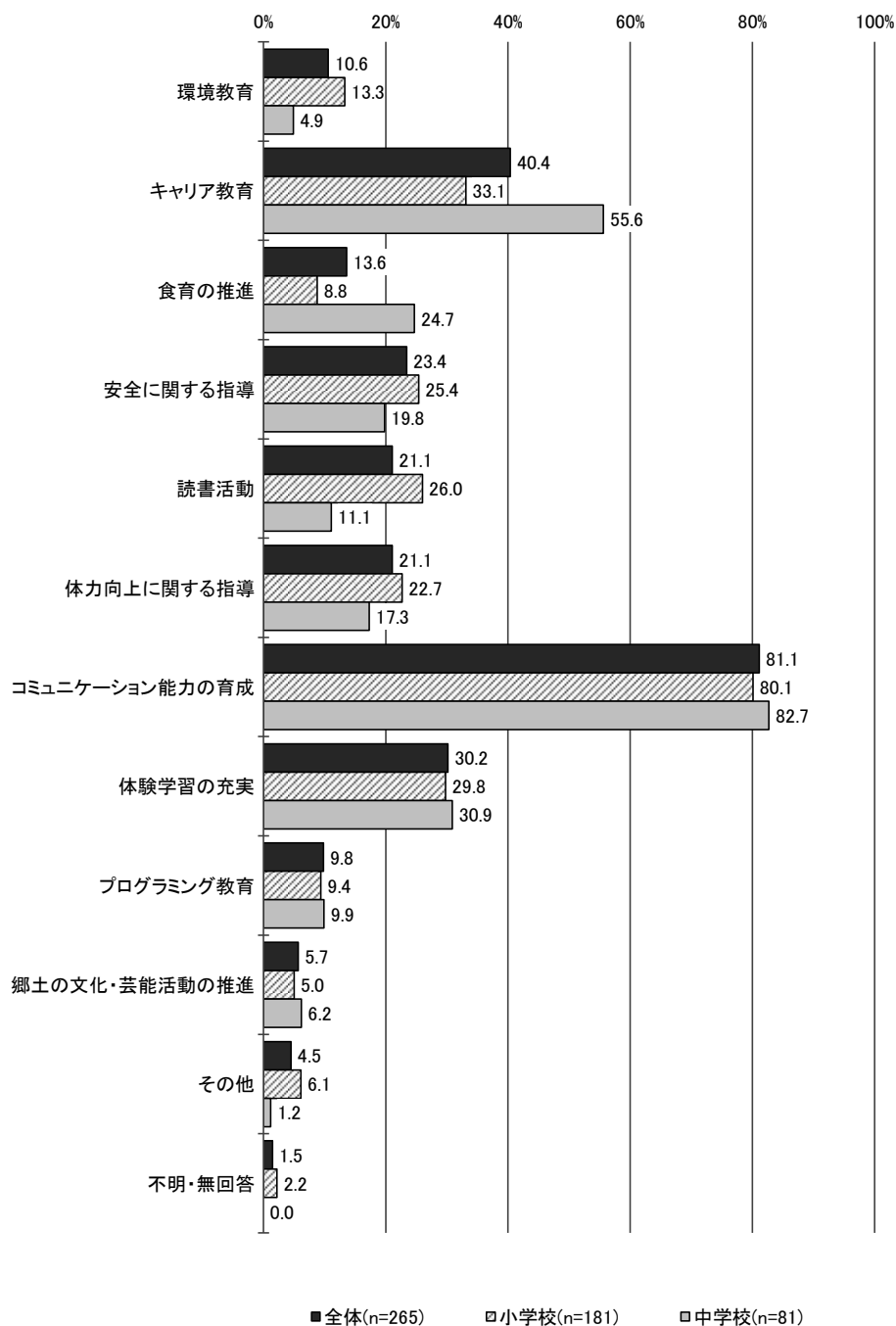
- ・保健教育（性教育など）
- ・社会で生き抜く力（社会でできなければいけないことをできるようにさせる、考えさせる）
- ・人と関わる、遊ぶことは楽しいと思う経験。不登校も参加できる形で
- ・スマホ、SNS などの正しい使い方、利用の仕方についての学習
- ・誰一人取り残すことのない全員活躍型の授業改善
- ・人間として大切なこと（善悪）を教える
- ・学びあい、育ちあい（仲間づくり）
- ・進路指導（中学生）
- ・キャリア教育
- ・金融教育
- ・自然体験活動
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・基礎学力の定着
- ・ICT、情報教育

問 13 各教科の学習活動以外に、今後特に重点的に取り組むべきものは何だと思えますか。

(〇は3つまで)

各教科の学習活動以外に、今後特に重点的に取り組むべきものについてみると、全体では、「コミュニケーション能力の育成」が 81.1%と最も高く、次いで「キャリア教育」が 40.4%、「体験学習の充実」が 30.2%となっています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。全体と比較すると、「キャリア教育」は小学校で全体よりも 7.3 ポイント低く、中学校で全体よりも 15.2 ポイント高くなっています。



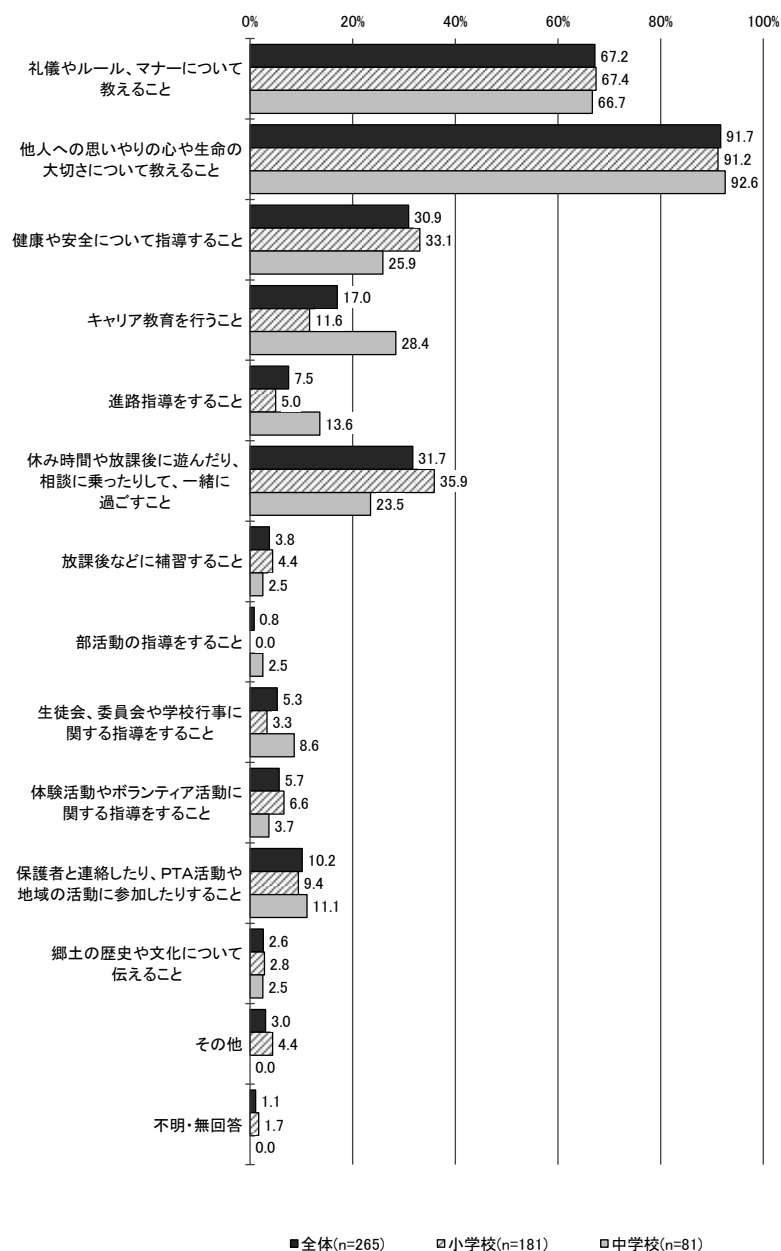
【その他】

- ・人権教育
- ・情報モラル教育（SNS やインターネットとの付き合い方）
- ・ICT やタブレット教育
- ・社会的自立に向けた取組
- ・グローバル教育
- ・健康教育
- ・同和教育

## 問 14 教職員として、力を入れるべきだと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

教職員として、力を入れるべきだと思うことについてみると、全体では、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が91.7%と最も高く、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が67.2%、「休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと」が31.7%となっています。

小学校は、全体と同様の傾向です。中学校は、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が92.6%と最も高く、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が66.7%、「キャリア教育を行うこと」が28.4%となっています。



### 【その他】

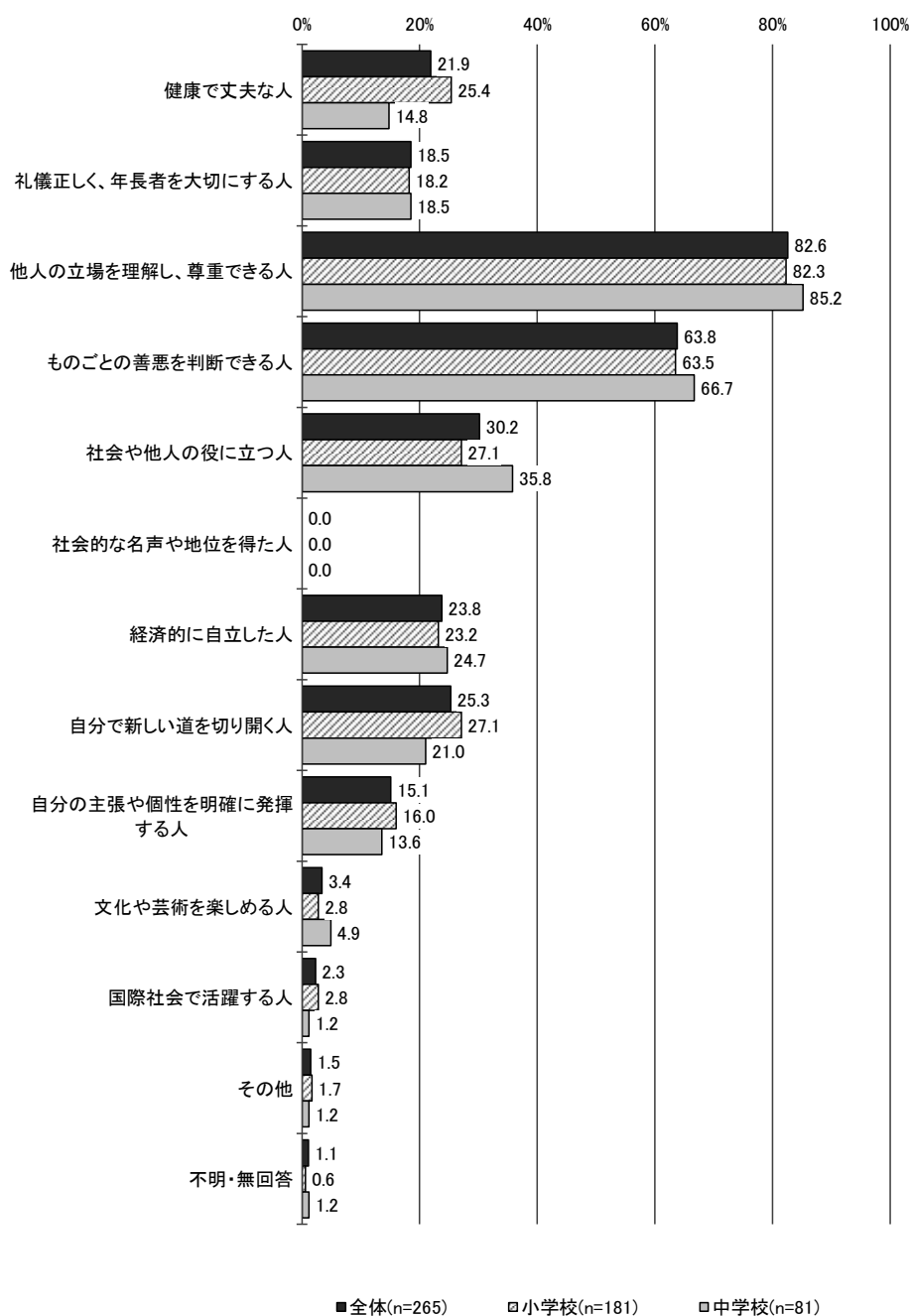
- 一人の人間としてふるまい、謙虚さ
- 児童の自尊感情を高めること
- 授業改善
- 学習指導、学力向上
- グローバルな視点



## 問 15 児童生徒に将来どのような人になってもらいたいと思いますか。(主なもの3つまで○)

児童生徒に将来どのような人になってもらいたいと思うかについてみると、全体では、「他人の立場を理解し、尊重できる人」が82.6%と最も高く、次いで「ものごとの善悪を判断できる人」が63.8%、「社会や他人の役に立つ人」が30.2%となっています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。小学校では、「自分で新しい道を切り開く人」も27.1%と高くなっています。



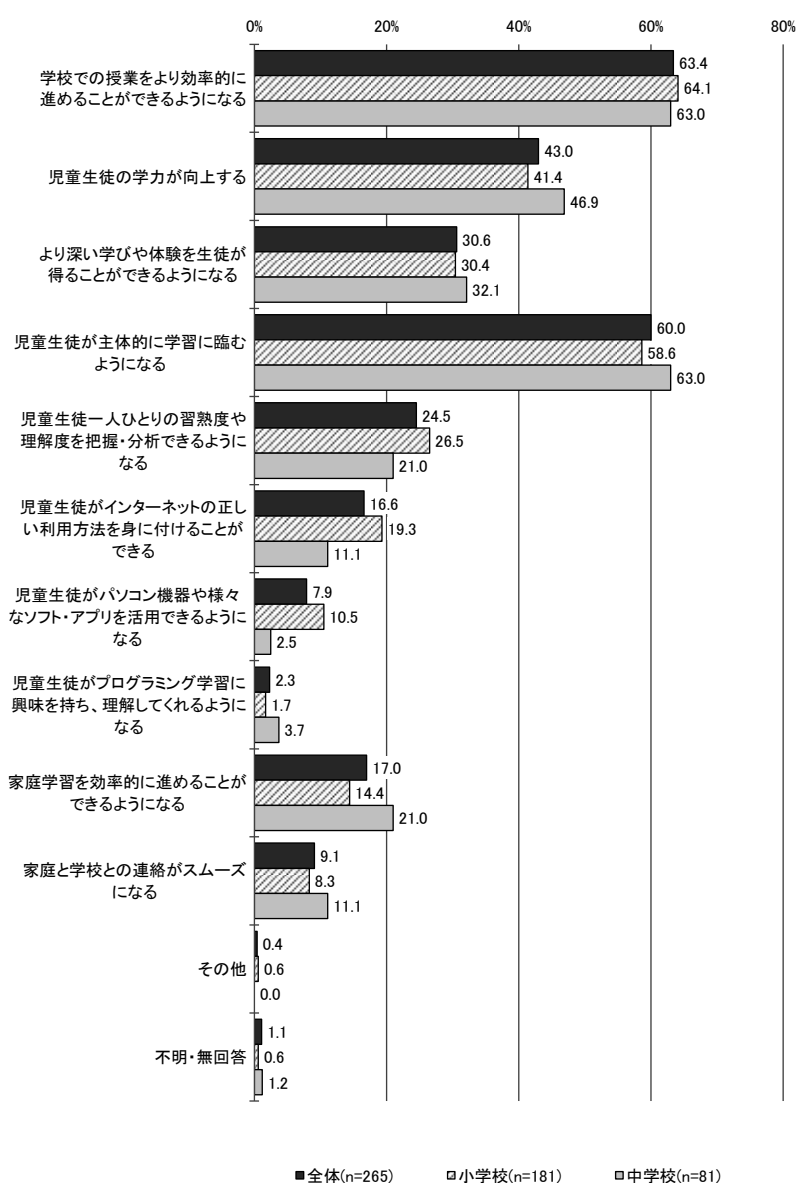
### 【その他】

- ・逆境や挫折に負けない強い心を持った人
- ・グローバル人材
- ・差別や不条理をなくす行動を取れる人
- ・筋を通す人

問 16 現在、小・中学校では学校教育における ICT の活用（デジタル教科書・教材の採用、タブレット端末を活用した授業の導入等）が進められています。学校教育における ICT の活用を通して、あなたが特に期待することは何ですか。（〇は3つまで）

ICT の活用を通して、特に期待することについてみると、全体では、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」が 63.4%と最も高く、次いで「児童生徒が主体的に学習に臨むようになる」が 60.0%、「児童生徒の学力が向上する」が 43.0%となっています。

小学校は、全体と同様の傾向です。中学校では、「学校での授業をより効率的に進めることができるようになる」「児童生徒が主体的に学習に臨むようになる」が 63.0%と最も高く、次いで「児童生徒の学力が向上する」が 46.9%、「より深い学びや体験を生徒が得ることができるようになる」が 32.1%となっています。



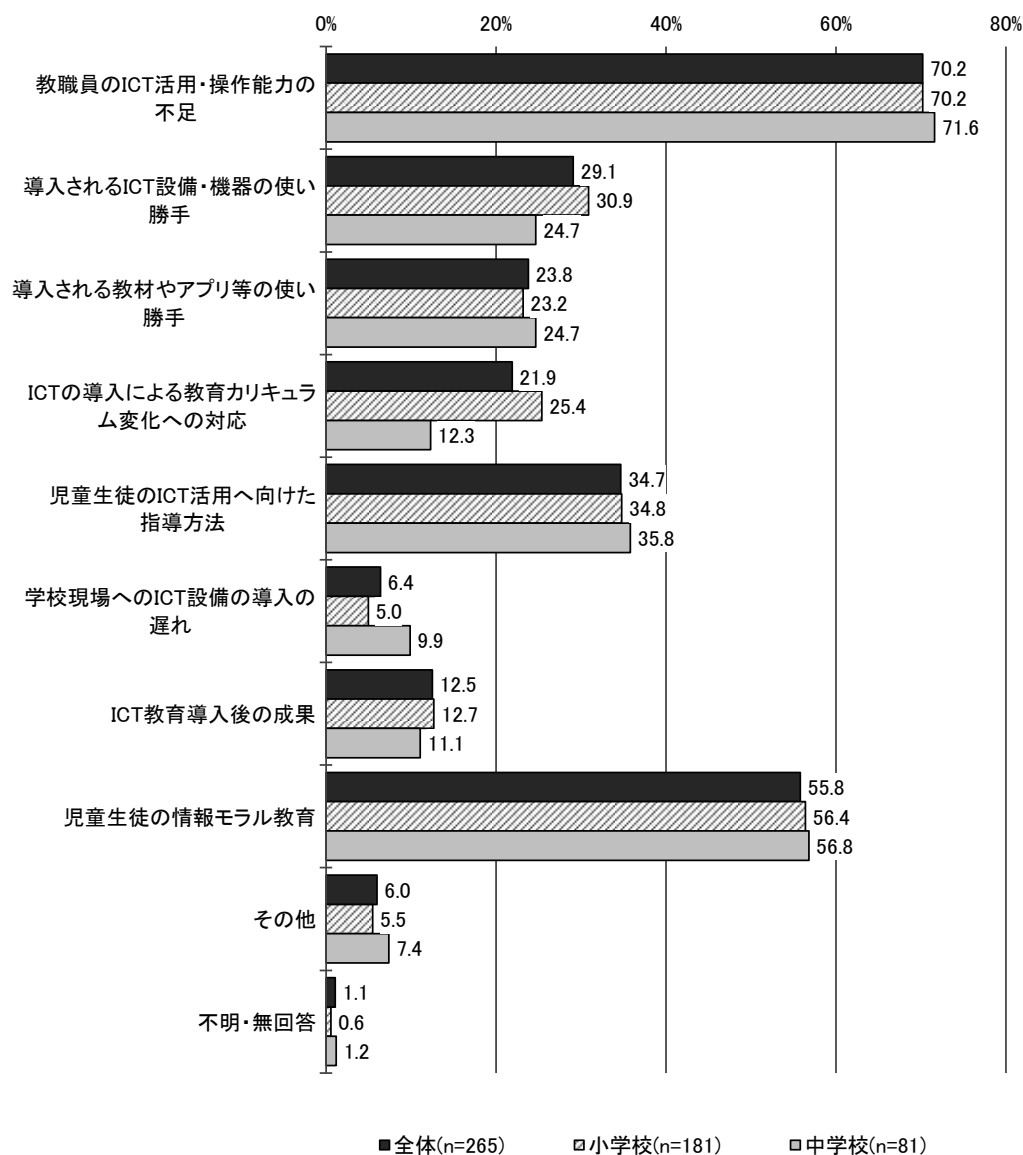
【その他】

- ・グローバルな学びの環境で学ぶこと

問 17 学校教育における ICT の活用をこれから進めていくに当たって、不安なことはありますか。  
 (〇は3つまで)

ICT の活用をこれから進めていくに当たって、不安なことについてみると、全体では、「教職員の ICT 活用・操作能力の不足」が 70.2%と最も高く、次いで「児童生徒の情報モラル教育」が 55.8%、「児童生徒の ICT 活用へ向けた指導方法」が 34.7%となっています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。



#### 【その他】

- ・電子黒板や電波状況など、ICT 機器やタブレット等を毎日の授業で使うための環境の充実
- ・ICT を活用した授業のための教材研究や研修時間の確保
- ・タブレットを使用していく上での生徒指導上の問題、ルール違反に対する対応策
- ・従来の授業とのバランス
- ・機器の継続的な更新の実施
- ・ICT 支援員による継続的支援の充実
- ・健康被害（VDT 症候群）の心配

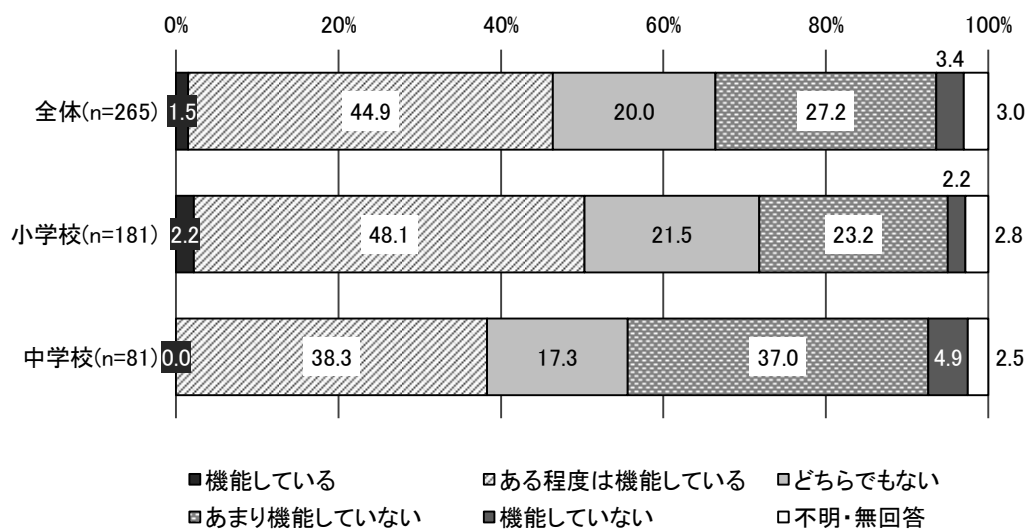
## 4. 家庭教育・地域教育について

問 18 周辺の社会を見まわして、家庭の教育力、地域の教育力が機能していると思いますか。  
 (それぞれにひとつだけ○)

### 【家庭の教育力】

家庭の教育力が機能していると思うかについてみると、全体では、「ある程度は機能している」が44.9%、「あまり機能していない」が27.2%となっています。

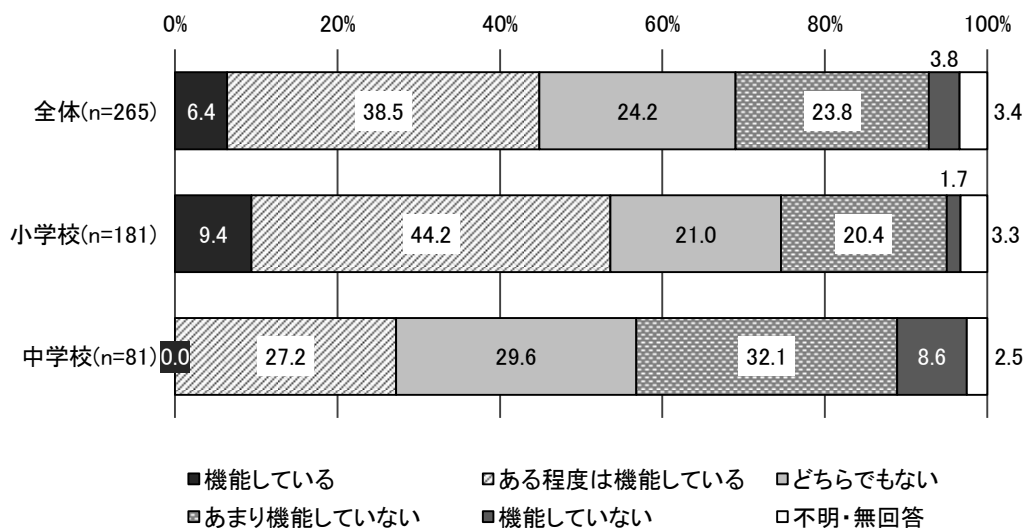
小学校は、全体と同様の傾向です。中学校は、「あまり機能していない」が37.0%で、全体と比較すると、9.8ポイント高くなっています。



## 【地域の教育力】

地域の教育力が機能していると思うかについてみると、全体では、「ある程度は機能している」が38.5%、「あまり機能していない」が23.8%となっています。

小学校は、全体と同様の傾向です。中学校は、全体と比較すると、「ある程度は機能している」が27.2%で、11.3ポイント低く、「あまり機能していない」が32.1%で、8.3ポイント高くなっています。

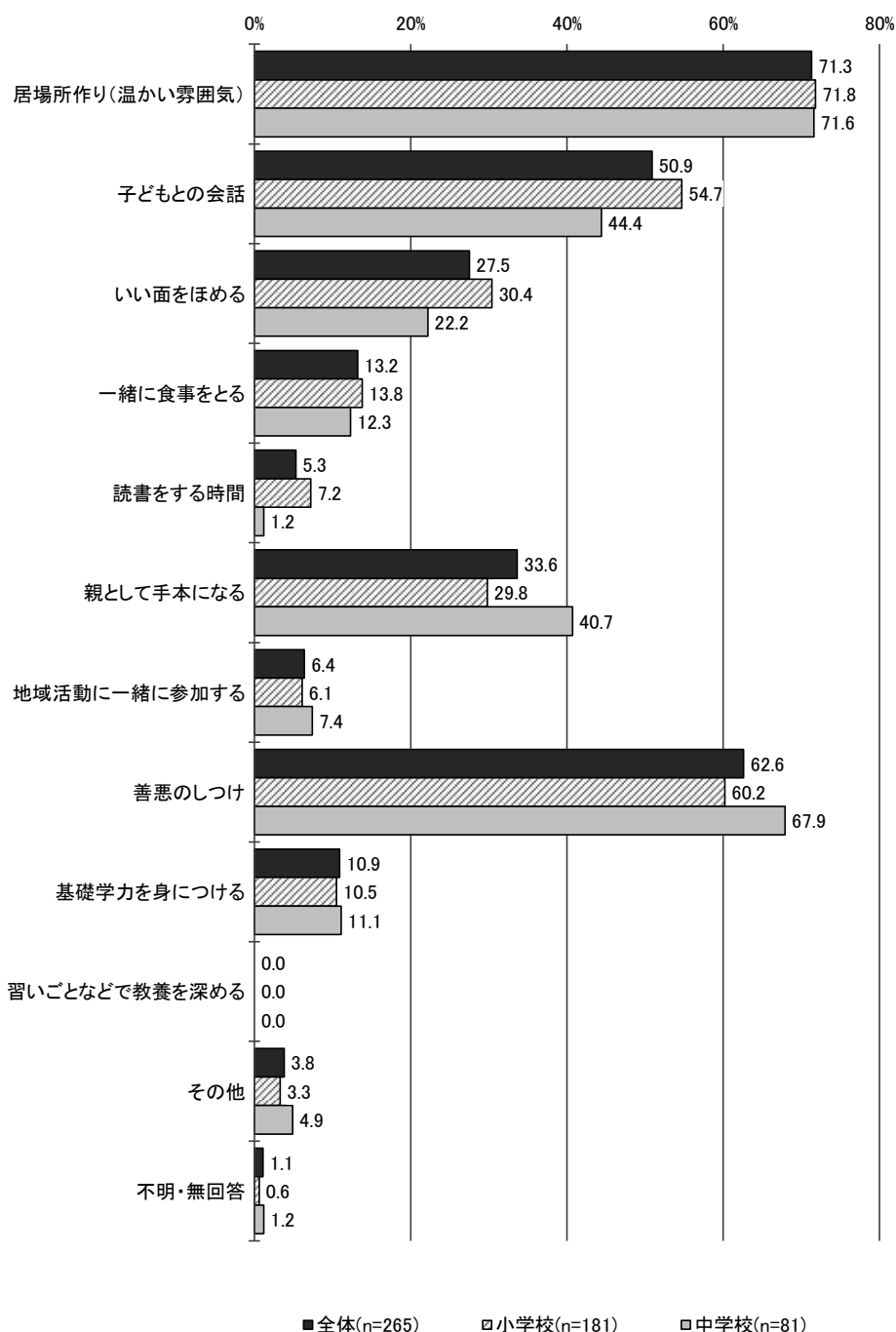


問 19 家庭教育のなかで、家庭に取り組んでももらいたいと思うものを選んでください。

(○は3つまで)

家庭教育のなかで、家庭に取り組んでももらいたいと思うものについてみると、全体では、「居場所作り(温かい雰囲気)」が71.3%と最も高く、次いで「善悪のしつけ」が62.6%、「子どもとの会話」が50.9%となっています。

小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。



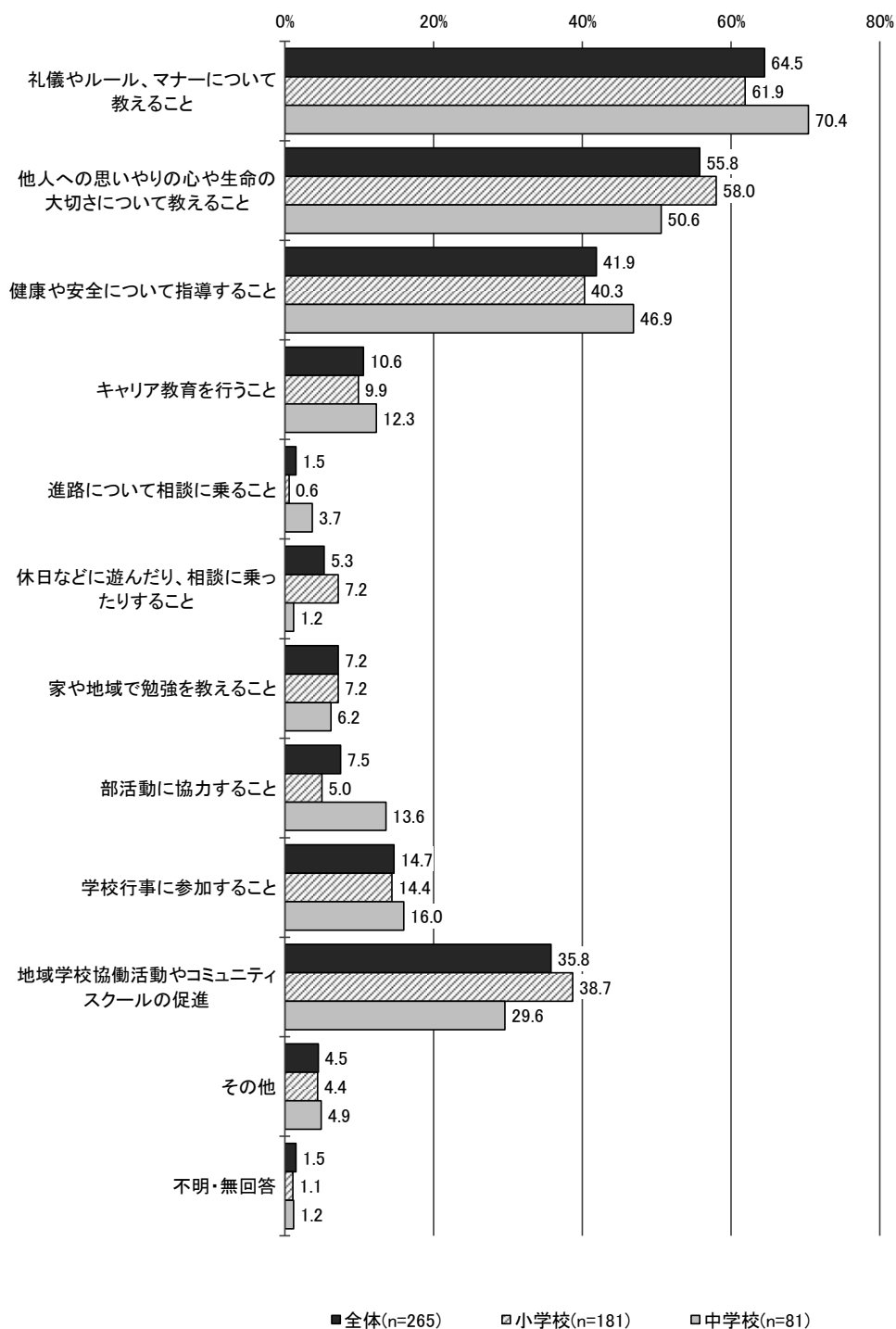
【その他】

- ・基本的な生活習慣（マナー等も含む）の確立
- ・メディアコントロール
- ・一緒に練習したり、本を読んだりなど一緒に活動する

問 20 地域教育において、地域の方に取り組んでもらいたいと思うものを選んでください。

(〇は3つまで)

地域教育において、地域の方に取り組んでもらいたいと思うものについてみると、全体では、「礼儀やルール、マナーについて教えること」が64.5%と最も高く、次いで「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が55.8%、「健康や安全について指導すること」が41.9%となっています。小学校、中学校についても、全体と同様の傾向です。





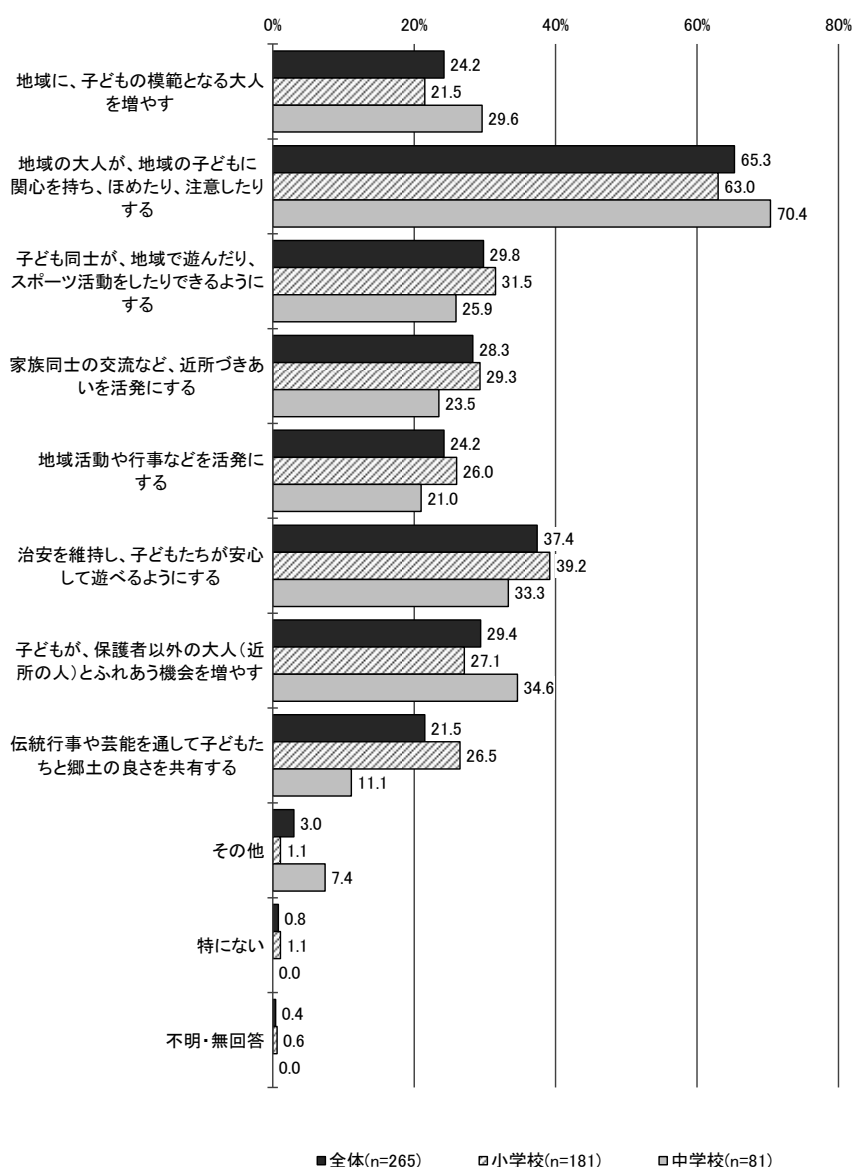
### 【その他】

- ・地域の方々はとても学校の教育活動に協力的だと思う。現状が更に広がっていけばいいと思う
- ・学校とコミュニケーションをとり様々な教育活動で支援すること
- ・子どもを育てるため、子どもの活躍する場を地域につくる
- ・自分の子どもと同様の視点で見守ること
- ・よりよい成長のために見守ってほしい
- ・青年層への活動の広がり
- ・交通ルールの指導
- ・講演活動等

問 21 「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

地域教育において、地域の方に取り組んでもらいたいと思うものについてみると、全体では、「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」が65.3%と最も高く、次いで「治安を維持し、子どもたちが安心して遊べるようにする」が37.4%、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動をしたりできるようにする」が29.8%となっています。

小学校は、全体と同様の傾向です。中学校では、「地域の大人が、地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする」が70.4%と最も高く、次いで「子どもが、保護者以外の大人(近所の人)とふれあう機会を増やす」が34.6%、「治安を維持し、子どもたちが安心して遊べるようにする」が33.3%となっています。



【その他】

- ・地域の方々との熟識(学校の問題を学校内だけで解決する時代から地域の問題として解決していこうとするためには地域の方々との熟識を重ねることから…)

## 5. 自由回答

教職員対象調査の自由回答は、45件の回答があり、内容は59件ありました。項目別にみると、以下の通りです。

### (1) 学校教育・運営について

項目	件数
ICTについて	10
教職員等の配置・増員について	8
働き方改革について	6
学級人数について	4
教員の育成について	3
土曜授業廃止について	3
教育内容の見直しについて	2
電話対応について	2

※各項目の件数は記載内容によって重複して数えている場合があります。

### 主な内容

#### ◇ICTについて

ICT環境が整いつつあるが、県内において市町村でまだ差があると思う（児童生徒1人1台だけではなく、全職員へもタブレット配備を希望）。
ICTの整備などはとても充実してきている。
タブレットなどの情報機器のセキュリティをもっと強化してほしい。
ICT機器をどのような目的で入れているのかわからず、現場任せすぎる部分があると思う。
ICTを使いこなすためには、そのための研修、そのための教科ごとの話し合い、個人的な努力が必要になると思うが、日々の授業をこなすのが精一杯である。
タブレット等ICTの導入については、生徒たちもスムーズに受け入れ、授業でもどんどん効果的に使用されてきている。

#### ◇教職員等の配置・増員について

加配での副担任制などで担任一人にかかる負担の軽減をお願いしたい。
教員数をもっと増える（配置できる）といい（特に技能教科）。
中学校は部活動の負担が大きく、休日に出勤して指導にあたっている状況である。
教職員が学習指導にきちんと向き合える時間を確保できるように適切な職務の分担や人員確保が必要。人的な環境（欠員が生じないように支援員の増加等）。

#### ◇働き方改革について

要保や保健記録簿、出勤簿等手書き事務は早急にデジタル化して負担軽減につなげてほしい。
休日に出勤して部活の指導にあたっている現状が変わらなければ働き方改革は進展しない。

#### ◇学級人数について

1学級の児童が多く、日々の指導、成績処理などが大変である。
35人学級の早期実現。
1学級の人数が40人というのも負担が大きく、一人ひとりの子供と向き合う時間を作るのが難しい。

市独自で全学年35人学級にしてほしい。

#### ◇教員の育成について

近年若い先生方がとても増えており、特に荒尾市はその現象が如実に出ている。

荒尾市独自の教員研修（特に地元出身教員の研修）ができれば「ふるさと」に誇りを持つ子どもたちが育成できるのではないか。

一人ひとつのタブレットがないために、今までの職員のICT研修の機会も奪われている。

#### ◇土曜授業廃止について

土曜授業をなくし、夏季休業日を短くして授業時数を確保すると思う。

土曜授業は負担が大きいため廃止してほしい。

#### ◇教育内容の見直しについて

授業スタンダードを5年近く実践しているが、学力向上に直接つながっていないので、見直しが必要だと思う。

教育振興のスローガンとして「教育先進都市あらお」があり、ハード面での充実は進んでいると感じるが、「先進」とするからには他に先んずる抜きん出た市教委としてのオンリーワンが必要であり、その成果が求められる。

#### ◇電話対応について

学校の電話の留守電機能はありがたい。さらに録音機能をつけてもらいたい。

### (2) 市の教育方針・取り組みについて

項目	件数
あらおベーシックについて	2
教育施策の方向について	2
子育て支援について	1
その他	2

#### 主な内容

##### ◇あらおベーシックについて

荒尾ベーシックはほとんどの教育現場でマニュアルを重視したものであり、そこには教科書プラスαの知識やいわゆる”あそび”が存在しにくいと思う。

##### ◇教育施策の方向について

欲張って何でもやろうとしても何もできないと思う。今ある良さを続ける、あるいは振り返って改良する必要もあると思う。

新しいことも大切ですが、今やっていることをしっかり定着させてほしい。

##### ◇子育て支援について

子育て支援、相談などの実施と宣伝（周知）。

#### ◇その他

無駄な設備が多く、予算を組んでいただいているのに結果に結びつかないように思う。

#### (3) その他

項目	件数
学校設備について	3
アンケートについて	2
コロナについて	2
地域との連携について	1
その他	6

#### 主な内容

##### ◇学校設備について

校舎や設備が古く、トイレ、プールなど衛生面からも心配であり使いづらい。

物的環境の整備（トイレを洋式に、バリアフリーなど）。

電子黒板やタブレット収納棚の設置によりますます狭くなった教室、洋式がほとんどないトイレ、エレベーター等のバリアフリー化が全くない校舎など、「教育環境の整備」という面でとてもアンバランスな予算の使われ方がしてあると思う。

##### ◇アンケートについて

調査等をゼロにしてほしい。

##### ◇コロナについて

地域と学校との連携交流がコロナ感染症予防や蔓延防止の取組のため、あまり行われていないと思う。

コロナ対応の環境整備は迅速だったと思う。

##### ◇地域との連携について

地域と学校との連携交流がコロナ感染症予防や蔓延防止の取組のため、あまり行われていないと思う。

##### ※コロナの項目と重複

##### ◇その他

学校教育に予算を割いていただき感謝している。

家庭の教育力を高める取組を行っていただきたい。

保護者どうしが繋がれる場などがあると相談することができると思う。

荒尾市の学校は働きやすい環境だと思う。

子供会の活発化。親同士の懇親。

市政が教育活動にしっかりと税金を使ってくれるので、とてもやりがいを感じている。

荒尾市  
教育に関するアンケート調査  
結果報告書

発行: 荒尾市教育委員会 教育振興課  
TEL: 0968-63-1647  
FAX: 0968-62-1218

発行年月: 令和3年 12 月